

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第476号	臨床検査部における健診時 血液の血液凝固検査基準 値設定	2001年8月1日	2026年7月31日	臨床検査部 山崎 哲			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/476.pdf		大学病院
第490号	臨床検査部における残余検 体の精度管理への利用	2001年10月4日	2026年7月31日	臨床検査部 山崎 哲			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/490.pdf		大学病院
第977号	早期関節炎における抗CCP 抗体(抗環状シトルリン化ペ プチド抗体)の測定意義	2005年10月24日	2025年3月31日	内科学(リ・膠・ア内 科) 永淵 裕子			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/977.pdf		大学・大学病院
第1082号	ヒト小腸に存在するチク ロームP450のmRNA、蛋白 発現および活性の個体差と 遺伝子多型との関係	2006年6月16日	2028年3月31日	薬理学 武半 優子			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/1082.pdf		大学・大学病院
第1182号	A型急性肝炎の疫学的・臨 床的検討	2007年1月18日	期間の設定なし	内科学 (消化器・肝臓内科) 高橋 秀明			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/1182.pdf		大学病院、多摩病院
第1324号	疫学調査「血液疾患登録」	2007年12月3日	2021年12月31日	内科学 (血液・腫瘍内科) 加藤 雅之			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/1324.pdf		大学・大学病院、西部病院
第1390号	非アルコール性脂肪肝患者 の疫学調査、病態・発症機 序の解明-単純脂肪肝と脂 肪性肝炎との比較検討-	2008年8月4日	期間の設定なし	内科学 (消化器・肝臓内科) 【多摩病院】 高橋 秀明			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/1390.pdf		大学・大学病院、 西部病院、多摩病院
第1408号	臨床分離菌・抗菌薬使用状 況サーベイランス	2008年7月17日	2028年6月30日	感染制御部 竹村 弘			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/1408.pdf		大学・大学病院
第1646号	HTLV-I関連疾患の病態解 明と治療法・予防法の開発 に関する研究	2010年1月6日	永年	脳神経内科学 山野 嘉久			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/1646.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第1658号	日本形成外科学会疾患登録システム	2010年1月22日	2021年3月31日	形成外科学 大岩 利幸		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/1658.pdf			大学・大学病院、 西部病院、多摩病院
第1821号	一般社団法人National Clinical Database(日本臨床データベース機構)への手術・治療情報登録における個人情報の取り扱いについて	2010年12月17日	期間設定なし	外科学 (心臓血管外科) 宮入 剛		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/1821.pdf			大学・大学病院、 東横病院、西部病院、 多摩病院、プレスト
第2044号	HAM患者を対象とした診断・治療の実態及びその経過に関する観察研究	2012年1月25日	登録症例の観察が全て終了するまで	難病治療研究センター 山野 嘉久		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/2044.pdf			大学・大学病院
第2233号	肺癌症例のデータベース構築による臨床・病理学的因子のレトロスペクティブ解析	2022年3月11日	2025年10月31日	外科学 (呼吸器外科) 佐治 久		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/2233.pdf			大学・大学病院
第2254号	HAM患者を対象とした予後因子及び治療有効性に関する後ろ向き研究	2012年12月13日	2025年3月31日	難病治療研究センター 山野 嘉久		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/2254.pdf			大学・大学病院
第2297号	乳腺腫瘍の表現型にかかわる体細胞変異および遺伝子発現異常の解析	2014年8月27日	2024年12月31日	外科学 (乳腺・内分泌外科) 津川 浩一郎		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/2297.pdf			大学・大学病院、プレスト
第2498号	Rapid Response System(RRS) データレジストリーに関する多施設合同研究	2023年5月1日	2028年10月31日	救急医学 藤谷 茂樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/2498.pdf			大学・大学病院、その他
第2509号	急性期脳梗塞診療のQuality controlに関する研究	2013年9月5日	全ての症例登録が完了するまで	内科学 (脳神経内科) 山野 嘉久	脳卒中 2009年9月1日～ 全ての症例登録が完了するまで	早期の患者搬送と治療開始は、脳梗塞治療の効果を改善させると思われるが、実臨床下での効果は未確認である。消防法の一部を改正する法律(平成21年法律第34号)に基づき、川崎市消防局と川崎市市内の13の脳卒中受け入れ施設がおこなってきた事後検証作業による脳卒中救急医療のQuality controlの実態と効果を検証する。	診断名、治療成績、重症度、搬送時間などの病院到着前の情報、病院到着後の情報	900例 (全体5,000例)	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第2528号	胃切除術患者の術式による栄養評価について	2013年9月11日	2019年8月31日	栄養部 【西部病院】 清水 朋子	胃癌のため胃の手術を行った患者 平成22年4月1日～平成25年8月31日	胃切除術患者は手術により大きな侵襲を受け、絶食期間を経た後に徐々に食事を開始するが、食事摂取状況は個人により差がある。今回、胃切除術患者の術後期間内の食事摂取量を調査し、必要栄養量に対する充足率を求め、術式による栄養摂取充足率および体重変化率等や栄養状態のちがいについて調査したいと考えた。	年齢、身長、体重、疾患名、術式、栄養投与内容および投与量、食事提供内容および摂取量、生化学検査値(TP,Alb, PAIb,CRP)	50例	西部病院
第2543号	慢性ウイルス性肝炎疾患における、抗ウイルス薬投与による肝発癌抑制に関する因子の探索 -肝発癌機序の解明とその予測-	2013年11月25日	2022年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 【西部病院】 高橋 秀明		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/2543.pdf			大学・大学病院、西部病院、多摩病院
第2560号	HTLV-1関連脊髄症(HAM)の有効性評価指標に関する前向き多施設共同研究	2014年1月14日	登録症例の観察が全て終了するまで	内科学(脳神経内科) 山野 嘉久		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/2560.pdf			大学・大学病院
第2571号	人間ドックにおけるホルター心電図による心室遅延電位測定の意義	2013年11月14日	2019年9月30日	内科学 (循環器内科) 原 正壽	H24年～H26年にホルター心電図を施行した人間ドック受診者 平成24年1月4日～平成26年12月28日	重症不整脈の予知に関する心室遅延電位測定は保険適応となり、ますます臨床での評価が高まっている。健診センターでは心室遅延電位測定可能なホルター心電図を使用しており、通常のホルター心電図結果に加え1日を通した心室遅延電位測定が可能である。通常のホルター心電図ではわからない不整脈の予知が期待できる。そこで今回、H24年に当院人間ドックのオプション検査であるホルター心電図を施行した結果をコンピューター解析する。心室遅延電位の有無を確認し、今後人間ドックでの検査項目としての有用性を検討する。	人間ドックのオプション検査であるホルター心電図を施工した結果を解析、心室遅延電位の有無	100例	大学・大学病院
第2602号	維持期外来心臓リハビリテーションの参加の有無と転帰に関する研究	2014年1月22日	2029年3月31日	循環器内科学 長田 尚彦		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/2602.pdf			東横病院
第2615号	当院救急外来における臓器移植提供の疫学的検討	2014年1月20日	2028年12月31日	救急医学 若竹 春明		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/2615.pdf			大学・大学病院、西部病院、多摩病院
第2637号	患者情報システムを用いた集中治療部の機能評価 Japanese Intensive care Patient Database:JIPAD	2014年2月20日	2026年3月31日	救急医学 平 泰彦		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/2637.pdf			大学・大学病院、西部病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第2781号 レセプトおよびDPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する研究	2014年8月11日	2025年3月31日	内科学 (循環器内科) 明石 嘉浩		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/2781.pdf			大学・大学病院
第2797号 悪性黒色腫の免疫組織化学的検討	2014年8月27日	2025年3月31日	病理学 千川 晶弘		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/2797.pdf			大学
第2836号 院内心停止データレジストリーに関する多機関共同研究	2023年3月20日	2028年10月31日	救急医学 藤谷 茂樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/2836.pdf			大学・大学病院、その他
第2877号 Non-vitamin K antagonist oral anticoagulants (NOACs)内服中に発症した症候性頭蓋内出血例の臨床的検討	2014年11月25日	2024年5月30日	内科学 (神経内科) 秋山 久尚	NOACsまたはワーファリン内服中に発症した症候性頭蓋内出血 2011年3月1日～ 2021年2月1日	本邦では2011年3月にNOACsであるダビガトランが、非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中および全身性塞栓症の発症抑制を適応とし発売されて以来、順次、リバーロキサパン、アピキサパン、エドキサパンが使用可能となった。これらは出血合併症が稀少とされるも使用頻度増加と共に頭蓋内出血例が散見されるようになってきたが、その臨床的特徴の報告は少ない。本研究ではNOACs内服中に発症した症候性頭蓋内出血例の臨床的特徴をワーファリンと比較し明確化することを目的とする。	NOACs内服中発症患者の年齢、性別、身長、体重、頭蓋内出血発症日、NOACsの種類・用量・内服日数、併用薬の有無、主訴、臨床診断、血腫量、基礎疾患の有無、入院時・受診前血圧値、腎機能などの採血所見、神経学的所見(NIHSSscoreなど)、画像所見、退院時転帰	17例(NOACs) +40例(ワーファリン) 計57例	大学・大学病院
第2944号 自己免疫疾患(ベーチェット病、強直性脊椎炎等)における観察研究	2015年3月5日	2019年3月31日	内科学 (リウマチ・膠原病・アレルギー内科) 大岡 正道	自己免疫疾患(ベーチェット病、強直性脊椎炎など)とその対象疾患 平成16年4月1日～ 平成26年2月1日	自己免疫疾患については罹患率が稀であることから、大規模な観察研究が難しい。本学は自己免疫疾患患者が多く、大規模・長期にわたる診療が行われていることから、予後・治療経過について疫学調査を行う。	疫学調査(背景、発症様式、症状、診断根拠、治療、予後、合併症など)	300例	大学・大学病院、西部病院
第3017号 早発卵巣不全に対する不妊治療の臨床成績	2015年6月17日	2023年12月31日	産婦人科学 鈴木 直	早期卵巣不全 2007年1月1日～ 2015年5月8日	早発卵巣不全は、若年で卵巣機能が低下し、重度の不妊症を呈する疾患である。不妊治療は難渋するものの、妊娠に至った報告が散見されるが、大規模な報告事例は未だなされていない。当院では早発卵巣不全の不妊治療を積極的に施行していることから、当院における早発卵巣不全患者の採卵率、胚移植成功率について後方視的に検討する。	1.発症年齢、治療開始年齢、治療期間、採卵率までの体外受精の成績 2.獲得した胚の胚移植による妊娠率 3.上記における背景(年齢、既往歴、不妊症原因精査結果、ホルモン値、卵胞発育個数、卵胞発育速度、ホルモン補充療法の現状、骨代謝)	700例	大学・大学病院
第3024号 高安動脈炎と巨細胞性動脈炎の治療の現状とその有効性と安全性に関する観察研究	2015年6月23日	2025年3月31日	内科学 (リウマチ・膠原病・アレルギー内科) 永瀨 裕子	高安動脈炎、巨細胞性動脈炎 平成19年4月1日～ 平成26年3月31日	本研究は厚生労働省難治性疾患克服研究事業難治性血管炎の大型血管炎の研究班の中で行う臨床研究である。平成19年4月1日から平成26年3月31日の間に高安動脈炎あるいは巨細胞性動脈炎と診断された患者で、新たにステロイド療法が開始された症例あるいは再発例に対してプレドニン(PSL)0.5mg/kg以上を開始した患者あるいは生物学的製剤の投与が新たに開始された患者を対象とする。登録された患者に関して(1)これらの疾患の人口統計学的特徴と疾患特性、(2)実施されたステロイド療法、免疫抑制剤の内容と寛解導入率、再発率、予後、(3)ステロイド治療の安全性、有害事象の発現状況を後方視的に検討する。	治療開始時・4週・8週・24週・52週・76週・104週の臨床症状、治療内容、転帰、128週・156週の転帰に関するデータ、治療開始時から104週までの画像所見	10例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第3044号	神奈川県循環器救急患者の現状と予後に関する研究(神奈川県循環器救急Registry)	2015年8月12日	多施設レジストリーであり研究期間は設けていない	内科学 (循環器内科) 明石 嘉浩		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3044.pdf			大学・大学病院、東横病院、西部病院、多摩病院
第3092号	糖尿病患者における血糖コントロール、合併症重症度および身体活動量と身体機能に関する調査・研究	2016年1月14日	2023年6月30日	生活習慣病センター【東横病院】 太田 明雄		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3092.pdf			東横病院
第3154号	虫垂炎に対する虫垂切除術を中心とした治療方針の妥当性の検討	2015年11月4日	2023年3月31日	外科学 (消化器・一般外科) 小林 慎二郎	入院治療を行った虫垂炎症例 平成17年1月1日～平成27年10月5日	虫垂炎は外科手術による治療が中心となるが、炎症の軽度な症例では保存的治療、膿瘍形成性虫垂炎に対しては急性期に保存的治療を行い、炎症改善後に手術を行うinterval appendectomyの方針を選択することも多い。本研究ではこれらの治療成績について後方視的に解析を行い、現行の治療方針の妥当性を検討する。	初診時炎症所見(体温、腹痛の理学的所見、白血球数、CRP値、プロカルシトニン値)、初療時CT所見、入院期間、手術時間、出血量、術者の経験年数、術後入院期間、(interval appendectomyの場合)初回入院時治療内容、初回入院時入院期間	500例	大学・大学病院
第3155号	膵体尾部切除術における手術手技および周術期管理と合併症発生との関係	2015年11月4日	2023年3月31日	外科学 (消化器・一般外科) 小林 慎二郎	膵体尾部切除術を施行後に、膵瘻・SSIなどの合併症が発生した症例 平成17年1月1日～平成27年10月5日	膵体尾部切除術は合併症の一つである膵瘻の発生が多い。各施設で様々な工夫を行っているが、合併症の発生率は未だ十分に軽減できていない。膵瘻は入院期間の延長や、生命危機に至る可能性をも含む合併症であるが、発生率は10～20%とされている。本研究では膵切離法による膵瘻の発生率の差異や、膵切離法以外の膵瘻発生因子を後方視的に検討する。	年齢・性別・疾患・BMI・糖尿の有無・softpancreasであるか・膵切離法・出血量・手術時間・術後のCT所見	120例	大学・大学病院
第3156号	膵頭十二指腸切除術における手術手技および周術期管理と合併症発生との関係	2015年11月4日	2023年3月31日	外科学 (消化器・一般外科) 小林 慎二郎	膵頭十二指腸切除術を施行後に、膵瘻・SSI・胃内容排泄遅延・胆管炎・脂肪肝などの合併症が発生した症例 平成17年1月1日～平成27年10月5日	膵頭十二指腸切除術は過大な侵襲を伴う術式であり、合併症も多い。各施設で様々な工夫を行っているが、合併症の発生率は未だ十分に軽減できていない。術前栄養管理やシンバイオティクス、リンパ節郭清範囲、出血量や手術時間、膵空腸吻合手技、消化管吻合手技、予防抗菌薬、術後管理(Enhanced recovery after surgery)などの因子と術後合併症の発生との関連性について、後方視的に検討する。	年齢・性別・疾患・BMI・糖尿の有無・softpancreasであるか・膵管径・術前栄養指標データ・術前の栄養管理の有無・シンバイオティクス施行の有無・手術手技におけるリンパ節郭清範囲・出血量・手術時間・膵空腸吻合手技・消化管吻合手技・予防抗菌薬・術後管理(Enhanced recovery after surgery)	260例	大学・大学病院
第3157号	腹腔鏡下胆嚢摘出術に関する検討	2015年11月4日	2023年3月31日	外科学 (消化器・一般外科) 小林 慎二郎	腹腔鏡下胆嚢摘出術症例 平成17年1月1日～平成27年10月5日	腹腔鏡下胆嚢摘出術は良性の胆嚢疾患に対する標準的な術式である。従来、同術式には臍に11～12mm、心窩部・右季肋部および右側腹部に5mm、計4本のポートを用いていたが、近年ではreduced port surgery(ポート数を減らす)を実施することも多い。しかし、reduced port surgeryは整容性に優れるが、手術侵襲を軽減できているかは未だ議論がなされている。本研究では当院における腹腔鏡下胆嚢摘出術の治療成績を後方視的に解析し、reduced port surgeryについて検討する。	手術時間、出血量、術者の経験年数、術後入院期間、術後合併症	500例	大学・大学病院
第3188号	外傷性膵損傷に対する治療方針に関する検討	2015年12月14日	2023年3月31日	外科学 (消化器・一般外科) 小林 慎二郎	外傷性膵損傷例 平成17年1月1日～平成27年10月5日	外傷性膵損傷は、頻度は少ないが救命率が低く、難治性のものである。損傷の程度と全身状態によって、保存的治療や内視鏡的膵管ドレナージ、緊急手術の方針をとるが、画一した治療方針はなく、施設ごとで異なるのが現状である。当院で経験した外傷性膵損傷の症例を検討し、当院における治療方針の妥当性について検討する。	年齢、性別、外傷機転、損傷部位、治療方法、予後	10例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第3189号	特殊型膵癌における臨床病理学的特徴に関する検討	2015年12月14日	2023年3月31日	外科学 (消化器・一般外科) 小林 慎二郎	特殊型膵癌症例 平成17年1月1日～ 平成27年10月5日	膵臓癌の多くは管状腺癌であるが、約2%に腺扁平上皮癌を、また0.2%に退形成癌を認める。これらは特殊型膵癌と呼ばれ、まれな組織型の膵癌である。特殊型膵癌は管状腺癌と比べ大型で発見されることが多く、膨張性発育を呈し、やや血流が多い腫瘍として画像所見でとらえられる。また管状腺癌より予後不良と報告されている。しかし、症例数が少ないため生物学の特徴は未だ不明な点が多い。当院で経験した特殊型膵癌の症例について臨床病理学的検討を行い、その特徴を見出すことを目的とする。	年齢、性別、腫瘍局在、腫瘍径、腫瘍マーカ一値、CT所見、病理所見、進行度、治療方法、予後	20例	大学・大学病院
第3190号	膵頭十二指腸周囲における血管解剖変異に関する検討	2015年12月14日	2023年3月31日	外科学 (消化器・一般外科) 小林 慎二郎	膵頭十二指腸切除術を施行した症例 平成17年1月1日～ 平成27年10月5日	膵頭十二指腸切除術は工程の多い術式であり、特に肛門部および上腸間膜動脈(SMA)周囲の廓清を要するので、同部の複雑な脈管解剖についての知識を要する。一方で肝動脈、胆管、上腸間膜動静脈の分枝は分岐・合流形態に変異があり、個々の症例で術前に変異を知ることが重要である。一般にリンパ廓清は領域動脈をenblockに切除するが、主要動脈がreplaseしている場合には動脈を温存しつつ廓清を行う必要があり、廓清手技が煩雑となる。本研究では肝動脈、SMA、上腸間膜静脈(SMV)の変異形態の頻度を検討するとともに、正常解剖症例と変異症例を比較して手技が煩雑となるか、またリンパ再発が多いかどうか検討する。	手術時間、出血量および術後リンパ再発の有無	260例	大学・大学病院
第3215号	リコンビナントロモジュリンがDIC治療に与える影響	2016年1月20日	2020年12月31日	外科学 (消化器・一般外科) 片山 真史	播種性血管内凝固症候群 平成22年1月1日～ 平成27年9月30日	リコンビナントロモジュリン(rhTM)の治療効果に関するエビデンスは十分とは言えず、海外における第Ⅲ相試験(ART-123 trial)が現在進行中である。当院では2010年以降、その治療効果が明らかでないことから、救命病棟では使用せず、一般病棟では適応があれば使用する治療体制をとってきた。これらの結果を調査し、敗血症性DIC治療に与えたrhTMの治療効果を明らかにする。	背景因子(原因、SOFA score、DIC score)、DIC治療内容、凝固機能の推移、28日生存率、90日生存率	100例	大学・大学病院
第3314号	十二指腸非乳頭部上皮性腫瘍の内視鏡的および病理組織学的特徴に関する研究	2017年3月14日	2018年3月31日	病理学 藤野 節		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3314.pdf			大学・大学病院、東横病院
第3376号	上部消化管穿孔に対する保存的治療選択における当院でのスコアリングの検討	2016年7月12日	2026年3月31日	消化器・一般外科学 民上 真也	上部消化管穿孔(胃、十二指腸) 2003年10月1日～ 2015年12月31日	近年、消化性潰瘍の薬物治療の進歩に伴い、上部消化管穿孔に対する保存的治療の有効性は多数報告されている。腹膜炎が限局し全身状態が保たれていれば、保存的治療が試みられることが多い。日本消化器病学会の消化性潰瘍診察ガイドラインでは、手術適応は①発症後時間経過が長い時②腹膜炎が上腹部に限局しないとき③腹水が多量であるとき④胃内容物が多量であるとき⑤年齢70歳以上であるとき⑥重篤な依存疾患があるとき⑦結構動態が安定しないとき、とされている。しかし、エビデンスレベルは低く、各施設で基準を設定しているのが現状である。当院では当科独自の治療選択を行っている。今回は、当院における上部消化器管穿孔症例において、術前の全身状態vital sign血液検査所見、画像所見、手術所見を評価して当科独自の基準の妥当性についてretorpectiveに検討し、新たな選択基準の確立を目指す。	当院で手術施行した上部消化管穿孔症例の初診時のSIRS項目(①体温、②心拍数、③呼吸回数、④白血球数)と渡邊基準(①発症から当院受診までの時間、②腹痛の局在、③胃内容物が充満しているか、④腹水の局在、⑤併存疾患の有無)	100例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第3427号	膵頭十二指腸切除(PD)後 早期合併症および膵液瘻 危険因子の検討	2016年9月2日	症例登録が終了 するまで	外科学 (消化器・一般外科) 【多摩病院】 朝倉 武士	PD施行例 2011年7月1日～ 2018年1月31日	PDにおいて膵液瘻を中心とした合併症により術後難渋する 症例をいまだ多く経験する。PD後早期合併症および膵液瘻 危険因子について統計学的に解析を行い、危険群に対す る早期臨床的対応をどのように遂行すればよいかの検 討を行う。	男女比、年齢、術式(PD、幽門側胃切除術輪温存膵頭十二 指腸切除PPPD、亜全胃温存膵頭十二指腸切除SSPPD、 門脈合併切除の有無、手術時間、出血量、早期合併症(難 治性下痢・肝膿瘍・胃排泄遅延DGE、胆汁瘻術後出血、膵 液瘻、腹腔内膿瘍、Surgical Site InfectionSSI、リンパ瘻 等)、合併症率 (方法2)膵液瘻危険因子について膵液瘻の有無で2群(膵 液瘻群VS非膵液瘻群)に分け危険因子について検討。検 討因子(BMI・手術時間・術中出血・術翌日の採血データ、ド レーンアミラーゼ値、プロカルシトニン・栄養評価として術前 小野寺係数、プレアルブミン等)	150例	多摩病院
第3477号	推定糸球体濾過量 15ml/min/1.73m ² 未満の保存 期慢性腎臓病患者における 治療と予後についての調査 (JOINT-KD study)	2017年1月26日	2019年3月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 小坂橋 賢一郎		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3477.pdf			大学・大学病院
第3495号	憩室出血における早期・晩 期再出血のリスク因子につ いての検討	2017年1月4日	2019年12月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 佐藤 義典	当院にて憩室出血の診 断で入院加療を要した症 例 平成16年1月1日～ 平成28年11月16日	近年、高齢化により大腸憩室症は増加しており、それに 伴って偶発症である憩室出血症例も増加している。憩室出 血の問題点は、緊急下部消化管内視鏡を施行した場合に おいても出血源同定率が低いこと、また再出血を繰り返す 症例が多いことである。当院では出血源の同定には腹部 CTの施行や緊急内視鏡施行の際の先端フード着用、Non- traumatic tubeの使用が有用であることを報告してきた。今 回、当院にて大腸憩室出血と診断され入院した症例を対象 とし、入院中に生じた肉眼的血便を早期再出血、退院後に 生じた肉眼的血便を晩期再出血と定義し、そのリスク因子 を解析する。	年齢、性別、既往歴、抗血栓薬内服歴、入院期間中 の輸血の有無、CT上の憩室分布などの因子	450例	大学・大学病院
第3501号	先端刺入法大腸粘膜切除 術と大腸粘膜下層剥離術 の治療成績の比較検討	2017年1月4日	2019年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 【西部病院】 小澤 俊一郎	当院でEMRもしくはESD を施行したlp型腫瘍を除 く腫瘍 平成20年4月1日～ 平成26年12月31日	大腸粘膜切除術(EMR)は大腸腫瘍を切除できる標準的な 方法であるが、腫瘍径が大きい場合は分割切除や腫瘍遺 残のリスクがある。一方で大腸内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)は腫瘍径に関わらず切除することが可能である、近 年大腸ESDは件数が増加しているが、コスト・時間面にお いてESDはEMRより非効率的である。2001年に野村らがス ネア先端刺入法EMRと通常EMRの比較検討を行い、スネア 先端刺入法EMRの一括切除率の優位性を論文で示した が、スネア先端刺入法EMRと大腸ESDの治療成績を比較 検討した報告はない。今回、どのような病変であればス ネア先端刺入法EMRが大腸ESDと同等の治療成績を示せる か明らかにし、不必要な大腸ESD施行を減らすことを検討 する。	年齢、性別、局在(部位、ヒダとの位置関係、局注後 の状態)、肉眼型、LST分類、腫瘍径、病理診断(腫瘍 ／非腫瘍、組織型)と内視鏡的一括切除率	200例	大学・大学病院、西部病院
第3528号	IgA腎症(再生検症例を含め た)における病理組織分類 のOxford分類と我が国の組 織学的重症度分類を用いた 予後予測モデルの構築	2017年1月23日	2020年3月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 鈴木 智	当院で2回以上腎生検し たIgA腎症 昭和59年1月1日～ 平成28年12月31日	IgA腎症は我が国で難病指定の疾患となった20年以上の経 過で約4割が末期腎不全に至る予後不良の疾患である。そ のため、正確な予後及び治療効果の予測が必要である。 IgA腎症は、病理組織所見により潜在的なリスクの検討が 可能となる。組織学的分類には、Oxford分類と本邦の組織 学的重症度分類がしばしば使用されているが、議論の余地 がある。今回、再生検による形態学的分類の移行を観察 し、heterogenousなIgA腎症を形態学的に細分化することが 可能か検討する。	①腎生検時観察項目 生年月日、性別、腎生検日時、RAS系阻害薬内服の有 無、副腎皮質ステロイド剤内服の有無、扁桃摘出の有無・ 日時、病理組織分類(Oxford分類、半月体形成の有無、わ が国の組織学的重症度分類)②経過観察時観察項目 観察日、身長、体重、血清クレアチニン値、eGFR、尿中 アルブミン・クレアチニン比、尿中蛋白・クレアチニン比、尿中 蛋白量、降圧剤内服数、RAS系阻害薬内服の有無、副腎 皮質ステロイド剤内服の有無、免疫抑制剤内服の有無、 Fish oil内服の有無、透析開始の有無・日時、腎移植の有 無・日時、死亡の有無・日時	約50例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設	
第3562号	リウマチ性疾患の患者に生じた顎骨壊死の解析	2017年2月14日	2023年3月31日	内科学(リ・膠・ア内科) 永瀨 裕子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3562.pdf		大学・大学病院	
第3651号	成人ループス腎炎の予後に関する観察研究(コホート研究)	2017年7月4日	2019年12月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 市川 大介	ループス腎炎 2007年1月1日～ 2012年12月31日	日本腎臓学会の二次研究として、腎生検を施行してループス腎炎と診断された症例を対象に、レトロスペクティブなコホート研究を行う。まずは、ループス腎炎全体および各組織型による腎予後を明らかにする。今回の検討の結果、成人ループス腎炎症例の組織型別の初期治療と予後の実態が明らかになるとともにループス腎炎の病態解明に有益な知見が得られると考える。 【J-RBRへの診断時登録データ】 ・患者基本情報：年齢、性別、腎生検実施日、腎生検回数、一般所見：身長、体重、血圧(収縮期/拡張期)、降圧薬内服の有無、糖尿病診断の有無、尿所見：尿定性試験(尿潜血、尿蛋白)、尿沈渣(尿中赤血球数)、尿生化学(尿蛋白量g/日、g/gCr)、血液検査：血清クレアチニン(Cr)、血清総蛋白、血清アルブミン、総コレステロール、HbA1c、腎生検：病理組織診断名(ループス腎炎)、組織型(ISN/RPS分類) 【診断時の追加調査データ】 ・患者基本情報：SLE発症日、ループス腎炎発症日、臨床病型：ネフローゼ症候群、急速進行性腎炎症候群(RPGN)の有無、血液検査：抗リン脂質抗体(ループスアンチコアグulant、抗カルジオリピン抗体IgG、抗カルジオリピン抗体IgM、抗カルジオリピンβ2-GPI複合体抗体のいずれかが陽性の有無)、抗DNA抗体(有無)、抗Sm抗体(有無)、血清補体価(CH50)、C3、C4、腎生検：理由(初発、再発、難治、軽快、その他)、今回は2回目以降の腎生検の場合：以前の腎生検の施行日、組織型(ISN/RPS分類またはWHO分類)。初回治療内容、フォローアップのデータ(6ヵ月後、12ヵ月後、最終観察時、経過中のイベント)	8例 (全体600例)	大学・大学病院	
第3679号	拡張時間2分の内視鏡的乳頭ラージバルーン拡張術(EPLBD)の治療成績	2017年11月27日	2025年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 路川 陽介	総胆管結石 2012年5月1日～ 2020年9月30日	近年、胆管の大結石や多数結石などに対する治療としてEPLBDの有用性が報告されている。2016年に日本消化器内視鏡学会より、EPLBDのガイドラインが提唱されたが、バルーンの適切な拡張時間については明確なエビデンスがないのが現状である。また、細径のバルーンを用いた内視鏡的乳頭バルーン拡張術(EPBD)では5分の長時間拡張が治療効果や肺炎予防に寄与するとの報告があるが、EPLBDでは明らかにされていない。本研究は、内視鏡的胆管結石除去術におけるEPLBDの拡張時間2分の妥当性、有用性、安全性を検討する。	結石数、結石径、完全截石率、完全截石までの治療回数/時間、偶発症率、長期予後	220例	大学・大学病院、 西部病院、多摩病院
第3680号	慢性腎臓病患者における教育入院の効果に関する研究	2017年7月26日	2024年3月31日	栄養部 柴田 みち	慢性腎臓病教育入院の方 2011年1月1日～ 2017年6月15日	当院では、平成23年1月より、慢性腎臓病の進行予防を目的とした1週間の入院教育プログラムを導入している。該当患者の情報を収集し、教育入院の効果(腎臓機能の悪化速度を緩徐にする)に影響をおよぼす背景因子を明らかにする。	患者背景(年齢、性別、身長、体重、BMI、同居者、栄養指導記録から食生活歴など)、慢性腎臓病ステージ分類、原疾患、リハビリ室で測定した身体機能指標、身体組成、教育入院半年前・入院時・入院半年後・1年後における生化学検査値(eGFR)	300例	大学・大学病院
第3690号	オノマトペを用いた診療支援システムの構築についての研究	2017年8月2日	2019年3月31日	内科学 (総合心療内科) 松田 隆秀	疼痛を主訴とする疾患 2016年4月1日～ 2017年3月21日	日常診療において、患者は医師に「ずきずき」、「しくしく」といったオノマトペ(擬音語、擬態語の総称)で疼痛を表現することが多い。「くも膜下出血のように、突然バットで頭を「ガーン」と殴られたような痛み」のような表現が代表的であるが、言語による主観的な訴えの多くは客観的に評価することが困難なため、検査に依存した診療が行われがちである。電気通信大学では、オノマトペが表す痛みの質と強度を35の評価尺度を用いて定量化するシステムを開発している。このシステムと日常診療で得られるオノマトペと最終診断された疾患との関係を合わせることで、患者の表現するオノマトペから特定の疾患を想起できるような表現に変換し、診断に結び付けられるような診療支援システム作りを電気通信大学と共同で行う。	年齢、性別、症状とその部位、オノマトペ、症状の具体的な形容表現、pain scale、最終診断名、身長、体重、既往歴、内服歴、飲酒歴、喫煙歴、家族歴、血液検査所見、実施された超音波・CT・MRI・内視鏡検査の実施日・画像所見	1,000例	大学・大学病院、多摩病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第3692号	消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース構築	2017年9月14日	2018年12月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 松田 浩二		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3692.pdf			西部病院
第3698号	SCRUM-Japan 疾患レジストリを活用した新薬承認審査時の治験対照群データ作成のための前向き多施設共同研究(SCRUM-Japan Registry)	2017年10月5日	2028年3月31日	臨床腫瘍学 新井 裕之		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3698.pdf			大学・大学病院
第3711号	日本における頭頸部悪性腫瘍登録事業の実施	2017年10月5日	2021年12月31日	耳鼻咽喉科学 深澤 雅彦		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3711.pdf			大学・大学病院
第3715号	日本外傷データバンクへの外傷患者登録と登録データを用いた臨床研究	2017年11月16日	2026年3月31日	救急医学 平 泰彦		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3715.pdf			大学・大学病院
第3743号	日本人肝チトクロームP450の各分子種における遺伝多型とmRNA、蛋白発現量及び酵素活性との関連の評価	2017年10月13日	2022年12月31日	薬理学 松本 直樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3743.pdf			大学・大学病院
第3748号	症候性小腸狭窄を有するクローン病患者に対する薬物療法と内視鏡的バルーン拡張術の治療成績について：多施設共同研究	2017年10月18日	2019年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 山下 真幸	2008年1月1日以降に症候性狭窄が明らかとなり追跡可能であった当院のクローン病 2008年1月1日～ 2017年3月31日	本研究では、クローン病の小腸狭窄におけるバルーン小腸内視鏡を用いた粘膜面の評価や内視鏡的バルーン拡張術の効果、小腸狭窄に対する免疫調節剤や抗TNF- α 抗体製剤の有用性などが明らかになる可能性がある。また、クローン病全例における症候性狭窄に対する薬物治療や内視鏡的バルーン拡張術が腸管切除に与える影響の解析により症候性狭窄を来したクローン病患者の予後予測が可能となり、適切な治療選択が期待される。	検査日時、性別、クローン病発症時年齢、イレウス発症時年齢、罹病範囲、病型、肛門病変の有無、投薬情報、臨床経過	5例 (全体200例)	大学・大学病院
第3810号	低ナトリウム血症を伴う肺炎における血清ナトリウム値急上昇の危険因子の探索	2018年1月9日	2020年3月31日	内科学 (総合診療内科) 廣瀬 雅宣	低ナトリウム血症を伴う肺炎 2006年2月1日～ 2017年10月31日	低ナトリウム血症はありふれた病態であるが、治療途中で結成ナトリウム値が急激に上昇することがあり、浸透圧性脱髄症候群の危険因子となり得る。低ナトリウム血症が起きる原因の一つに肺炎があるが、低ナトリウム血症を併存する肺炎において、治療開始からどの程度時間が経過すると、抗利尿ホルモンが分泌抑制されるかは特定できていない。本研究では、低ナトリウム血症を併存する肺炎において、血症ナトリウム値が急上昇するタイミングを明らかにする。また、血症ナトリウム値の急上昇が引き起こすリスク因子には何があるか調査する。	年齢、性別、病名、身長・体重、基礎疾患、内服歴、施設入所の有無、飲酒歴、喫煙歴、家族歴、意識障害の有無、血圧、脈拍、体温、SpO ₂ 、呼吸数、尿量、血液・尿検査、喀痰検査、超音波、CT・MRI・内視鏡検査の実施日・画像所見	300例	多摩病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第3819号	当院における虫垂炎手術の 治療成績	2018年1月10日	2019年3月31日	消化器病センター 【東横病院】 浜辺 太郎	虫垂炎 2012年1月1日～ 2016年12月31日	急性虫垂炎の治療方針は、緊急手術の適応を含めて施設間で違いがある。近年、保存的治療を先行させて、炎症のない時に待機的虫垂切除術を施行する(Interval Appendectomy)ことが普及してきている。また、膿瘍形成性虫垂炎に関しても、緊急手術や穿刺ドレナージ、保存的治療を先行させてからの待機的虫垂切除などの適応を含め、治療方針に選択肢がある。当院における急性虫垂炎の治療成績を解析し、緊急手術や待機的手術などの治療方針の妥当性について検討する。	手術成績や術後経過(手術時間・出血量・合併症・術後在院日数など)	182例	東横病院
第3842号	当科における胃癌症例に関する臨床的特徴並びに治療成績の検討	2018年1月16日	2021年3月31日	外科学 (消化器・一般外科) 榎本 武治	胃癌 1989年4月1日～ 2020年9月30日	聖マリアンナ医科大学病院、東横病院、横浜市西部病院、川崎市立多摩病院で診療した特に胃癌症患者症例の特に手術、栄養、感染の現状を把握するため、診断、治療、予後について調査を行う。	年齢、性別、既往歴、家族歴、血液検査(血算:白血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット、MCV、MCH、MCHC、血小板、凝固:PT、PT-TNR、APTT、生化学検査:総蛋白、アルブミン、プレアルブミン、AST、ALT、クレアチニン、尿素窒素、CRP、血清鉄、TIBC、CEA、CA19-9、CA125、プロカルシトニン、プレセプシン等)画像診断(上部消化管造影、CT、MRI、上部消化管内視鏡、PET-CT等)手術症例:術式、出血量、合併症、転帰、病理検査結果、予後	5,000例	大学・大学病院、 東横病院、西部病院、 多摩病院
第3851号	一般社団法人日本脳神経外科学会データベース研究事業(Japan Neurosurgical Database: JND)	2018年3月20日	2023年9月30日	脳神経外科学 田中 雄一郎		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3851.pdf			大学・大学病院、 東横病院、西部病院、 多摩病院
第3856号	当科における腹部外傷症例に関する臨床的特徴並びに治療成績の検討	2018年1月29日	2026年3月31日	消化器・一般外科学 小泉 哲		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3856.pdf			大学・大学病院
第3857号	当科における肝切除症例に関する臨床的特徴並びに治療成績の検討	2018年2月14日	2026年3月31日	外科学 (消化器・一般外科) 小泉 哲	肝切除を実施した症例 2005年4月1日～ 2017年11月30日	聖マリアンナ医科大学病院で診療した肝切除症例を対象とし、術前情報からの手術適応の判断および術中診断の適否、術後経過(合併症発生率、予後)の現状を把握する。	術前情報:年齢、性別、既往歴、家族歴、治療の対象となった原因疾患、併存疾患、内服歴、全身状態、認知機能、血液検査(血算:白血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット、MCV、MCH、MCHC、白血球、血小板、凝固:PT、PT-INR、APTT、生化学検査:総蛋白、アルブミン、プレアルブミン、AST、ALT、クレアチニン、尿素窒素、CRP、アンモニア、ICG-R15(血中停滞率)、血清鉄、TIBC(総鉄結合能)、腫瘍マーカー、プロカルシトニン、プレセプシン等)画像診断(腹部超音波、CT、MRI、PET-CT等)術中情報:術式、出血量、総手術時間、肝門遮断時間、使用した手術デバイス、術中門脈圧測定値、術中循環動態パラメーター各種。術後情報:術後在院日数、合併症の種類と発生率、転帰、病理検査結果、予後	300例	大学・大学病院
第3858号	胆道癌における最適な術式および周術期管理と術前後化学療法の有用性に関する検討	2018年1月29日	2023年3月30日	外科学 (消化器・一般外科) 小林 慎二郎	肝内胆管癌、胆嚢癌、肝外胆道癌、肝外胆管癌 2005年1月1日～ 2017年12月20日	肝内胆管癌、胆嚢癌、肝外胆道癌などの胆道癌は難治性癌と考えられており、術式や補助化学療法の最善策について一定の見解が得られていないのが現状である。また、胆道癌に対して適応とされる術式は大量肝切除術や隣臓十二指腸切除術など侵襲の大きな術式であり、合併症も多い。これらについて各施設で様々な工夫を行っているが、いまだ十分に合併症を軽減できているとは言えない。各癌における術式・手術手技・周術期管理と合併症の発生における因果関係と、術前後化学療法が再発・予後に与えるか否かを検討し侵襲と安全性、根治性の面から最適な術式と化学療法はなんであるかを探索する。	年齢、性別、BMI、糖尿の有無、soft pancreasであるか・膵管径、術前栄養指標データ、シンバイオティクス施行の有無、手術手技におけるリンパ節郭清範囲、出血量、手術時間、脾空腸吻合手技、消化管吻合手技、予防抗菌薬、術後管理。対象とする合併症は膵液瘻、胆汁瘻、SSI、胃内容排泄遅延、胆管炎、脂肪肝、術前後の補助化学療法施行の有無やその内容、術後病理組織学的検査結果、再発部位、再発期間、予後(無再発生存期間、全生存期間など)	200例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第3861号	ANCA関連血管炎における翻訳後修飾の検討	2018年2月9日	2028年3月31日	疾患バイオマーカー・標的分子制御学 鈴木(黒川)真奈絵		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3861.pdf			大学・大学病院
第3862号	全身性自己免疫疾患における抗RNP抗体等の産生機序の解明	2018年2月9日	2028年3月31日	疾患バイオマーカー・標的分子制御学 鈴木(黒川)真奈絵		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3862.pdf			大学・大学病院
第3864号	再発性多発軟骨炎における血清ペプチドプロファイルの解析	2018年2月9日	2028年3月31日	疾患バイオマーカー・標的分子制御学 鈴木(黒川)真奈絵		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3864.pdf			大学・大学病院
第3865号	炎症性腸疾患における血清ペプチドマーカの探索	2018年2月9日	2028年3月31日	消化器内科学 加藤 正樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3865.pdf			大学・大学病院
第3882号	結腸・直腸癌を含む消化器・腹部悪性腫瘍患者を対象としたリキッドバイオプシーに関する研究(GOZILA Study)	2018年3月12日	2027年3月31日	臨床腫瘍学 砂川 優		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3882.pdf			大学・大学病院、東横病院、多摩病院
第3888号	当院における回腸人工肛門閉鎖術に関する検討	2018年2月28日	2019年3月31日	消化器病センター【東横病院】 浜辺 太郎	回腸人工肛門形成状態 2011年1月1日～ 2017年11月31日	人口肛門閉鎖術は合併症発生率が高く、多くが創部感染であるとされる。人工肛門閉鎖術における環状皮膚縫合の有効性についての報告もある。また、緊急手術での人工肛門造設術は、定時手術よりも合併症発生率が高いことが想定される。今回、当院における回腸人工肛門閉鎖術に関して検討を行い、手術手技の妥当性について検討することを目的とした。	手術時間、出血量、合併症、術後在院期間、造設から閉鎖までの期間	41例	東横病院
第3891号	胆嚢疾患におけるERCP関連手技の検討	2018年2月22日	2021年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 中原 一有	胆嚢疾患 2010年4月1日～ 2017年12月31日	ERCP手技における胆嚢内へのアプローチは、十二指腸乳頭および胆嚢管を経由する必要があるため手技的難易度が高く、一般に普及しているとは言えない。近年では、手術が困難な急性胆嚢炎例に対する内視鏡的胆嚢ドレナージ術や、病理学的診断を目的とした胆嚢内胆汁細胞診などのERCP手技が、high volume centerを中心に行われるようになってきているが、詳細な成績や安全性は明らかではない。そこで、当院で施行した胆嚢疾患に対するERCP関連手技をretrospectiveに調査し、その成績および安全性について検証することによって、胆嚢疾患に対するERCP手技を用いた治療や診断の更なる確立に寄与することを目的として検討を行う。	患者背景(年齢、性別、原疾患、胆石有無、急性胆嚢炎重症度、傍乳頭憩室有無、既往歴、内服歴等)処置内容(外瘻ドレナージ、ステンディング、胆汁吸引等)使用処置具の種類(ステント形状、径、長等)、処置成功率、臨床的成功率、偶発症	250例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第3899号 StageⅢの治癒切除胃癌に対する術後補助化学療法としてのTS-1+Docetaxel併用療法とTS-1単独療法のランダム化比較第Ⅲ相試験(JACCRO GC-07(START-2))におけるバイオマーカー研究 JACCRO GC-07AR2	2018年3月20日	2025年9月30日	臨床腫瘍学 砂川 優			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3899.pdf		大学・大学病院
第3902号 術後再建腸管症例に対するERCP検討	2018年3月7日	2020年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 森田 亮	ERCP関連手技を施行した術後再建腸管例 2011年1月1日～ 2017年3月31日	術後再建腸管を有する胆膵疾患に対するERCPは、バルーン内視鏡の開発により可能となった。さらに2016年にはバルーン内視鏡加算として保険収載され、ますますの手技普及が期待されている。しかし、種々の術式や再建方法があり、挿入手技の標準化はなされておらず、なお難渋することも少なくないのが現状である。近年開発された新型ショートバルーン内視鏡はこれまで用いられていたシングルバルーン内視鏡と比較し、短いスコープ長と大きな鉗子口を有し、術後再建腸管例におけるERCPにおいて使用可能なデバイスの幅が広がりより多彩な処置が可能となった。しかし、挿入性においては短いスコープ長のデメリットも危惧され、シングルバルーン内視鏡との優劣は明らかではない。当院における術後再建腸管例のERCPを検証し、ショートシングルバルーン内視鏡とシングルバルーン内視鏡の成績を比較検討することを目的とした。	患者背景(年齢、性別、PS、腸管再建方法、胆管炎重症度、抗血栓薬内服歴、結石数、結石径、乳頭処置既往、傍乳頭憩室有無、血液検査(WBC、CRP、T-Bil、D-bil、AST、ALT、r-GTP、ALP、LDH、AMY)、ERCP処置内容(使用スコープ、目的部位、到達時間、処置時間、、目的部位達成率、処置成功率、胆管挿管法、乳頭処置(EST、EPBD、EPLBD、pre-cut、無し)結石除去法(バスケット、バルーン、EML)胆管ドレナージ法(ENBD、EBD、PTBD、MS)遇圧症(偶発症率、内訳(膵炎、出血、穿孔、胆道炎、ステントトラブル(自己抜去、迷入、逸脱)誤嚥性肺炎、バイタル変動等)偶発症重症度、入院期間。	1,000例	大学・大学病院
第3920号 妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠の妊娠転帰および母児の長期予後に関する登録データベース構築による多施設前向き研究(Diabetes and Pregnancy Outcome for Mother and Baby Study)糖尿病および“妊娠中の明らかな糖尿病(Overt diabetes in pregnancy)”合併妊娠の妊娠転帰調査(DREAMBee study [DM/OvertDM-PO])	2018年4月9日	2025年12月31日	内科学 (代謝・内分泌内科) 中川 朋子			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3920.pdf		大学・大学病院
第3925号 尿路結石患者の塩酸蓄尿による尿化学検査の検討	2018年3月19日	2020年3月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 鈴木 智	当科で塩酸蓄尿した尿路結石患者 2016年4月1日～ 2017年8月31日	これまで尿路結石は、泌尿器科で診ることが多かったが、近年メタボリック症候群と関連し、また慢性腎臓病のリスクであることがわかっていく。海外では内科医が再発予防に携わることが多く、2017年4月より日本で初めて内科による結石評価を当科で開始した。塩酸蓄尿による尿路結石のリスク因子、原因を調べることが目的である。	身長、体重、BMI、血圧、尿定性沈査、蛋白定量、尿電解質、塩酸蓄尿:シュウ酸、クエン酸、pH、尿中クレアチニン、ナトリウム、カリウム、マグネシウム、カルシウム、リン、尿酸、クロール、クエン酸、尿UN、浸透圧、採血:血算、TP、Alb、Cre、BUN、ALP、尿酸、AST、ALT、Tbil、γ GTP、LDH、浸透圧、レニン、アルドステロン、TSH、intact-PTH、25(OH)ビタミンD、1,25(OH)ビタミンD、TRACP5b、BAP、血糖、CRP、HbA1c、Tchol、LDLc、HDLc、TG、UA、BUN、Ca、Na、K、CL、P、Mg、Alb、静脈血ガス	30例	大学・大学病院
第3926号 腎移植前後の腎臓の大きさと形態学的変化の推移	2018年3月19日	2020年3月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 鈴木 智	腎移植前後でCT volumetryを測定している腎移植患者 2007年1月1日～ 2017年8月31日	腎移植後レシピエントは機能的片腎となるため、腎臓の大きさが移植後に肥大する。それに伴い糸球体も肥大することが知られている。CT volumetryで著明に腎臓が大きくなった症例で、糸球体肥大に伴い、巣状分節性糸球体硬化症を合併した症例を経験した。(in submit)本研究は、移植前後の腎肥大の程度と形態学的変化を観察することが目的である。	腎移植時(レシピエント、ドナーの性別、年齢、身長、体重、CT volumetryによるドナーの腎臓のサイズ)、腎移植後(腎生検日時、腎臓volumetry測定、内服薬(RAS系阻害薬内服の有無を含む)、病理組織評価(主に糸球体の大きさ、糸球体の変化)、体重(腎移植退院時、腎生検時)、血清クレアチニン値、eGFR、尿中アルブミン・クレアチニン比、尿中蛋白・クレアチニン比、尿中蛋白量、免疫抑制剤内服の種類、腎移植の有無・日時、入院を必要とするような合併症の有無	20例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第3929号	急性胆管炎合併DICに対するトロンボモジュリンを用いた抗凝固療法におけるアンチトロンビン併用の必要性和安全性に関する検討	2018年3月20日	2020年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 中原 一有	rTMを用いて抗凝固療法を施行した急性胆管炎に合併したDIC例 2010年4月1日～ 2017年12月31日	近年、感染症に伴う播種性血管内凝固症候群(DIC)に対し、新規DIC治療薬であるrecombinant human soluble thrombomodulin(rTM)を用いた抗凝固療法の有用性の報告が散見される。一方、以前よりantithrombin(AT)の有用性の報告がみられており、最近ではrTMとATの併用療法による良好な治療成績の報告もみられる。急性胆管炎はグラム陰性桿菌を主とする感染症によりしばしばDICを合併し、日常臨床において比較的多く遭遇する。急性胆管炎に合併したDICに対するrTMを用いた抗凝固療法の有用性を示す報告はごく少数みられ、The Tokyo Guidelines 2018 for acute cholangitisにおいては、推奨度は1levelと低いながらもrTMの使用を考慮すべきとしている。しかし、抗凝固療法薬の選択に関する十分なエビデンスはなく、特にrTMとATの併用の有用性、安全性は不明である。そこで今回われわれは、急性胆管炎に合併したDICに対するrTMを用いた抗凝固療法において、AT併用の必要性和安全性を明らかにすることを目的として検討する。	患者背景(年齢、性別、胆管炎原疾患、胆管炎重症度、DICスコア、SIRSスコア、血液検査所見(Plt、PT-INR、Fib、D-dimer、FDP、AtⅢ、T-bil、CRP等)、使用薬剤種類および投与量(抗凝固療法薬、抗菌薬等)、胆管ドレナージ、DIC離脱率、DICスコア推移、SIRSスコア推移、血液検査値推移、有害事象、転帰	50例	大学・大学病院、多摩病院
第3935号	重症気管支喘息患者の当院における治療選択および抗体製剤の治療効果	2018年4月2日	2020年3月31日	内科学 (呼吸器内科) 【多摩病院】 佐治 淳子	気管支喘息 2010年4月1日～ 2018年1月24	当院における気管支喘息患者について重症度別の分布を検討する。喘息予防・管理ガイドライン2015においてステップ4の治療を行っても十分なコントロールが得られない患者については、追加治療としての抗体製剤、気管支サーモプラスティ、経口ステロイド薬の導入を検討する必要がある。最善の治療選択を行うことが重要であるが、厳密な指標が無い	性別、BMI、IgE、末梢血好酸球数、呼吸機能検査、発作回数、予定外受診回数、短時間型β2刺激薬処方本数等	30例	多摩病院
第3942号	がん型アミノ酸トランスポーターLAT1を標的とした胆道癌治療効果と発癌経路の解明	2019年3月1日	2024年3月31日	病理学 柳澤 信之		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3942.pdf			大学・大学病院
第3947号	プレセプシンを用いた急性胆管炎の診断、重症度判定の有用性についての検討	2018年4月10日	2019年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 末谷 敬吾	当院当科にて診断された閉塞性黄疸例 2016年4月1日～ 2018年2月21日	急性胆管炎は敗血症などの重篤かつ致死的な感染症に進展しやすく、重症例では、速やかに適切な胆道ドレナージが行われない限り、急激な全身状態の悪化をきたし、不幸な転帰を辿ることが多い。急性胆管炎の重症度評価として2013年以降、Tokyo Guidelines 2013(TG13)が報告され、胆管炎に対してより簡潔な重症度評価がなされている。しかし、一方で併存疾患の有無によっては、重症度評価が困難となる。また、2002年に細菌感染症のバイオマーカーとして報告されたプレセプシンは、CRPやプロカルシトニンと比較すると他の炎症の影響をうけにくく感染症の重症度判定に有用との報告が散見される。そこで、今回我々は、単一マーカーでの評価が可能であれば診断の一助になると考え、プレセプシンとTG13で提言されている急性胆管炎の重症度との相関関係を検討した。	患者背景(年齢、性別、閉塞性黄疸の原因疾患、胆管炎の有無・重症度、既往歴、血液検査値(WBC、Plt、CRP、PT-INR、T-Bil、D-bil、AST、ALT、γ-GTP、ALP、LDH、AMY、Cr、BUN、Alb))、胆管炎の有無でのプレセプシン値、胆管炎の重症度とのプレセプシン値、原疾患ごとのプレセプシン値、急性胆管炎の各重症度でのプレセプシンのカットオフ値	100例	多摩病院
第3948号	急性出血性直腸潰瘍症例の後ろ向き解析	2018年4月5日	2020年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 松尾 康正	内視鏡的にAHRUと診断された方 2012年4月1日～ 2017年4月30日	急性出血性直腸潰瘍(AHRU:Acute hemorrhagic rectal ulcer)は、長期臥床患者などに好発する無痛性の直腸潰瘍を契機とした出血性病変である。高齢化に伴い透析患者など、AHRUのリスクとなる患者が増加傾向にある。当院で経験したAHRUを解析することで診断、治療方法、再出血率や予後などを調べ今後の診療に役立てる。	年齢、性別、入院日、出血日、入院担当科、基礎疾患、PS、臥床時期、抗血栓薬など使用薬剤、採血結果、内視鏡診断前CTの結果、潰瘍の位置と形状、止血方法、輸血の有無、予後など	90例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第3952号	急性胆管炎に合併したDICの胆管ドレナージ施行例に対するトロンボモジュリンを用いた抗凝固療法の必要性に関する検討	2018年4月12日	2020年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 中原 一有	急性胆管炎に合併したDIC例 2004年12月1日～ 2017年12月31日	近年感染症に伴う播種性血管内凝固症候群(DIC)に対し、新規DIC治療薬であるrecombinant human soluble thrombomodulin(rTM)を用いた抗凝固療法の有用性の報告が散見される。急性胆管炎はグラム陰性桿菌を主とする感染症によりしばしばDICを合併し、致命的となる場合がある。急性胆管炎に合併したDICに対しrTMの使用を考慮すべきとの記載がなされたが、推奨度はlevelDと低く、rTMの有用性や安全性に関するエビデンスは十分ではない。急性胆管炎は胆管ドレナージにより速やかに改善する場合が多く、特に胆管ドレナージ施行例においては、rTMによる抗凝固療法の必要性は不明である。そこで今回われわれは、急性胆管炎に合併したDIC症例を調査し、胆管ドレナージ施行例において、rTMを用いた抗凝固療法の必要性を明らかにすることを目的とする。	患者背景(年齢、性別、胆管炎原疾患、胆管炎重症度、DICスコア、SIRSスコア、血液検査所見(Plt、PT-INR、Fib、D-dimer、FDP、AtⅢ、T-bil、CRP等)、使用薬剤種類および投与量(抗凝固療法薬、抗菌薬等)、胆管ドレナージ法、DIC離脱率、DICスコア推移、SIRSスコア推移、血液検査値推移、有害事象、転帰	100例	大学・大学病院、多摩病院
第3963号	腫瘍性気道狭窄に対する気道拡張術の後方視的検討	2018年4月19日	2024年5月31日	内科学 (呼吸器内科) 峯下 昌道		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3963.pdf			大学・大学病院
第3964号	臨床病期Ⅱ/Ⅲ期(T4を除く)胸部食道扁平上皮癌を対象としたDocetaxel+CDDP+5-FU(DCF)併用療法によるchemoselection後に化学放射線療法あるいは外科切除の第Ⅱ相試験(CROC試験,UMIN試験ID8086)の生体試料からの遺伝子発現プロファイルを用いた食道癌サブタイプ分類と治療効果および治療成績との関連に関する付随研究	2018年5月14日	2027年4月17日	臨床腫瘍学 伊澤 直樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/3964.pdf			大学・大学病院
第3968号	経皮的血管形成術の疼痛コントロールについて	2018年4月26日	2019年3月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 金城 永幸	末期腎不全、透析シャント狭窄 2017年6月1日～ 2018年3月28日	経皮経管的血管形成術(PTA)はバルーン拡張時に激痛を伴う。当施設では以前よりペンタゾシン+ヒドロキシジンを鎮痛薬として使用していたが、殆ど鎮痛効果が得られていなかった。そのため平成29年6月よりミタゾラムもPTA施行時の鎮静薬・鎮痛薬として使用しており、今回ミタゾラム使用下でのPTA時疼痛を評価する。	年齢、性別、施行間隔、PTA回数、鎮痛薬・鎮静剤の種類、バスキュラーアクセスの種類、糖尿病の有無、狭窄部位、バルーンの種類、最大バルーン圧、バルーンの完全拡張有無、攣縮の有無、合併症の有無、睡眠薬の使用有無	110例	多摩病院
第3991号	経皮的冠動脈血行再建を施行した85歳以上の虚血性心疾患患者における有用な予後予測因子に関する後ろ向き観察研究	2018年5月14日	2019年3月31日	内科学 (循環器内科) 山崎 浩史	虚血性心疾患 2009年4月1日～ 2017年3月31日	近年高齢化が進んでおり、当院へ受診される85歳以上(超高齢者)の虚血性心疾患患者数も増加している。冠動脈治療の進歩により、冠動脈ステント留置術(percutaneous coronary intervention(PCI))による低侵襲治療が多く行われているが、超高齢者に対し、PCIを施行した患者の臨床成績に関しては確立されていない。本研究では今後増えたとされる超高齢者に対し、PCIを行うにあたり、臨床成績に反映できる有用な予後予測因子を見出すための後ろ向き研究である。	患者基本情報(性別等)、血液検査結果、退院時状況、退院後外来受診状況等	200例	大学・大学病院
第3993号	ラパチニブによる難治性下痢に対するの漢方製剤の有用性の検討	2018年5月14日	2021年12月31日	外科学 (乳腺・内分泌外科) 志茂 新	乳癌 2009年7月1日～ 2017年7月31日	ラパチニブは経口投与で通院頻度は患者へ負担が少ない薬剤であるが、その有用性にもかかわらず、重篤な副作用の頻度が多い薬剤であり使用が困難であるのが実状である。ラパチニブ使用での難治性下痢に対して、他の化学療法で報告のある漢方製剤である半夏瀉心湯の有用性を検討する。	年齢、性別、組織型、病期、手術日、手術術式、術後薬物療法の種類、肩関節可動域、QOL調査の分析結果、職業、婚姻状況、最終学歴	50例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第3994号	PLA2R関連膜性ループス腎炎の臨床的および組織学的検討	2018年6月13日	2020年3月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 鈴木 智	当院で腎生検した膜性ループス腎炎の症例 2011年4月1日～ 2018年3月31日	特発性膜性腎症は、近年ホスホリパーゼA2受容体(PLA2R)抗体との関連が明らかになってきた。一方、膜性ループス腎炎においては、原因となる抗体はわかっていない。当院で、膜性ループス腎炎において、糸球体においてPLA2R抗体が陽性である症例があることが確認できた。そのため、PLA2R陽性膜性ループス腎炎の特徴を明らかにすることが目的である。	①腎生検時 腎生検日時、年齢、生検前後の内服薬(ステロイド、免疫抑制剤など)、血清クレアチニン値、eGFR、尿中蛋白・クレアチニン比、1日尿中蛋白量、抗核抗体、抗ds-DNA抗体、C3、C4、CH50 ②形態学的評価 光学顕微鏡、蛍光抗体法、電子顕微鏡所見	20例	大学・大学病院、多摩病院
第4028号	20歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究	2021年6月24日	2023年12月31日	小児科学 森 鉄也		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4028.pdf			大学病院、西部病院
第4029号	白内障手術併用眼内ドレーンと内方繊維柱帯切開術の比較検討	2019年1月17日	2019年12月31日	眼科学 徳田 直人	緑内障 2017年6月1日～ 2018年12月1日	緑内障の治療は一言でいうならば「眼圧下降」である。その方法として薬物治療と手術治療がある。多くの場合は薬物治療が優先され、薬物治療の効果が不十分である場合、手術加療が選択される。手術治療においては「眼圧下降効果」とともに重要視される要素が「安全性」、そして「簡便性」である。今までの緑内障手術は白内障手術などのその他の眼科手術と比較して手技の難易度が高く、侵襲も大きいとされていたが、近年、低侵襲緑内障手術Minimally Invasive Glaucoma Surgery(以下MIGSと略す)という概念が提唱されはじめた。既に当院でも適応のある患者に対して積極的にMIGSを施行している。当院で施行しているMIGSは主にMicrohookを用いたabinterno trabeculotomy(以下 μ LOT)と白内障手術併用眼内ドレーン(iStent)を用いる方法の2つである。そこで本試験において、緑内障眼に対するiStentの眼圧下降効果、術後合併症について μ LOTと比較検討することが目的である。iStentの有効性、または μ LOTとの非劣性を評価するために両眼に軽度から中等度の開放隅角緑内障を患っている患者を対象に一方の眼にはiStentを、もう一方の眼には μ LOTをランダムに施行し、比較検討する。この方法により個体差というバイアスを最小限にできると考える。	術前後の眼圧、使用薬剤数、視力、前房内フレア強度、術後合併症	20例	大学・大学病院
第4038号	大規模DPCデータを用いた疫学研究～大気汚染が与える心疾患発症と奪う医療費	2018年6月11日	2025年3月31日	循環器内科学 川越 康仁		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4038.pdf			大学・大学病院
第4042号	造血細胞移植および細胞治療の全国調査	2018年7月9日	2028年3月31日	内科学 (血液・腫瘍内科) 平川 経晃		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4042.pdf			大学病院
第4051号	透析を必要とする急性腎障害(Dialysis-requiring acute kidney injury:AKI-D)患者の予後に関する検討	2018年6月26日	2019年3月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 牧野内 龍一郎	当院にてAKIと診断し透析を施行した患者 2011年11月1日～ 2016年12月31日	透析を必要とする急性腎障害(Dialysis-requiring acute kidney injury:AKI-D)患者の予後は不良であることが報告されている。今回我々は当科で診療したAKI-D患者の予後を明らかにすることを目的とした。	患者背景(年齢、性別、AKIの原因疾患、入院期間)、転帰(死亡・退院・転院)	79例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4059号 再生検組織を用いた微小変化型ネフローゼ症候群における壁側上皮細胞マーカーの検討	2018年8月9日	2019年6月30日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 鈴木 智			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4059.pdf		大学病院
第4064号 脳血管撮影後の穿刺部出血と抗血栓薬との関連性	2018年7月27日	2019年3月31日	脳卒中センター 【東横病院】 米津 美樹	橈骨動脈アプローチによる脳血管撮影を行った患者 2011年11月1日～ 2018年5月31日	2011年医師と共同し「脳血管撮影後止血プロトコール」を作成し、看護実践で本プロトコールが有効的に活用できた成果について、第28回日本脳神経血管内治療学会にて報告した。しかし近年、本プロトコールを逸脱する症例が増加している。その背景として、抗血栓薬併用の管理方法が変わったことが1つの要因として考えられる。そこで本研究では、抗血栓薬の併用方法と脳血管撮影後の穿刺部出血の関連について、後方視的に調査をする。	既往歴、抗血栓薬の種類(バイアスピリン、プラビックス、プレタール、ワーファリン、DOAC)と用量、穿刺部出血の有無等	100例	東横病院
第4068号 当院における血液透析患者の大腿骨近位部骨折術後の転帰	2018年7月25日	2019年3月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 韓 蔚	大腿骨近位部骨折後に入院加療になった透析患者 2006年4月1日～ 2017年7月31日	血液透析(HD)の患者の高齢化に伴い、転倒、骨折受診数は増加してきている。その中で入院、手術後の在院日数に寄与する要因に関して明確な見解はなく、早期退院はADL保持のためにも非常に大切である。そこで、今回我々は大腿骨近位部骨折に対して手術を施行したHD患者の年齢、原疾患などの背景、来院時血液検査所見、もともとのADLを後方視的に抽出し、患者の特徴、早期退院に繋がる因子を明らかにすることを目的とした研究を立案した。	患者背景(年齢・性別・基礎疾患・透析施行歴・内服薬・入院前のADL・補正カルシウム値(cCa)・リン値(P)・アルブミン値(Alb))、手術方法(大腿骨頭置換術、間欠的固定)、ソーシャルワーカー(MSC)介入の時期	36例	大学・大学病院
第4069号 血管肉腫の免疫組織化学的検討	2018年8月17日	2025年3月31日	病理学 千川 晶弘			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4069.pdf		大学
第4096号 当院における鼠径部ヘルニアの診断方法と治療成績	2018年8月21日	2019年3月31日	消化器病センター 【東横病院】 丹波 和也	鼠径部ヘルニア 2011年1月1日～ 2017年12月31日	鼠径部ヘルニアでは術前に正確な分類を行うことは、外科的治療が適切かどうか、術式選択、および手術のタイミングを含む外科的介入の決定を行うために重要である。鼠径部ヘルニアは、身体診察で診断することができるが、疑わしい病変や非定型な病変、ヘルニアのタイプ決定には信頼できないのが現状である。現在行われている画像診断は、腹部超音波検査やヘルニオグラフィー、腹部Computed Tomography(以下CT)検査が挙げられる。我々は、鼠径部ヘルニアが疑われた症例に対して鼠径部の除圧をして腹臥位で撮像するCT検査を行っている。当院では、腹腔鏡下手術を積極的に取り入れており、当院における腹腔鏡下ヘルニア修復術症例において、術前CT検査所見と腹腔鏡手術所見を評価して腹臥位CT検査の妥当性についてretrospectiveに検討する。	年齢、性別、病名、自覚症状の有無、身体診察所見、伏臥位CT検査、手術記録からヘルニア門の大きさ、ヘルニア修復に使用したメッシュの種類など	179例	東横病院
第4112号 輸血製剤供血者の性別の違いが受血者に与える影響に関する検討	2018年9月3日	2020年3月31日	小児科学 鈴木 真波	輸血を受けた新生児 2013年4月1日～ 2018年3月31日	成人領域では女性が供血者の輸血製剤を利用した場合、受血者に副作用が発生するリスクが上昇することが知られている。2018年には海外の早産児についての報告でも、単施設の研究であるものの女性ドナーからの輸血製剤を投与された児はそうでない児と比較して合併症の割合が多いことが報告された。本邦では同様の報告はないため、今回当施設において女性由来の血液製剤が新生児に対して与える影響を後方視的に検討することとした。	①対象期間に出生し輸血を受けた新生児の情報(在胎週数、出生体重、アプガースコア、入院中の合併症、母体の年齢、子宮内感染症の有無、母体ステロイド投与の有無、入院期間) ②輸血製剤ドナーの性別情報	200例	大学・大学病院、西部病院
第4116号 院内発症の脳梗塞発症の予測因子に関する観察研究	2018年8月28日	2025年6月30日	脳神経内科学 伊佐早 健司			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4116.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4120号	当院における動物介在療法	2018年9月12日	2019年3月31日	外科学(小児外科) 長江 秀樹	当院に入院した患児でAATを施行した患者を対象 2015年2月1日～ 2018年3月31日	犬を用いた動物介在療法(Animal Assisted Therapy:AAT)を大学病院として初めて開始し、2015年4月よりこれまで小児を含む157人の患者に対しAATがおこなわれた。患者および家族や医療従事者には極めて好評であるが、その評価をする事は難しいのが現状である。そこでAAT導入担当看護師に患者の具体的な目標依頼を記載し、AAT終了後独自に設定した実施目的達成度を4段階評価することとした。また同時にフェイススケールを用い、導入前と導入後の表情の変化を指数で表す。指数化することによりAATの有用性を明確にし、今後も動物介在療法を発展させていきたい。	年齢、病名、動物飼育歴、入院日数、患者背景、AAT施行目的とその達成度(I:未達成、II:わずかに達成、III:ほぼ達成、IV:達成)	180例	大学・大学病院
第4133号	直接作用型経口抗凝固薬の内服中に発症した虚血性脳卒中の検討	2018年10月2日	2021年3月31日	脳神経内科 秋山 久尚	直接作用型経口抗凝固薬の内服中に発症した虚血性脳卒中例 2013年7月1日～ 2018年7月31日	本邦では、非弁膜症性心房細動例や静脈血栓塞栓症例に対し、直接作用型経口抗凝固薬(Direct Oral Coagulant; DOAC)が、2011年に認可されたダビガトラン以降、現在までにリバーロキサバン、アピキサバン、エドキサバンの4剤が順次使用可能となっている。このDOAC使用例の増加に伴い、近年、同薬内服下における虚血性脳卒中例を経験することが多くなってきている。今回、我々はDOACの内服中に発症した虚血性脳卒中例の臨床的特徴について検討する。	年齢、性別、CHADS2 スコア値、NIHSSスコア値、基礎疾患、臨床病型、頭部画像所見、内服中DOACの種類や内服状況、転帰、身体所見、採血データ、胸部レントゲン、頭部MRI、頭部CT、頭部・頸部MRA、超音波検査	50例	大学・大学病院
第4139号	外側趾症状を伴う外反母趾の術式選択の違いによる術後成績の比較	2018年9月21日	2020年3月31日	整形外科 秋山 唯	外反母趾 2000年4月1日～ 2017年6月30日	有痛性胼胝や外側趾MTP関節脱臼などの外側趾症状を伴う外反母趾(HV)は、病態に応じた術式選択が必要である。これまでわれわれは、外側趾症状を有するHVに対してLapidus変法と外側趾に対して中足骨近位斜め骨切り術を併用した中足骨近位短縮骨切り組み合わせ手術(CMOS)を施行してきた。今回、CMOSと外側趾症状を伴わないHV手術症例でのHVの術後成績について比較検討すること。	術前後のX線、CT、MRI画像評価(外反母趾角、中足骨角、足部アライメント、扁平足の関係、中足骨頭、回旋評価、中足骨頭軟骨評価)、日本足の外科学会母趾判定基準(JSSF scale)、日本整形外科学会・日本足の外科学会足部足関節質問票で行った臨床評価、発生した合併症	200例	大学・大学病院
第4150号	坐骨神経ブロックは足部手術の術後鎮静に有用であるかの検討	2018年10月10日	2019年7月31日	整形外科 軽辺 朋子	外反母趾、関節リウマチ 2013年9月1日～ 2018年7月31日	下肢の手術において坐骨神経ブロックは有用であるとの報告はあるが、単回の坐骨神経ブロックが術後鎮痛に有用であるとの報告は少ない。当院では2016年10月頃から足部の術後鎮痛目的に坐骨神経ブロックを併用しているが、術後鎮痛に有用であるか検討する。	麻酔方法、術後坐骨神経ブロックの有無、術後鎮痛剤の使用頻度と使用薬剤、手術時年齢、性別、疾患足、術式、合併手術内容、術者、手術時間、単純レントゲン(術前後外反母趾角、骨切り部)、合併症の有無	60例	大学・大学病院
第4156号	低出生体重児は整形外科新生児検診項目での異常に影響するか？—当院における整形外科新生児検診の調査—	2018年10月15日	2019年7月31日	整形外科 遠藤 亜沙子	新生児検診を受けた児 1989年1月1日～ 2018年7月31日	当院では整形外科医が視診と触診により出生直後に新生児検診(以下、検診)を行っている。本研究の目的は2500g未満の低出生体重児(LBW)と出生時正常体重児との間で検診での異常に差があるか検討することである。	斜頸、四肢運動、股関節、膝部、手指・趾、足部、その他の項目に関する異常の有無	8,000例	大学・大学病院
第4158号	急性期脳血栓回収療法施行時の救急外来における多職種の時短縮にむけての取り組み	2018年10月11日	2019年3月31日	看護部 【東横病院】 大森 早紀	脳梗塞 2016年4月1日～ 2018年3月31日	脳梗塞の治療は、発症から再開通までの時間がその患者の予後や生活の質に影響を及ぼすと言われている。そのため、発症からいかに短時間で治療を行うかが重要となってくる。当院では、年間約50件の緊急血栓回収術を実施しており、平成22年度より独自の「rt-PAプロトコール」を作成し、脳梗塞患者の来院から治療開始までの時間短縮に取り組んできた。血管内治療を目的とした救急搬送患者に早期診断・治療をするために、救急外来での滞在時間10分を目指して、多職種と定期的な症例検討会を開催し、各職種の改善策を検討し実施した事で、滞在時間の短縮が達成できたので、その成果を報告する。	救急外来来院時間から初療室退出までの時間	48例	東横病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4164号	腹膜透析導入時の術式による術後早期合併症の発症頻度に関する多施設共同研究	2018年10月10日	2019年9月30日	腎臓・高血圧内科 【多摩病院】 金城 永幸	末期腎不全 2009年4月1日～ 2018年9月30日	腹膜透析導入時の術式には段階的腹膜透析導入法(SMAP法)と従来法がある。それぞれの術式における術後早期合併症の発症頻度を比較した研究は散見されるもののいまだ一定の見解は得られていない。またこれまでの研究では症例数が少なく、単施設での検討が報告されている。そこで今回我々は多施設における両術式での術後早期合併症の発症頻度を明らかにすることを目的とし、本研究を立案した。	年齢、性別、原疾患、導入時eGFR、糖尿病の有無、腹部手術歴、カテーテルの種類、腹膜透析中止を要するカテーテル機能異常、カテーテル出口部・トンネル感染、腹膜炎、腸管穿孔、大量出血、透析液漏れ、腹膜透析導入における入院期間、入院に掛かる費用、SMAP法の埋没期間	200例	大学・大学病院、西部病院、多摩病院
第4165号	MRIを用いた足根骨癒合症の距骨下関節周囲の環境についての検討	2018年10月2日	2019年12月31日	整形外科 軽辺 朋子	足根骨癒合症、腓骨筋癒合性扁平足 2008年9月1日～ 2018年1月31日	Accessory anterolateral talar facet(AALTF)は距骨下外側突起の前方で踵骨との接合面をもち、足部外側のimpingementの原因になります。足根骨癒合症にAALTFを伴う症例も存在し、腓骨筋癒合性扁平足(PSFF)を合併する症例では、癒合部切除のみではPSFFが残存することもある。癒合部切除前の距骨下関節周囲の環境を評価することは大きな意義があるため、足根骨癒合症と診断しMRIを施行した症例においてAALTFの有無と距骨下関節周囲の評価を有う。	手術時年齢、性別、疾患足、癒合部、圧痛部位、可動域、Talar beakの有無、合併症、術前MRIでのAALTF、骨髄浮腫の有無、術後合併症の有無、後療法	18例	大学・大学病院
第4169号	非外傷性小腸穿孔8例の検討	2018年10月5日	2019年3月31日	消化器病センター 【東横病院】 浜辺 太郎	非外傷性小腸穿孔 2012年1月1日～ 2017年12月31日	非外傷性小腸穿孔は消化管穿孔の中で比較的稀な病態である。原因は多岐にわたり、症状は非特異的で、術前診断に難渋することがある。そのため治療が遅れ、不良な経過を辿ることがある。今回、当院における非外傷性小腸穿孔の手術症例を検討し、その臨床的特徴と治療の妥当性を検討することを目的とした。	患者背景(年齢、性別、病名など)、手術成績、術後経過(手術時間、出血量、合併症、術後在院日数など)	8例	東横病院
第4178号	外科手術を受ける呼吸機能低下患者に対する術後肺合併症危険因子の検討	2018年10月10日	2019年8月31日	麻酔学 小幡 由美	閉塞性換気障害・混合性換気障害・拘束性換気障害 2008年9月1日～ 2018年8月31日	術前呼吸機能低下患者は、術後肺合併症の危険性が高く、特に全身麻酔による筋弛緩薬の使用や人工呼吸による影響が大きいとされている。重度呼吸機能低下患者に対しては、全身麻酔を回避する術式・麻酔方法を選択しているが、術前の呼吸機能検査の結果によって、全身麻酔が可能であるかの判断については明確な基準はない。今回、過去10年間の外科手術を受けた呼吸機能低下患者において、患者背景、術式・麻酔方法、術後肺合併症を後ろ向きに検討し、術前の呼吸機能検査結果によって全身麻酔可否の判断が可能であるか検討する。また、術後肺合併症の危険因子についても検討する。	呼吸機能検査(%WC、肺活量、1秒量、1秒率)、既往歴、喫煙歴、年齢、採血結果、SpO2値、手術因子として術式(開腹、腹腔鏡)、手術時間、麻酔時間、麻酔方法、術後肺合併症について	100例	大学・大学病院
第4181号	膝関節半月板断裂に対する疫学・治療成績	2018年10月10日	2021年3月31日	整形外科 植原 健二	半月板断裂 2008年1月1日～ 2018年8月31日	膝関節の構成組織である半月板は、膝関節の荷重分散および安定性に重要な組織であり、半月板の損傷あるいは切除により関節軟骨にかかる負担は増大し、変形性膝関節症に至ることが示されている。本研究の目的は、膝関節半月板断裂患者について、受傷要因、治療成績、および長期予後を後ろ向きに検討することである。	年齢、性別、BMI、症状出現時期、受傷機転の有無、受傷前後の活動度(Tegner activity scale)、主要理学所見(圧痛点、関節可動域、McMurray test、Thessaly test)の陽性率、単純X線像上から下肢アライメントのパラメーター測定、変形性膝関節症の進行度所見、MRIおよび関節鏡手術所見から半月板断裂部位、断裂形態、サイズ、軟骨損傷の部位と程度、各種調査項目とアウトカムとの比較について、客観的評価(Lysholm score)、患者主観評価(膝外傷と変形性関節症評価点数(KOOS)日本語版および国際膝記録委員会(IKDC)2000年版)を用いる	150例	大学・大学病院
第4197号	失神発症前の生体情報の変化に関する検討	2018年11月21日	2020年3月31日	内科学(循環器内科) 【東横病院】 古川 俊之	失神 2013年4月1日～ 2018年10月5日	失神患者には多くの場合心拍数、脈拍、血圧を中心とした生体情報の変化が出現する。その変化を自覚症状として認識できる患者も存在するが、まったく自覚症状がなく、突然に意識をなくす患者が散見される。生体情報より失神の発生が予測可能であれば、転倒による外傷や交通事故を防ぐことが可能である。本研究の目的は自動的に失神の発症を予測するアプリケーション等の製作における前段階として、一般診療により得られた心電図等の生体情報を解析し、自動的に失神の予測が可能かどうかを検討する。	年齢、性別等の臨床的特徴、血圧、心電図、体動情報および発症した失神の種類	500例	大学・大学病院、東横病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4204号	潰瘍性大腸炎における上部消化器病変の検討	2018年11月7日	2019年12月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 加藤 正樹	潰瘍性大腸炎 2009年7月1日～ 2018年6月30日	潰瘍性大腸炎(UC)は主に大腸粘膜に潰瘍やびらんができる原因不明の非特異的炎症性疾患であるが、日常診療において上部消化管病変を合併する症例に遭遇することがある。UCの上部消化管病変に対して5ASA製剤の粉碎が効果的であったという報告等が散見されるが、上部消化管病変を合併したUCを詳細に検討した報告は少ない。よって、上部消化管病変を合併したUCに対する治療や背景を検討する。	患者背景、疾患活動度、内視鏡所見、各薬剤(抗TNF- α 抗体製剤、ステロイド、免疫調節薬、5ASA)の効果、有害事象、転帰等	16例	大学・大学病院
第4206号	補助循環用ポンプカテーテルに関するレジストリ事業; Japanese registry for Percutaneous Ventricular Assist Device(J-PVAD)	2018年11月27日	2022年12月31日	内科学 (循環器内科) 明石 嘉浩		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4206.pdf			大学・大学病院
第4209号	心臓弁膜症の診療・予後調査のレジストリ研究	2019年2月12日	2033年4月30日	循環器内科学 出雲 昌樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4209.pdf			大学・大学病院
第4212号	当施設における頸動脈ステント留置術試行例の長期転帰の観察研究	2018年11月22日	2019年12月31日	内科学(神経内科) 【東横病院】 臼杵 乃理子	内頸動脈頸動脈狭窄症 2008年6月1日～ 2018年6月30日	頸動脈狭窄症に対するステント留置術は、2007年9月保険収載後、頸動脈内膜剥離術に代わる低侵襲な治療として普及してきた。この治療は、脳梗塞発症予防が目的であり、長期成績が明らかにされることは非常に重要である。当院脳卒中センター開設後に実施した頸動脈ステント留置術後の長期予後を明らかにすることを目的とする。	患者背景(年齢、性別、基礎疾患の有無等)、頸動脈狭窄による症候の有無、狭窄率、症候の発生から治療までの期間、周術期抗血栓療法の有無とその種類、使用ステントの種類、遠位塞栓予防デバイスの有無とその種類、周術期合併症、遅発性再狭窄の有無、周術期以降の心血管イベント、追跡可能期間内における最終転帰(mRS)、死因(死亡された場合)、再治療の有無、観察された日時・各イベント発生日時・治療日時について	300例	東横病院
第4219号	ナトリウム異常症の頻度について	2018年12月17日	2020年12月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 【多摩病院】 角 浩史	ナトリウム異常症 2015年1月1日～ 2017年12月31日	血清ナトリウム異常症は頻度が最も多い電解質異常である。救急外来におけるその頻度についての報告はほとんどない。救急外来を受診した患者において、血清ナトリウム値の測定されている患者につき、その血清ナトリウム値、腎機能、年齢などを抽出し、その腎機能・年齢等々の関係を明らかにする。	年齢、性別、腎機能、血清ナトリウム値	1,500例	多摩病院
第4224号	心臓サルコイドーシスにおける多施設後向きレジストリ研究	2018年12月17日	2025年3月31日	薬理学 木田 圭亮		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4224.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4227号	本邦における婦人科悪性腫瘍合併妊娠の調査	2018年12月21日	2024年3月31日	産婦人科学 三浦 彩子	妊娠中に子宮頸癌もしくは卵巣癌と診断された方 2012年1月1日～ 2017年12月31日	本邦における子宮頸癌ならびに卵巣癌合併妊娠の発生頻度・治療方法・その予後を調査し、悪性腫瘍とその治療が妊娠・分娩・産褥にどのように影響したかを明らかにする。さらに、新生児の予後についても検討を加える。	母(診断時の年齢、生年月日、妊娠分娩歴、診断名、臨床進行期、組織診断、診断日時、診断時妊娠週数、診断方法、妊娠中の合併症、妊娠中の手術、手術日、手術時の妊娠週数、手術術式、妊娠中の化学療法・放射線療法、レジメン・コース数または総線量、治療開始時の妊娠週数、治療終了時の妊娠週数、待機療法の有無、分娩日、分娩週数、分娩方法、分娩時の腫瘍切除の有無、分娩後の追加治療、再発の有無、再発日、最終治療日、最終生存確認日、最終確認時の状況) 児(出生週数、出生年月日、出生時体重、性別、新生児合併症、NICU入室の有無、最終確認日、最終確認時の状況)	5例 (全体300例)	大学・大学病院
第4228号	高ナトリウム血症の治療の現状と予後について	2018年12月26日	2020年3月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 【多摩病院】 角 浩史	高ナトリウム血症 2015年1月1日～ 2018年6月30日	高ナトリウム血症は頻度の高い電解質異常であり、その死亡率も高いことが知られている。未治療で経過をみられることも多く、また治療の現状や予後の報告も多くはない。本研究の目的は、高ナトリウム血症の治療の現状や予後やその危険因子等を明らかにすることである。	年齢、性別、BMI、喫煙歴、入院時血清ナトリウム、カリウム、eGFR、収縮期血圧、拡張期血圧、利尿薬の有無、死亡率、治療法等	70例	多摩病院
第4236号	当院における上腕骨近位端骨折手術症例の検討	2018年12月12日	2019年12月1日	整形外科 【西部病院】 武居 功	上腕骨近位端骨折 2015年10月1日～ 2018年9月30日	上腕骨近位端骨折は日常診療で多く遭遇する外傷で、手術例も多い。高齢化に伴ってその中でも対応の難しい粗鬆骨や粉碎骨折症例の増加が今後予想される。そこに反転型人工肩関節という従来にはなかった手術方法が日本にも導入されたが、侵襲の大きな手術であり、適応を慎重に検討する必要がある。そこで、これまで当院で行ってきた手術症例を再検討し、術後成績が良好であった症例と問題のあった症例を明確にし、従来型の手術方法が最適か、新手術の適応があるか否かを検討することが必要で、それが今回の調査の目的である。	年齢、性別、受傷機転、術後疼痛、術後可動域、術後筋力、術後日常生活動作状況(日本整形外科学会肩関節疾患治療成績判定基準項目:結髪、結帯、口に手が届く、患肢を下に寝る、上着のサイドポケットのものを取る・反対側の腋窩に手が届く、引き戸の開閉、頭上の棚に手が届く、用便始末、上着を着る、の可否)	30例	大学・大学病院、西部病院
第4244号	腹腔動脈合併尾側膵切除術における長期・短期成績に関する多施設共同後ろ向き研究	2018年12月13日	2018年12月31日	外科学 (消化器・一般外科) 大坪 毅人		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4244.pdf			大学・大学病院
第4247号	抜去した自己拡張型胆管金属ステントを用いたステント洗浄細胞診(SEMS washing cytology)の診断能の評価	2018年12月17日	2020年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 中原 一有	遠位胆管狭窄に対する自己拡張型胆管金属ステント抜去例 2017年1月1日～ 2018年11月30日	胆管狭窄に対する病理診断は、一般にEndoscopic retrograde cholangiopancreatography(RCP)による胆汁細胞診や胆管生検が行われるが、それらの感度は必ずしも高いとは言えず、さらなる診断能の向上が望まれている。悪性遠位胆管狭窄に対する胆管ドレナージには、被覆型自己拡張胆管金属ステント(covered self-expandable metalstent:CSEMS)が広く使用され、CSEMSはステント閉塞などの際には抜去が可能である。抜去したCSEMSは一般にはそのまま廃棄されるが、病変と密着していたステント外表面には病変の細胞成分が付着し、ステント洗浄液の細胞診にて病理診断が得られることを時に経験する(SEMS washing cytology)。SEMS washing cytologyは、胆管狭窄に対する病理診断能向上の一助となる可能性があり、今回われわれは、当院のSEMS washing cytology施行例をretrospectivelyに調査し、その診断能について評価する。	患者背景(年齢/性別/原疾患/等)、抜去ステント(種類/留置期間/抜去理由/抜去方法/等)、SEMS washing cytology の成績(検体採取率/感度/特異度/正診率/等)、その他に施行した病理学的検査法および成績	15例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4258号	脳血管障害患者における予後予測ノモグラムの作成	2019年1月7日	2026年3月31日	リハビリテーション部 【東横病院】 八木 麻衣子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4258.pdf			東横病院、多摩病院
第4260号	診断群分類の精緻化とそれを用いた医療評価の方法論開発に関する研究	2022年11月12日	2026年3月31日	麻酔学 佐藤 暢夫		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4260.pdf			大学・大学病院、西部病院
第4261号	人工知能の利活用を見据えた超音波デジタル画像のデータベース構築	2019年1月21日	2028年9月18日	医療情報処理応用研究 小林 泰之	乳腺腫瘍 2009年12月1日～ 2018年10月31日	超音波検査は広範囲の臓器をカバーし、非侵襲的かつ簡便である。そのため、全国で広く普及しており、大量のデータが、効率的に取得可能である。本研究の目的は、超音波領域での人工知能(AI)開発を促進するため、乳腺腫瘍の超音波画像データベース構築することである。腫瘍の超音波画像を画像検査所見、及び採血データとセットでデータベース化する。データベースは乳腺腫瘍診断を支援するAIの開発に利用される。	他のモダリティ、血液生化学的検査、病理検査等により診断が確定した症例の超音波画像(乳腺腫瘍の画像)	1,000例 (全体10,000例)	大学・大学病院
第4270号	がん診療における緩和ケア希望者の臨床的特徴の解析	2019年1月9日	2020年3月31日	神経精神科学 榎野 宣久	血液疾患およびAIDS 2016年4月1日～ 2018年3月31日	がんなどと診断された時から緩和ケアを導入することがWHOや、本邦のがん対策基本法でも求められている。にも関わらず十分な緩和ケアが提供されていないこともまだ多く、終末期になってからの緩和ケアチームへの依頼も日常的に経験している。そのような状況を改善するためにどのような症状で患者が緩和ケアを必要と考えるか調査し、適切な時期に緩和ケアを提案できる指標を明らかにしたい。	年齢、性別、各質問項目の回答結果	2,386例	大学・大学病院
第4287号	膵頭十二指腸切除術における肉体年齢スコア(Physical aging score)および筋肉量と術後経過の関係に関する研究	2019年1月21日	2019年12月30日	外科学 (消化器・一般外科) 小林 慎二郎	膵頭十二指腸切除術施行症例 2011年4月1日～ 2018年12月30日	膵頭十二指腸切除術(PD)は侵襲の大きな術式で合併症の発生も多く、術後早期回復できない症例が少なくない。これまで術後合併症や入院長期化のリスクを予測するためのスコアリングシステム(Physical aging score; PA score)を考案し報告したが、PA scoreの臨床的意義の評価および骨格筋指数と術後経過の関係について後方視的に検討する。	術後合併症がなかった症例、CDII以上の合併症発生症例、入院期間が14日以内の症例。年齢、ASA-PS、術前プレアルブミン値、PA score別の術後経過、骨格筋指数	187例	大学・大学病院
第4288号	Resectable膵頭部癌に対するSMA周囲("Para-SMA")リンパ節郭清の意義	2019年1月24日	2019年12月30日	外科学 (消化器・一般外科) 小林 慎二郎	膵頭部癌 2005年4月1日～ 2017年10月30日	Pancreatic head cancer(PHC)に対する膵頭十二指腸切除(PD)において、拡大郭清を行っても生存期間が延長しないことはこれまでいくつものrandomized controlled trial(RCT)で証明されている。しかし、これらのRCTでは、拡大郭清群と比較されている"standard lymphadenectomy"群は膵頭部と肝外胆管に付着する程度のリンパ節を郭清しているだけであることが多い。一方、日本では#5,#6,#8,#12,#14のリンパ節を膵頭部癌の"2群リンパ節"として、2群リンパ節まで郭清するPDを標準術式と考えている外科医が多く、当院でも2011年から2群郭清を徹底している。そこで今回PHCに対しSMA周囲のリンパ郭清を行うことに意義があるかを検討する。	再発率、生存期間	88例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4289号	東横病院における上部消化管内視鏡下治療の全身麻酔の検討	2019年1月28日	2019年11月30日	麻酔科 【東横病院】 関 一平	全身麻酔下の内視鏡胃粘膜下層剥離術、食道粘膜下層剥離術など上部消化管内視鏡下の治療 2015年6月1日～ 2018年12月31日	近年、上部消化管内視鏡による治療は、低侵襲で回復が早く、合併症を持つ患者や高齢者にも適応があることから当院では症例が増加しており、その全身麻酔下で行われた症例の全身麻酔、術中管理、合併症を検討する。	年齢、性別、身長、体重、術前合併症、術前検査値（心エコー、呼吸機能検査）、麻酔法、麻酔時間、手術時間、バイタルサイン（血圧、心拍数、体温、経皮的酸素飽和度、呼気終末二酸化炭素分圧）、術中体位	94例	東横病院
第4295号	上部消化管内視鏡における検査時間と胃腫瘍性病変の発見率についての検討	2019年1月29日	2019年12月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 佐藤 義典	当院にてスクリーニング目的に上部消化管内視鏡を施行した症例 2017年1月1日～ 2017年12月31日	上部消化管内視鏡(Esophagogastroduodenoscopies,EGD)は胃がんの早期発見、早期治療に重要な役割を果たしている。しかしながら癌の見逃しという問題があり、上部消化管内視鏡における精度管理は重要なテーマである。大腸内視鏡における過去の報告では、観察時間が6分以上の内視鏡医は、6分未満の内視鏡医と比較して、大腸腺腫の発見率が有意に高いと報告されている。しかしながらEGDの検査時間と胃腫瘍性病変の発見率に関する報告は少なく、長い検査時間が病変発見率を向上させるかは未だ明らかではない。本検討では、EGDの検査時間が胃腫瘍性病変の発見に与える影響について検討することを目的とした。	上部消化管内視鏡検査時間、病理組織検査結果	1,100例	大学・大学病院
第4299号	経動脈的カテーテル塞栓術症例に対する後方視的研究	2019年2月4日	2021年3月31日	放射線医学 細井 康太郎	突発性後腹膜出血 2008年4月1日～ 2018年3月31日	当院における緊急経動脈的カテーテル塞栓術を施行した患者の中では、外傷等の誘因無く、出血を来す場合も多く存在する。その中で、本研究では後腹膜出血に対し塞栓術を施行した症例に対し、どういった患者背景にあるものが出血を来しやすく、塞栓術を要したのかについて関連する因子を検討する。関連因子が判明すればそれについて臨床医等へ啓蒙する。	年齢、性別、背景疾患、内服歴、出血部位、血液検査データ、放射線画像および所見	16例	大学・大学病院
第4310号	乳腺専門クリニックにおけるリンパ浮腫看護相談外来の受診動機と最新の状況把握	2019年2月13日	2020年6月30日	プレスト&イメージング 先端医療センター 開発 めぐみ	下記期間にリンパ浮腫看護相談外来を受けた乳がん患者 2011年4月1日～ 2018年12月31日	乳癌患者は手術や放射線治療、化学療法やホルモン治療などによりリンパ浮腫を発症するリスクがある。リンパ浮腫状態になることで、QOLが低下する恐れがある。そのため、セルフケアで予防や悪化を防止することが必要である。リンパ浮腫セラピストの資格を持つ看護師が2011年4月からリンパ浮腫看護相談を開設し、専門的に指導を行ってきた。今回、リンパ浮腫看護相談に訪れた患者の受診動機と受診後の再診状況を把握し、リンパ浮腫看護相談への患者のニーズを知り、今後のリンパ浮腫看護相談の役割を検討する。	受診・再診動機、患者の情報（治療内容、受診までの期間、BMI、利き手、仕事内容）、実施した看護の内容	197例	プレスト
第4311号	日本心血管インターベンション治療学会内登録データを用いた統合的解析(2017-2019年度 日本医療研究開発機構事業「冠動脈疾患に係る医療の適正化を目指した研究」の内容を包括)	2019年2月26日	2027年3月30日	内科学 (循環器内科) 田邊 康宏		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4311.pdf			大学・大学病院
第4312号	日本心血管インターベンション治療学会内登録データを用いた統合的解析(レジストリー研究)	2019年4月17日	2027年3月30日	内科学 (循環器内科) 田邊 康宏		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4312.pdf			大学・大学病院、 東横病院、西部病院、 多摩病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4333号 急性期脳梗塞患者における急性期血行再建術前後での画像所見についての検討	2019年2月26日	2020年3月31日	内科学(神経内科) 【東横病院】 高石 智	脳梗塞 2010年4月1日～ 2019年2月13日	現在急性期脳梗塞において、画像上広範な脳梗塞所見が得られた症例に対する急性期血行再建術の施行は推奨されていない。一方、実臨床においては来院時に広範な梗塞像を示す症例であっても、良好な転機をたどる症例を認め、治療後に画像上の異常信号域の縮小を認める症例も経験する。本研究では急性期血行再建術施行前後の画像所見を比較し、その変化および、臨床症候との関連を観察、評価を行うことを目的とする。	来院時に撮影した頭部MRI、CT、CT perfusion像および血行再建術を施行した後の頭部MRI、CT、CT perfusion画像検査結果、異常信号域の分布、体積、血流に関する各種パラメーターなど	200例	東横病院
第4336号 消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース(Japan Endoscopy Database;JED)事業への登録	2019年3月25日	2026年12月31日	内視鏡センター 安田 宏		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4336.pdf			大学・大学病院、 東横病院、西部病院、 多摩病院
第4344号 慢性腎臓病教育入院がCKDstageG5患者の透析導入までの期間に与える影響	2019年3月11日	2020年3月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 韓 蔚	当院で透析(血液透析/腹膜透析)を導入した患者 2011年1月1日～ 2018年9月30日	これまでに我々は慢性腎臓病(CKD)教育入院が軽度から中度症の腎機能障害患者において腎機能障害の進行を抑制する効果を報告した。(Machida S. Clin Exp Nephrol 2018)。しかし、重度の腎機能障害患者(2年以内に透析に導入された患者)はこの研究対象から除外していた。そこで、今回我々はCKDstageG5に至る前のCKD教育入院が重度の腎機能障害患者の透析導入までの期間の延長に影響を与えるかどうかを調べる研究を立案した。	患者背景(年齢、性別、透析開始時のeGFR)、透析導入時の血液検査値(ヘモグロビン値(Hb)、クレアチニン値(Cr)、尿素窒素値(BUN)、カリウム値(K)、補正カルシウム値(cCa)、リン値(P)、アルブミン値(Alb)など	500例	大学・大学病院
第4357号 20mm以上の大腸腫瘍に対する Tip-in Endoscopic Mucosal Resection (EMR) の有用性について	2019年3月18日	2021年12月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 佐藤 義典	20mm以上の大腸腫瘍に対して、Tip-in EMR、EMRを施行した症例 2010年1月1日～ 2019年1月31日	大腸ポリープに対する内視鏡的粘膜切除術(EMR)は、大腸がんによる死亡を減少させる効果があることが分かっており、世界に広く普及している。しかしながら20mm以上の大腸ポリープに対しては、通常のEMRでは分割切除のリスクが高く、その後の遺残再発リスクが高くなることが分かっている。そのため、20mm以上の大腸腫瘍に対しては、内視鏡的粘膜下層剥離術が保険治療として承認されている。Tip-in EMRはスネア先端で病変口側へプレカットをおいてからスネアをかけて切除する、通常EMRを修正した方法であり、サイズの大きい病変に対してもEMRよりも高い一括切除率を得られることが報告されている。治療時間も短く、入院期間も通常EMRと変わらないこと、費用も通常EMRと変わらないことがメリットとなる。しかしながら現在までにTip-in EMRの有用性についての報告は少ない。今回は当院における、20mm以上の大腸腫瘍に対するTip-in EMRと通常EMRの治療成績について、後ろ向きに比較検討することを目的とする。	一括切除率、治療時間、偶発症発生率、遺残再発率	130例	大学・大学病院
第4360号 縦隔リンパ節腫脹に対するテクスチャ解析の有用性の検討	2019年4月8日	2021年3月31日	内科学(呼吸器内科) 井上 健男	縦隔リンパ節腫脹 2012年1月1日～ 2019年2月28日	テクスチャ解析は対象画像の測定範囲内において、ヒストグラムでは同一に見える画像でもピクセル毎に濃淡を数値化することで一様性や方向性、コントラスト変化などの不均一性を評価することが可能となる。それにより、質的評価を行う近年注目されている画像診断手法である。評価画像はCT、MRIなど様々な画像ツールで評価されており、過去の報告では乳腺領域において良悪鑑別の有用性が報告されている。テクスチャ解析はLIFEというフリーソフトを用いて行う。縦隔リンパ節腫脹の原因は、悪性疾患のほかサルコイドーシスなどの良性疾患があるが、これらの疾患をCT画像のみで画像的に鑑別することは困難である。そこで、縦隔リンパ節腫脹患者に対して一般診療で撮影するCT画像を用いたテクスチャ解析を行うことで、良悪の鑑別や癌種の特定ができるかを検討することにした。	解析値、組織学的評価	300例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4364号	甲状腺機能亢進を伴う急性心不全の多施設後向き観察研究	2019年4月1日	2023年12月31日	薬理学 木田 圭亮	甲状腺機能亢進症を伴う急性心不全症例 2010年4月1日～ 2017年3月31日	甲状腺機能亢進症による甲状腺クリーゼの死亡率は10%といわれている。甲状腺クリーゼは甲状腺機能亢進症が重症化した病態をさし、心不全、不整脈、高体温などを伴い致死的なこともある。特に心不全を呈する割合が高く、急性心不全で循環器内科を受診し、加療を受けることが多い、その割合や治療・経過などの特徴は明らかではない。そこで本研究では、多施設における心不全入院の甲状腺機能亢進症を伴う急性心不全症例を一括して登録し、その臨床的特徴・転帰などを評価し検討することを目的とする。	基本項目（年齢、性別ほか）、臨床所見・検査所見（心電図など）、治療内容（内服薬など）	50例 (全体:300例)	大学・大学病院、西部病院
第4367号	抗血栓薬を服用している頭部外傷症例の疫学研究	2019年6月1日	2022年3月31日	脳神経外科学 大塩 恒太郎		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4367.pdf			大学病院
第4382号	ERCP関連手技後や手術困難症例に発症した急性胆嚢炎への対応	2019年4月8日	2019年12月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 森田 亮	ERCP関連手技後や手術困難症例に発症した急性胆嚢炎 2011年1月1日～ 2019年3月19日	近年、総胆嚢結石や硬化性胆管炎などの良性疾患から膵臓癌、胆管癌をはじめとした悪性疾患まで多くの症例で、内視鏡的逆行性胆膵管造影(ERCP)が行われている。一方、ERCPの偶発症の一つとして急性胆嚢炎が挙げられる。急性胆嚢炎の治療法は軽症から中等症例に対しては早期手術、重症例や手術困難症例に対しては胆嚢ドレナージが推奨されている。胆嚢摘出術が困難な急性胆嚢炎に遭遇する機会が増えている。そのような症例の治療方として、経皮経肝胆嚢ドレナージ(PTGBD)、経皮経肝胆嚢吸引穿刺法(PTGBA)、内視鏡的経鼻胆嚢ドレナージ(ENGBD)、内視鏡的胆嚢ステント留置術(EGBS)などが挙げられる。しかし、現在のガイドラインでは、ドレナージ方法の優劣については記載されていない。そこでERCP関連手技後や手術困難症例に発症した急性胆嚢炎の治療法についてretrospectiveに調査し、ドレナージ負担やその他の治療方法と治療成績を検証することを目的とする。	患者背景（年齢、性別、PS、原疾患、胆嚢炎重症度、抗血栓薬内服歴、ERCPの既往、金属ステント留置の有無とステントの種類、血液検査実施(WBC、CRP、T-Bil、D-bil、AST、ALT、γ-GTP、ALP、LDH、AMY))、治療内容(手術、ドレナージ(PTGBD、PTGBA、ENGBD、EGBS、EUS-GBD)、保存的治療)、処置成功率/処置時間、胆嚢炎改善率、偶発症(偶発症率とその内訳、偶発症重症度)、入院期間、経過と予後	500例	大学・大学病院
第4402号	憩室出血におけるIVR・外科治療のタイミングとそのリスク因子について	2019年4月26日	2021年12月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 中本 悠輔	大腸憩室出血で入院加療を要した症例 2004年1月1日～ 2018年12月31日	大腸憩室出血は、憩室内の露出血管の破綻により、無痛性の出血をきたす疾患である。一般的には大腸憩室出血症例の7割程度で自然止血が得られると言われているが、時に多量の出血を伴い、出血性ショックを契機とした重篤な病態をきたす場合がある。大腸憩室出血に対して来院後24時間以内に緊急下部消化管内視鏡を施行することで、出血源の同定率を向上させ、同時に内視鏡的止血処置を行うことが可能となる。また、再出血率を優位に低下させることも報告されている。当院では大腸憩室出血症例に対して、来院後24時間以内に全例で緊急下部消化管内視鏡を施行し、できるだけ早期に内視鏡的止血処置を行う方針としている。しかし、中には出血コントロールがつかず、IVRや外科手術を要する症例も存在する。今回、大腸憩室出血に対してIVR、または外科手術を要した症例についてそのタイミングと、IVR・外科手術に移行した症例に対するリスク因子について検討する。	腹部CT所見、内視鏡所見、IVR・外科治療を要したタイミングとそのリスク因子	500例	大学・大学病院
第4411号	当院救命救急センターにおける耐性菌“持ち込み”症例の評価および当該施設の感染管理に関する観察研究	2019年7月10日	2024年3月31日	救命救急センター 【西部病院】 齋藤 浩輝		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4411.pdf			大学・大学病院、西部病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4413号	院内発症の脳梗塞に対する院内脳卒中对応チームの有効性に関する観察研究	2019年5月13日	2023年4月30日	内科学(脳神経内科) 伊佐早 健司	脳卒中以外で入院加療中に院内で発症した脳卒中患者 2012年1月1日～ 2021年3月11日	脳卒中の多くを占める脳梗塞へ治療として、血栓を溶解するtPA静注療法や血栓回収療法があるが、発症早期に治療を開始する必要がある時間的制約がある。市中での発症脳卒中においてはバイパス搬送システムや病院前評価スケールで迅速な対応が実現されるようになりつつある一方で、入院中患者では原疾患により発見が遅れる事が多く、市中発症脳卒中和院内発症脳卒中の比較では発症から画像診断までの時間が長かったとされる。院内発症脳卒中对応チーム(inhospital Stroke Action Team : iSAT)を結成し、疑わしい事例があれば脳卒中専門医へ連絡する「stroke alert」システムを作成した。この研究の目的はstroke alertが院内発症脳卒中患者の診断、治療までの時間短縮をできたかを検証する。	年齢、性別、入院原疾患、入院診療科、発症日時、既往歴(糖尿病、高血圧症、脂質異常症、脳卒中既往、心房細動の有無)、喫煙歴、飲酒歴、血液検査所見(BNP、PT、PT-INR、APTT)、内服歴(抗血栓療法の有無及び内容)、時間経過(発見時期、最終未発症時間、脳神経内科依頼の時間、画像診断までの時間)、治療内容(tPA静注療法・血栓回収療法の有無)、機能予後(退院時mRS、発症時NIHSS)	300例	大学・大学病院
第4417号	HAM患者レジストリ「HAMネット」を活用した病態解明および治療法・予防法の開発に関する研究【RADDAR-J 01】	2019年11月8日	2222年2月22日	内科学(脳神経内科) 山野 嘉久		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4417.pdf			大学・大学病院
第4418号	たこつぼ症候群における民族間での後ろ向き予後比較試験(国際レジストリー研究)	2019年6月10日	2024年4月30日	内科学 (循環器内科) 明石 嘉浩		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4418.pdf			大学・大学病院、西部病院
第4426号	アジア人の非小細胞肺癌における個別化医療の確立を目指した、遺伝子スクリーニングとモニタリングのための多施設共同前向き観察研究: LC-SCRUM-Asia	2019年6月13日	2041年3月31日	内科学(呼吸器内科) 古屋 直樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4426.pdf			大学・大学病院
第4432号	IT技術を用いたインシデントレポート分析	2019年6月17日	2022年3月31日	外科学 (消化器・一般外科) 医療安全管理室 瀬上 航平	聖マリアンナ医科大学病院で提出されたインシデントレポート 2010年4月1日～ 2020年3月31日	院内で発生したインシデントレポートを、NEC社のIT・AI技術を用いてインシデントの発生要因、経口を分析し、それをもとに対策をたてる。重大インシデント発生削減を目的とする。	当院で発生したインシデントレポート(インシデント内容、影響度、報告者、発生場所、職種経験年数、配属年数)	80,000例	大学・大学病院
第4438号	小児心臓カテーテル検査後再挿管症例の検討	2019年6月14日	2021年3月31日	麻酔学 小幡 由美	先天性心疾患 2010年4月1日～ 2009年5月20日	小児先天性心疾患患者に対しては、前進麻酔下に心臓カテーテル検査が施行されているが、術前から肺高血圧があり呼吸予備能も低いハイリスク小児の抜管判断は難しく、既往のない小児と比較し再挿管症例が多い。今回、心臓カテーテル検査後に再挿管となった症例を後ろ向きに調査し、患者背景と術中因子から抜管の判断基準と再挿管の予測因子について検討する。	出生時体重、出生週数、Apgar score、術前採血結果、心エコー結果、年齢、診断名、バイタルサイン、麻酔記録から術中の循環動態、麻酔薬、輸液量、出血量、尿量、麻酔効果、手術時間、手術記録からカテーテル検査結果、造影剤使用量	100例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4465号	電子カルテデータを用いた、がん薬物療法と腎障害に関する診療実態調査と関連因子および予後に関する研究	2019年7月17日	2026年3月31日	腎臓・高血圧内科学 柴垣 有吾		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4465.pdf			大学・大学病院
第4468号	新生児壊死性腸炎および限局性消化管穿孔の当科における外科的治療成績	2019年7月19日	2020年8月1日	外科学(小児外科) 【西部病院】 田中 邦英	新生児壊死性腸炎、消化管穿孔(限局性消化管穿孔) 1999年1月1日～ 2018年12月31日	未熟児に発症する壊死性腸炎(NEC)の死亡率は高く、本邦の治療成績は30%を超えている。消化管穿孔を伴うNECの外科的治療法について、限局性消化管穿孔(FIP)も含め種々の報告がなされ、腹腔ドレーンの留置と開腹手術の比較が過去2回にわたりRCTの報告がされたが有意差は得られず、現在でも治療方法は議論されている。等か2施設におけるNECおよびFIPについて、治療成績を明らかにし今後の課題を考察する。	性別、在胎週数、出生体重、Apgar score 併存疾患、発症時日齢、身体所見、画像所見、free airの有無、外科的治療法の種類および予後	30例	大学・大学病院、西部病院
第4471号	心房細動患者における洞調律化前後での左房直接圧測定を用いた、左房機能の比較検討	2019年7月12日	2023年4月1日	内科学 (循環器内科) 【西部病院】 松田 央郎	心房細動 2017年4月1日～ 2023年4月1日	心房細動患者は絶対的不整脈での血行動態になることで、血栓塞栓症や不全発症のリスクが上昇することが知られている。しかし、心房細動患者における電気的除細動や経カテーテル的心筋焼灼術の洞調律化の血行動態的变化の有効性は未だ不明である。そこで、日常診療で得られたデータを用い非薬物的洞調律化での左房機能の血行動態的变化を比較し、その効果を検討する。	左房内の経カテーテル圧測定、心臓超音波検査、血液検査データ	50例	大学・大学病院、西部病院
第4480号	低頻度反復神経刺激試験でwaningを認めた症例の検討	2019年7月19日	2022年3月31日	脳神経内科 柳澤 俊之	初回のACレジメンによる化学療法を受けた乳がん患者 2012年1月1日～ 2018年12月31日	化学療法誘発性の悪心・嘔吐(以下、CINV)は、患者のQOLを著しく低下させる。中でも、アントラサイクリン系+シクロホスファミド(AC)レジメンは、高度催吐性化学療法(HEC)に分類され、HECへの予防的制吐療法は、オランザピン(OLZ)+NK ₁ 受容体拮抗薬(NK ₁ -RA)+5-HT ₃ 拮抗薬+デキサメタゾン(Dex)による4剤併用療法が推奨されている。この4剤併用療法に含まれるDexは、制吐作用の機序が明確に解明されておらず、様々な副作用が懸念されている。そこで、HECで加療されている患者を対象として、NK ₁ -RA+パロノセトロン+Dexによる3剤併用療法のDexを軽減できるかを、本院が主管となり検討した。その結果、ACレジメンにおいてはday2-3のDexを省くことが可能であることを報告している。それを受けて当院では、ACレジメンに対する予防的制吐療法を上記のDexを減量した4剤併用療法に統一した。OLZ5mgを含む4剤併用療法における2日目以降のDexを省いた場合の有効性・安全性についての報告はないため、今回の研究では、2日目以降のDex投与軽減を伴う4剤併用療法の有効性・安全性を後方視的に検討することを目的とする。	・患者背景(年齢、性別、身長、体重、Performane Status(PS)、がん種、レジメン名、併用薬、併存疾患、検査値)、OLZ投与の有無、Dexの投与量・日数、副作用(悪心、嘔吐、食欲不振、倦怠感、傾眠、Grade3以上の非血液毒性)、制吐剤の使用状況(頓用の制吐剤の使用有無)、OLZの継続有無、中止理由。	200例	大学・大学病院
第4483号	頸動脈ステント留置術における遠位バルーン閉塞下吸引返血法の有用性	2019年8月23日	2021年3月31日	内科学(脳神経内科) 【東横病院】 徳山 承明	頸動脈狭窄症 2008年6月1日～ 2018年12月31日	頸動脈ステント留置術(CAS)の最も重要な合併症である塞栓性脳梗塞の発症率は、遠位塞栓予防デバイス(EPD)の使用により低減されるが、どのタイプのEPDを使用するかを含め、具体的な方法の優劣については一定の見解が無い。当院では遠位バルーン閉塞下に吸引血を返血することでCAS術中の閉塞性合併症の低減につとめており、これまでの治療成績について後ろ向きに検討する。	術後貧血、術後低血圧の頻度、MRI虚血病巣の特徴(大きさ、個数)	300例	東横病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4491号	脳卒中症例の屋内歩行自立に関連する因子の検討— 注意障害の有無による急性期病院退院時機能評価の検討—	2019年7月31日	2021年3月31日	リハビリテーション部 【東横病院】 長田 敏輝	2016年4月1日～ 2019年3月31日 脳卒中センターに入院し 各種内科的治療、血管 内治療および外科的治 療など、脳卒中急性期治 療を適宜行い、リハビリ テーション指示のあった 症例 除外基準:入院前ADL非 自立症例(入院前 modified Rankin Scale3 以上)	近年の脳卒中リハビリテーションでは、医療機関の機能分化により、急性期病院では在院日数の短縮が求められ、理学療法士にはリハビリテーション開始とともに自宅退院の可否などを早期より予測し、方針決定のための多職種への速やかな情報提供が求められる。脳卒中患者の歩行自立は、患者の自宅退院の可否の判定において重要な指標である。認知機能障害の背景には注意障害があり、注意障害は発症早期の脳卒中患者のおよそ46～92%と高頻度で出現することが報告されている。したがって、注意障害の有無も急性期の歩行自立に関連する因子として考慮すべきであると考えられる。そこで、本研究は、急性期病院における脳卒中患者の退院時歩行自立に注意障害が影響するか検討することを目的とした。	年齢、性別、体重、入院前mRS、既往歴(脳血管障害、2回以上の脳血管障害、認知症、高血圧、脂質異常、耐糖能異常、心房細動、虚血性心疾患、心不全)の有無。疾患項目:病型分類(NINDS分類)、急性期病変部位(皮質、放線冠、内包、被殻、視床、脳幹、小脳)、急性期病変の左右半球、急性期病変以外の部位、治療内容(t-PA静注療法、血管内治療、外科的治療の有無)、入院時・退院時NIHSS。入院中経過項目:在院日数、リハビリテーション開始までの日数、リハビリ室入室までの日数、車椅子座位獲得までの日数、合併症(呼吸器感染症・尿路感染症・心不全急性増悪)の有無。身体機能項目(リハビリ室初回来室時、退院時):意識障害、運動麻痺、非麻痺側筋力、握力、運動失調の有無、感覚障害(表在感覚、深部感覚)の有無、認知障害、高次脳機能障害の有無、体幹項目、注意障害の有無。	600例	東横病院
第4500号	臓器提供情報例の現場負担についての観察研究	2019年8月7日	2023年12月31日	脳神経外科 【東横病院】 小野 元	移植医療支援室に情報のあった臓器提供症例を対象 2016年1月1日～ 2019年7月10日	臓器移植法の法改正後の脳死下臓器提供が増加している。また臓器提供自体は、救急医療現場の終末期における一つの選択肢と認識される。本法人でもこれまでに臓器提供症例を数回経験しており、現場対応においては大学移植医療支援室に情報が集められ対応している。臓器提供においては患者家族へのケアをはじめ、虐待の有無、脳死判定など提供に至るまでに様々な対応が必要となる。そのため、医療現場にははたして臓器提供に係る多くの負担項目を抽出し、負担軽減策立て実行することを目的として臓器提供情報例から現場負担項目を心療録から抽出し検討する。	原因疾患、(診断名)、年齢、性別、神経所見、蘇生不能状況の身体所見、バイタル所見、退院時の状況および頭部CT、頭部MRI、頭部レントゲン写真	150例	大学・大学病院
第4517号	意識障害患者の機能予後に関する研究	2019年9月4日	2023年3月31日	リハビリテーション部 【西部病院】 佐々木 祥太郎	入院意識障害患者 2008年4月1日～ 2019年8月1日	近年、ICU患者の蘇生率向上と共に蘇生後脳症や敗血症性脳症は増加しており、意識障害を呈した対象者のリハビリテーションの機会が増えている。意識障害患者は、協力動作が得られにくいことから客観的評価が行いづらく、正確な予後予測がしばしば困難となる。本研究は意識障害患者を対象に脳波や脳画像を用いた発症早期の予後予測を明らかにすることを目的とする。	医学的情報(年齢、性別、診断名、APACHE II)、筋力(MRC、握力)、認知機能(CAM-ICU、MMSE)、ADL(FIM)、脳波、脳画像(MRI、CT)、機能的分類(CPC、OPC)	300例	西部病院
第4522号	治癒切除不能な固形悪性腫瘍における血液循環腫瘍DNAのがん関連遺伝子異常及び腸内細菌叢のプロファイリング・モニタリングの多施設共同研究(SCRUM-Japan MONSTAR-SCREEN)	2019年9月4日	2025年3月31日	臨床腫瘍学 砂川 優		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4522.pdf			大学・大学病院
第4524号	当院におけるベルソムラ®錠使用状況の把握と効果・有害事象の評価	2019年9月4日	2020年3月31日	薬剤部 【多摩病院】 室山 祐理子	対象期間に6西病棟整形外科で14日以上入院した65歳以上の患者(抜釘術、上肢骨折、ミエログラフィー、神経根ブロックの短期パスを除く) 2018年11月1日～ 2019年4月30日	手術やベンゾジアゼピン系薬剤の使用はせん妄を引き起こす因子のひとつといわれ、せん妄は入院期間の延長やQOLの低下につながる。近年、メラトニン受容体作動薬であるロゼレム®錠やオレキシン受容体拮抗薬であるベルソムラ®錠によるせん妄予防効果に関するランダム比較試験が報告された。当院では2019年2月にベルソムラ®錠が院内採用となった。ベルソムラ®錠採用前後の使用状況と睡眠状況、有害事象を調査する。	性別、年齢、入退院日、入院日数、原疾患、手術日、手術術式、既往歴、処方歴、入院時指示、精神科や認知症サポートチームへの依頼の有無、睡眠状況、有害事象(傾眠、鎮静等)、Mouse Faii Scale	100例	多摩病院
第4559号	当科における胆嚢摘出手術症例に関する臨床的特徴並びに治療成績の検討	2019年10月11日	2022年9月30日	外科学 (消化器・一般外科) 片山 真史	胆嚢摘出手術症例 2000年1月1日～ 2019年9月30日	胆嚢摘出手術症例の特に手術、術後合併症、栄養、感染の現状を把握するため、診断、治療、予後について調査を行う。	年齢、性別、既往歴、家族歴、血液検査(血算:赤血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット、MCV、MCH、MCHC、白血球、血小板、凝固:PT、PT-INR、APTT、生化学検査:総蛋白、アルブミン、プレアルブミン、AST、ALT、クレアチニン、尿素窒素、CRP、プロカルシトニン、プレセプシン等)、画像診断(CT、MRI、PET-CT等)、術式、出血量、合併症、転帰、病理検査結果、予後	3,000例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4560号 腹腔鏡下胆嚢摘出術後の 臍部癒痕ヘルニアの現状と リスク因子の検討	2019年10月11日	2022年9月30日	外科学 (消化器・一般外科) 片山 真史	胆嚢摘出術症例 2000年1月1日～ 2019年9月30日	腹腔鏡下胆嚢摘出術(LC)後の腹壁癒痕ヘルニアは比較的 稀な合併症であり、その頻度はLC例の1-4%以下とされてい る。しかし、無症状の為に見逃されている症例もあり、その 実態の把握は正確とは言えない。また、最近普及しつつある Roduced Port Surgery(RPS)における臍部切開創は従来 のMulti-Port laparoscopic surgery(MPS)と比較し長く、不顕 性の腹壁癒痕ヘルニア併発症例は増加していると推察され る。LC後の臍部ポート癒痕ヘルニアの実態を調査し、そ のリスク因子を明らかにすることを目的とする。	年齢、性別、既往歴、家族歴、血液検査(血算:赤血球、ヘモ グロビン、ヘマトクリット、MCV、MCH、MCHC、白血球、血 小板、凝固:PT、PT-INR、APTT、生化学検査:総蛋白、アル ブミン、、プレアルブミン、AST、ALT、クレアチニン、尿素窒 素、CRP、プロカルシトニン、プレセブシン)、画像診断(CT、 MRI、PET-CT)、術式、出血量、合併症、転帰、病理検査結 果	1,200例	大学・大学病院
第4561号 当院における下部進行直腸 癌に対する予防的側方郭 清の治療成績	2019年10月11日	2021年3月31日	外科学 (消化器・一般外科) 浜辺 太郎	直腸癌 2015年1月1日～ 2019年8月31日	本邦ではJCOG0212の結果より、下部進行直腸癌に対する 側方郭清は標準治療とされている。しかし、側方リンパ節転 移陽性例の予後は良好とは言えず、集学的治療の必要性も 考慮される。当院における下部進行直腸癌に対する予防的 側方郭清の治療成績を後方視的に検証し、その有用性と 安全性、予後などについて検討する。	年齢、性別、術前診断、術前治療の有無、術式、カバーリ ングスタマの有無、合併切除臓器の有無、側方郭清の部 位、手術時間、出血量、術後在院日数、合併症の有無、腫 瘍径、組織型、深達度、リンパ節転移、術後補助化学療法 の有無、再発の有無、観察期間、予後	16例	大学・大学病院
第4563号 総胆管結石に対する内視 鏡的治療成績の検討	2019年10月11日	2020年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 森田 亮	ERCP関連手技を施行し た総胆管結石症例 2011年4月1日～ 2019年8月31日	胆管結石は高率に急性胆管炎を合併し、急性胆管炎は急 速に重症化し致命的となり得るため、早急な胆管ドレナ ージや胆管結石除去などの治療介入が必要となる。胆管ド レナージや胆管結石除去は、近年では低侵襲な内視鏡的逆 行性胆管膵管造影(ERCP)関連手技による内視鏡治療が 第一選択となっているが、急性胆管炎合併胆管結石に対 する緊急ERCPにおいては、胆管ドレナージのみにとどめる べきか、一次的結石除去も安全に施行可能であるかは明 らかではない。また、胆管炎非合併例と同等の安全性を もって施行可能かも明らかではない。一次的結石除去が安 全に施行可能であれば、入院期間の短縮やコスト削減が 期待出来る。そこで、当院にて施行した急性胆管炎合併胆 管結石に対する緊急ERCPをretrospectiveに調査し、一期 的結石除去や胆管ドレナージ後待機的結石除去などの治 療法別の治療成績を検証する。また、急性胆管炎非合併 例に対する非緊急ERCPとの治療成績の比較を行い、緊急 ERCPの安全性を検証する。	1.患者背景(年齢、性別、PS、胆管炎重症度、抗血栓薬内 服歴、結石数、結石径、乳頭処置既往、傍乳頭憩室有無、 血液検査値(WBC,CRP,T-bil,D-bil,AST,ALT,γ- GTP,ALP,LDH,AMY))、2.ERCP処置内容(処置時間、胆管挿 管法、乳頭処置(EST/EPBD/EPLBD/pre-cut/無し/etc)、 結石除去法(バスケット/バルーン/EML)、胆管ドレナージ法 (ENBD/EBD/PTBD))、3.初回ERCP結石除去率、4.急性胆 管炎例における緊急ERCP後の胆管炎改善率、5.総ERCP 施行回数、6.最終完全結石除去率・結石遺残率、7.急性胆 管炎例における最終胆管炎改善率、8.偶発症(偶発症率、 内訳(膵炎/出血/穿孔/胆道炎/ステントトラブル(自己抜去 /迷入/逸脱)/誤嚥性肺炎/バイタル変動/etc)、偶発症重 症度)、9.入院期間	1,000例	大学・大学病院
第4566号 進展型小細胞肺癌患者に 対する初回治療カルボプラ チン/エトポシド/アテゾリズ マブ併用療法の実地診療に おける有効性、安全性を検 討する多施設前向き観察研 究(APOLLO trial)	2019年10月28日	2024年9月30日	内科学(呼吸器内科) 古屋 直樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4566.pdf			大学・大学病院
第4569号 レボドパ/カルビドパ配合経 腸用液療法におけるPEG-J 関連合併症とチューブ交換 時期についての検討	2019年10月15日	2021年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 加藤 正樹	パーキンソン病 2016年9月30日～ 2019年6月30日	進行期パーキンソン病患者は、レボドパの治療域が狭く、 胃排出遅延もあるため、経口内服で血漿中レボドパ濃度を 治療域に保つのは困難である。2016年9月より進行期パー キンソン病患者に対する新たなドラッグデリバリーシステム であるレボドパ/カルビドパ配合経腸用液療法が本邦でも 施行可能となった。レボドパ/カルビドパ配合経腸用液療法 とは、胃瘻を造設し、空腸に留置したPEG-Jチューブより持 続的にレボドパ/カルビドパ配合経腸用液を投与する治療 法である。これにより、安定した血漿中レボドパ濃度を維持 することが可能となった。レボドパ/カルビドパ配合経腸用 液療法は、進行期パーキンソン病患者の症状改善に有用 である一方で、デバイス関連の合併症が多いことも報告され ている。また、この治療法は、定期的なチューブ交換が 必要であるが、チューブ交換の時期に関する明確な基準が 未だにないことも、問題の一つである。当院では2017年1月よ りレボドパ/カルビドパ配合経腸用液療法を開始し、症例を 蓄積してきた。今回、チューブ交換の時期とデバイス関連 合併症の頻度と時期の検討を行い、適切なチューブ交換の 時期を明らかにすることを目的とし、本研究を行うこととし た。	年齢・性別・身長・体重・病期期間・NJチューブ/PEG- Jチューブ留置方法・PEG造設方法・NJチューブ/PEG-J チューブ留置位置・手技成功率・手技時間・術後PEG- Jチューブ留置位置確認の有無と時期・術後抜糸時 期・術後在院日数・術後followup期間・チューブ交換時 期・チューブ交換理由とデバイス関連合併症の頻度・ 発生時期、合併症に対する処置	6例 (全体120例)	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4570号	潰瘍性大腸炎に対するベド リズマブの治療成績の検討	2019年10月16日	2021年12月13日	内科学 (消化器・肝臓内科) 加藤 正樹	潰瘍性大腸炎 2018年12月1日～ 2019年9月20日	潰瘍性大腸炎(UC)は主に大腸粘膜に潰瘍やびらんを形成する原因不明のびまん性非特異的炎症性疾患である。2018年に中等症から重症の活動期のUCに対して、腸管選択的に作用するヒト化 $\alpha 4\beta 7$ インテグリンモノクローナル抗体であるベドリズマブ(VDZ)が保険承認された。VDZは既存のUC治療薬と異なる作用機序を有することから、既存治療薬抵抗例への治療効果が期待されている。当院におけるVDZを導入したUC症例の治療成績や患者背景を検討する。	患者背景、疾患活動度、内視鏡所見、治療歴(ステロイド、抗TNF- α 抗体製剤、タクロリムス、免疫調節薬、5ASAの使用歴)、有害事象、転帰	10例	大学・大学病院
第4576号	当院における子宮頸部初期 病変に対するレーザー治療 の成績	2019年11月5日	2021年12月31日	産婦人科学 【西部病院】 竹内 淳	CIN2およびCIN3(子宮頸 部中等度異形成～上皮 内癌) 2005年6月1日～ 2019年9月30日	子宮頸部円錐切除は近年、子宮頸部初期病変の増加や患者の若年化に伴って必要性が高まっており、妊孕性温存や再発例にレーザー蒸散術の有用性も示唆されている。当院で使用したKTPレーザー(KTP群)と高出力半導体レーザー(半導体群)の治療成績を比較し、半導体群の有用性を検討する。	年齢、術前術後診断、HPV感染、出血量、断端、狭窄、術後出血、再発、検体の長さ、手術時間	230例	西部病院
第4581号	『日本ネフローゼ症候群/バ イオマーカー研究(J- MARINE study:Japan bioMARKers In NEphrotic syndrome study)』	2022年7月27日	2027年12月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 市川 大介		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4581.pdf			大学・大学病院
第4584号	急性膵炎後の被包化壊死 (Walled-off Necrosis)に対 する治療戦略	2019年11月1日	2024年9月30日	内科学 (消化器・肝臓内科) 路川 陽介	急性膵炎 2012年1月1日～ 2019年9月30日	急性膵炎の死亡率は近年低下傾向しているものの重症例では10.1%と報告されている。その予後決定因子の一つである壊死性膵炎は10-20%に発生する。膵局所合併症である壊死を伴う膵周囲液体貯留はWalled-off necrosis(WON)とよばれ、膵内および膵周囲の壊死物質に感染が起こると敗血症、多臓器不全などにより死亡率が約50%まで達するといわれている。WONなどの膵局所合併症については、国際コンセンサスが2013年に改訂されたが、壊死を伴わない膵仮性嚢胞(PPC)と比べるとWONは治療戦略に一定の見解が得られていないのが現状である。本研究では急性膵炎後のWONに対する治療の妥当性を検討する。	患者背景、膵炎予後因子、CT所見、重症度と膵局所合併症の発生率、薬物治療のみでの消失率、ドレナージ施行率、死亡率、再発率	450例	大学・大学病院
第4587号	大腸腫瘍に対する内視鏡 治療後出血の検討	2019年11月14日	2020年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 【西部病院】 小澤 俊一郎	大腸内視鏡治療症例 2016年2月1日～ 2019年3月31日	大腸ポリープに対する内視鏡的切除術は、大腸がんによる死亡を減少させる効果があることが分かっており、世界に広く普及している。一方で高齢化社会において脳梗塞や心筋梗塞、心房細動などに対し抗血栓薬を服用する症例は増加しているため治療後出血や抗血栓薬の休薬による血栓症発症に対するリスクマネジメントとして日本消化器内視鏡学会より2012年に「抗血栓薬服用者に対する内視鏡治療診療ガイドライン」、2017年には「同追補版」が発刊され抗血栓薬服用患者に対する内視鏡治療が増加している。同ガイドラインには抗血栓薬の周術期管理についての記載はあるが、多様化する抗血栓薬のそれぞれの出血リスクについての記載はなく、術後管理についてのマネジメントとしては情報が不十分である。今回我々は当院で施行した大腸内視鏡治療患者における後出血のリスクや特徴を明確にするために検討を行う。	性別、年齢、治療方法、抗血栓薬服用の有無、抗血栓薬の種類、切除検体数、担癌の有無	1,281例	西部病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4590号 ミトコンドリア病関連腎疾患の全国調査	2019年11月8日	2022年3月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 市川 大介	ミトコンドリア病 2009年1月1日～ 2018年12月31日	過去、わが国におけるミトコンドリア病に関連した腎疾患の全国調査は行われたことがなく、その実態は把握されていない。今回の調査により、日本におけるミトコンドリア病関連腎疾患の実態の把握を行い、診療ガイドラインへの反映等により、診療の質の向上へ貢献する。	性別・出生年・出生体重・出生週数・蛋白尿の有無(発症年齢)・血尿の有無(発症年齢)・腎機能低下の有無(発症年齢)・尿細管機能異常の有無(発症年齢)・腎生検施行年・腎生検時もしくは診断時の西暦、年齢、身長、体重・腎生検時の血清クレアチニン値、尿蛋白量、尿沈渣赤血球数、乳酸、ビルビン酸・腎生検病理診断名・腎生検電子顕微鏡所見情報・尿細管における顆粒状腫大上皮細胞(granular swollen epithelial cells:GSECs)の有無・Fanconi症候群の有無・糖尿病の有無(発症年齢)・精神発達状態・ミトコンドリア病合併症の有無・ミトコンドリア病、糖尿病、腎臓病の家族歴の有無・ミトコンドリア関連酵素診断情報・遺伝子診断結果	4例	大学・大学病院
網羅的なゲノム解析による日本人男性のルーツの解明	2019年12月17日	2024年9月30日	徳島大学大学院 医歯薬学研究部 佐藤 陽一		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/286328.pdf			
第4610号 「HTLV-1陽性臓器移植レジストリ」を活用した臓器移植におけるHTLV-1感染のリスクの解明に関する研究(RADDAR-J 03)	2020年4月27日	期間の設定なし	内科学(神経内科) 山野 嘉久		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4610.pdf			大学・大学病院
第4620号 Stage II、III、IV胃癌の腫大したリンパ節のOSNA法併用による予後予測因子の検討	2019年12月20日	2021年3月31日	消化器病センター 【東横病院】 佐々木 貴浩	胃癌症例 2018年2月1日～ 2019年12月1日	One Step Nucleic acid Amplification(OSNA)法は、CK19mRNAをマーカーとし、検体の可溶化から遺伝子増幅までをOneStepで行う、リンパ節転移検査法の1種である。現在、乳癌、大腸癌、胃癌、非小細胞肺癌で保険適用されており、大腸癌では通常の病理検査と比較してより正確な転移判定が可能で、stage II 大腸癌の17.6%がOSNA法の併用でstage IIIへup stageすると報告もされている。保険収載はされているが、胃癌におけるOSNA法の意義については報告が少なく、今回、当院で施行された手術について、切除されたリンパ節で、HE染色およびOSNA法での病理検査を施行し、up stageの有無を検索するとともに、予後予測因子としての意義を検討する。	年齢、性別、腫瘍の一、深達度、胃癌のstage、HE染色およびOSNA法のリンパ節転移の有無	50例	東横病院
第4624号 不安定プラークを伴う頸動脈狭窄症に対するダブルステントの有用性	2019年12月23日	2022年12月31日	内科学(脳神経内科) 【東横病院】 臼杵 乃理子	内頸動脈頸動脈狭窄症 2008年6月1日～ 2018年5月31日	頸動脈狭窄症に対するステント留置術(以下,CAS)は、2007年9月保険収載後、頸動脈内膜剥離術に代わる低侵襲な治療として普及してきた。多量の不安定プラークにおいて遠位塞栓合併のリスクが高い。当施設では、多量の不安定プラークを伴う頸動脈狭窄症に対するCASにおいて、open cell stentとclosed cell stentの2枚を重ねるdouble stenting法を用いている。今回、double stenting法によるCASにおける塞栓性合併症の予防効果および中長期予後を明らかにすることを目的とした。	収集する情報、患者背景因子(年齢、性別、基礎疾患の有無等)、頸動脈狭窄による症候の有無、狭窄率、症候の発生から治療までの期間、周術期抗血栓療法の有無とその種類、使用ステントの種類と数、遠位塞栓予防デバイスの有無とその種類、周術期合併症(すべての脳卒中、過灌流症候群、心筋梗塞、死亡)、ステント内血栓症・プラーク逸脱、再狭窄の有無、周術期以降の同側脳梗塞、再治療の有無、追跡可能期間内における最終転帰、死因(死亡の場合)	100例	東横病院
第4627号 慢性活動性EBウイルス感染症患者におけるQOL(生活の質)実態調査	2020年1月14日	2023年12月31日	内科学 (血液・腫瘍内科) 新井 文子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4627.pdf			大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4629号 逆漏斗型中枢ネックを有する腹部大動脈瘤に対するAFXステントグラフトシステムの有用性を検討する多施設後ろ向き観察研究	2020年1月14日	2025年3月31日	放射線医学 小川 普久		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4629.pdf			大学・大学病院
第4652号 3次元手術プランニングソフトでCTデータから再構築された3次元モデルによる人工膝関節置換術の術前・術後の評価	2020年1月21日	2020年12月31日	整形外科 【多摩病院】 大沼 弘幸	変形性膝関節症、関節リウマチによる膝障害にて人工膝関節置換術を受けた症例 2015年4月1日～ 2019年9月30日	人工膝関節置換術(TKA)のコンポーネントの設置精度向上はTKA術後成績向上に重要である。設置精度を高めるためには手術プランニングが重要である。3次元モデルは2次元画像より詳細な手術プランニングが可能である。また、より精度の高い術後評価も可能であることから、より精度の高い、理想的なコンポーネントの設置につながる可能性がある。研究の目的はCTデータと3次元手術プランニングソフトで手術プランニングを施行したTKA症例の術前・術後を同ソフトで再構築された3次元モデルで評価し、検討することである。このソフトを用いて、大腿骨・脛骨の形態学的計測、人工関節インプラントの設置位置の計測を行い評価する。	骨形態の評価、TKA術後の設置精度の評価	200例	西部病院、多摩病院
第4653号 B型肝炎ウイルス陽性者の長期予後解析(通常診療により得られる診療情報を用いた後ろ向き観察研究; 多施設共同研究)	2020年1月30日	2025年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 渡邊 綱正		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4653.pdf			大学・大学病院、 西部病院、多摩病院
第4657号 易感染性宿主に対する人工膝関節置換術の抗菌薬含有骨セメントの使用経験健常者の人工膝関節置換術感染率に抑えることができるか	2020年2月4日	2020年12月31日	整形外科 【多摩病院】 大沼 弘幸	変形壊死膝関節症、関節リウマチによる膝障害にて初回人工関節置換術を受けた症例 2016年2月1日～ 2019年9月30日	人工膝関節置換術(TKA)の手術部位感染(SSI)は1%程度発生し、糖尿病合併例やステロイド剤を使用している関節リウマチ患者のSSI発生率は有意に高いとされている。しかし、近年SSIの予防のための抗菌薬静脈内予防投与期間が徐々に短くなっている。予防投与終了後に菌ブランクが起きると、SSIの発症リスクとなりえる。易感染性宿主におけるTKAのSSI発生率を、易感染性宿主でない健康人のSSI発生率と同等にすることが重要であり、易感染性宿主TKAのSSIの発生率を下げるためにTKAのインプラント固定の際に、ヨーロッパでは抗菌薬入りセメントを初回手術で使用するの一般的なとなっている抗菌薬含有セメントが用いられた易感染性宿主TKAのSSI発生率を健康人TKAのSSIの発生率と比較することである。	術後1年間のSSIと人工関節のゆるみの発生率、白血球数(WBC)、CRP値	90例	西部病院、多摩病院
第4659号 慢性腎臓病患者におけるCT画像の大腰筋面積と腎予後の関連性について	2020年1月20日	2020年12月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 小波津 香織	慢性腎臓病教育入院において慢性腎臓病に関連する採血項目・画像検査を施行された慢性腎臓病患者 2011年1月1日～ 2019年4月30日	高齢化が進む現在、慢性腎臓病患者でも例外ではなく、平均年齢の高齢化がみられている。サルコペニアやフレイルの合併も増え、慢性腎臓病においてはそのステージが進むにつれて、その割合が増えることが報告されている。筋肉量はサルコペニアの指標に含まれ、評価方法としてこれまで上腕周囲長、生体電気インピーダンス法、二重エネルギーX線吸収法などが用いられてきたが、CTにおける大腰筋面積値の測定も注目されている。がん患者においてはCTにおける大腰筋面積値と悪液質の進展との関連性が示されており、客観性や正確性で高い有用性が報告されている。慢性腎不全患者においては、これまで筋力と腎予後を検討した報告はあるが、筋肉量との関連は報告されていない。そこで今回我々は、保存期の慢性腎臓病患者において、CTの大腰筋面積値を測定し、身体機能、および腎予後との関連性、そこに関わる因子を抽出し、横断的に観察する事を目的とする。	患者背景(年齢・性別・原疾患・糖尿病の有無、CKDstage・身体機能、ADL、Charlson依存疾患指数)、血液検査所見(eGFR、BMI、Hb、Alb、BUN、Cr、iP、iPTLL、CRP)	413例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4665号	透析患者における泌尿器科 癌症例の検討	2020年1月28日	2025年12月31日	腎泌尿器外科学 丸井 祐二	維持透析中に罹患した 泌尿器科癌患者 1989年1月1日～ 2019年12月31日	維持透析中に発症した泌尿器科癌症例について、適正な治療方法を検討することを目的とする。現在においても、維持透析患者はその余命の短さと、腎機能喪失により薬剤クリアランスの著明な減少、および心血管合併症の頻度が高いことから、施設によっては、侵襲のある手術や抗癌剤を含む積極的薬剤使用が躊躇される傾向がある、しかし、長期透析患者では約10倍の発症率と言われる腎癌など、泌尿器科癌の発症は逆に増加傾向にある。当院では、腎臓内科、麻酔科、循環器科を含む多数の科の協力が得られ、透析室、集中治療室を含む病棟における透析患者管理の習熟から、積極的な泌尿器科癌診療を行ってきた。そこで我々の経験を後方視的に集計し、透析歴を有しない泌尿器科癌診療と比較し、どのような違いがあるか、どのような工夫が必要かを検討することは、今後の透析患者の泌尿器科がん診療に大きく貢献すると考えられる。	発症時の年齢、透析歴、診断に至る経過、病期、病理組織、治療、治療の副作用と効果、合併症、予後	300例	大学・大学病院
第4672号	思春期・若年がん患者等を 対象とした日本がん・生殖 医療登録システムによる治 療成績解析	2020年2月28日	2026年3月31日	産婦人科学 鈴木 直		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4672.pdf			大学・大学病院
第4674号	術後再建腸管症例に対す るショートタイプシングルバ ルーン内視鏡 (Short-SBE) を用いたERCP関連手技の 後ろ向き多施設共同研究	2020年2月10日	2021年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 中原 一有	術後再建腸管症例に対 してショートシングルバ ルーン内視鏡を用いて ERCP関連手技を施行し た症例 2011年9月1日～ 2019年4月30日	術後再建腸管症例におけるERCPは、吻合部からの距離、屈曲などの特殊な解剖学的特性に加えて術後癒着のため従来の内視鏡では盲端部への挿入、乳頭や胆管・膵管空腸吻合部への到達が困難であり、さらには胆管カニューレション、その後の治療とそれぞれの場面において、十二指腸鏡を用いた通常解剖における処置よりも困難であると考えられており、治療成績は満足のいくものではなかった。そのため内視鏡治療ではなく、経皮的治療や外科的治療が選択されることも多かった。小腸疾患の診断・治療目的に開発されたバルーン内視鏡 (BE) が登場し、バルーン式内視鏡を応用したBE-assisted ERCPの有用性が報告された。シングルバルーン内視鏡を用いたERCP関連手技の有用性についても報告され、さらにはworking lengthが152cm, working channelが3.2mmのショートタイプシングルバルーン内視鏡 (short SBE) が開発され、ERCP処置時に使用できるデバイスが増え、その有用性についても報告されてきた。当院でも日常診療で行われている手技である。多施設・多数例での治療成績の報告がないため、今回short SBEを用いたERCP関連手技における有用性・安全性が証明できれば、手術などと比べ低侵襲であるこの手技がさらに確立する可能性があり、本研究を計画する。	患者背景、血液検査、尿検査、血圧、脈拍、体温呼吸状態、調査項目、有害事象、副作用、ERCP後の経過追跡、	200例 (1,000例)	大学・大学病院
第4675号	大腸内視鏡検体における腸 管スピロヘータの検討	2020年3月2日	2022年3月31日	診断病理 【多摩病院】 有泉 泰	大腸内視鏡生検および 内視鏡下で切除 (EMR、 ポリペクトミー) された材 料 2019年4月1日～ 2020年3月31日	腸管スピロヘータ症はBrachyspira属グラム陰性桿菌を原因菌とする人畜感染症でヒトに感染することが知られている。我が国ではその報告はまだ少ない。今回、川崎市立多摩病院及び聖マリアンナ医科大学病院で腸管スピロヘータの感染頻度や臨床病理学的事項を検討する。	腸管スピロヘータの有無、性別、年齢、腹部症状などの臨床症状の有無、背景の基礎疾患、内視鏡目的などの臨床病理学的事項	1,557例	大学・大学病院、多摩病院
第4683号	緩和ケアチーム対象患者に おける管理栄養士の介入に 関する研究	2020年2月28日	2024年3月31日	栄養部 柴田 みち	緩和ケアチームが介入し た患者のうち「個別栄養 食事管理加算」を算定し た患者 2018年4月1日～ 2019年3月31日	平成30年度の診療報酬改定にともない、緩和ケア加算に「個別栄養食事加算」の算定が可能となり、専任管理栄養士の配置を開始した。専任管理栄養士による介入を行った患者の情報を収集し、患者のニーズおよび管理栄養士の役割について考察することを目的とする。	年齢、性別、診療科、病名および病期分類、治療法、緩和ケアチームの依頼目的、介入回数、介入時点での栄養補給法、食種、食事調整内容、転帰	300例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4685号	片頭痛に対する半夏白朮天麻湯の効果についての検討	2020年2月17日	2021年3月31日	内科学 (脳神経内科) 秋山 久尚	片頭痛 2018年11月1日～ 2020年1月31日	半夏白朮天麻湯は医長が虚弱な、頭痛、下肢の冷え、めまいの治療に用いられるが、成人片頭痛への有効性の既報告例は皆無である。また、本邦における慢性頭痛ガイドラインでも半夏白朮天麻湯は推奨されていない。これを鑑み、本研究では、この片頭痛に対する半夏白朮天麻湯の投与例を対象に、その有効性と安全性を後方視的に検討する。	年齢、性別、頭痛診断名、共存頭痛の有無とその診断名、共存賞の有無、頭痛罹患期間、片頭痛予防薬と発作頓挫薬の使用歴、半夏白朮天麻湯の投薬開始日と終了日及び投薬量、1ヶ月あたりの頭痛日数と頭痛回数及び頭痛発作頓挫薬使用回数、半夏白朮天麻湯の副作用の有無	15例	大学・大学病院
第4687号	トルコ鞍部腫瘍における手術と予後の解析	2020年2月21日	2022年12月31日	脳神経外科学 高砂 浩史	トルコ鞍部腫瘍 2010年1月1日～ 2019年12月31日	トルコ鞍部には多彩な腫瘍が発生する。周辺や発生母地として下垂体や視床下部など内分泌中枢や視神経、眼球運動に関する神経、内頸動脈や海綿静脈洞が存在する。そのため診断や治療に苦慮することも少なくない。適切な診断と病態に合わせた適切な治療方法の選択、リスクを知ることなどが重要で、今後の同病変に対する治療に貢献する。	年齢、性別、主徴候、腫瘍サイズ、視機能検査結果、血液検査結果、内分泌検査結果、体積、画像所見、手術方法、手術モニタリング所見、病理所見、放射線治療、予後、合併症	250例	大学・大学病院
第4697号	難治てんかん治療における外科治療と予後の解析	2020年2月28日	2022年12月31日	脳神経外科学 太組 一朗	難治てんかん(薬剤抵抗性てんかん) 2017年4月1日～ 2019年12月31日	国内100万人とされるてんかん患者の30%は薬剤抵抗性である。代表的な外科治療としては、側頭葉てんかんに対する側頭葉切除(根治手術)、転倒発作を有する難治てんかんに対しては脳梁離断(緩和手術)がそれぞれ適応される。適切に診断し、病態に合わせた治療方法を選択し、リスクを知ることが重要である。本研究では治療率向上と合併症軽減にむけた要素抽出を行い、外科治療安全性向上に貢献する。	患者年齢、性別、主徴候、てんかん分類、視機能検査結果、血液検査結果、脳波検査結果、画像所見、手術方法、術中モニタリング所見、病理所見、予後、合併症	100例	大学・大学病院
第4711号	皮膚リンパ腫臨床統計調査研究	2020年4月14日	2030年12月31日	皮膚科学 宮垣 朝光		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4711.pdf			大学病院
第4714号	多施設における自動算出早期警告スコアの評価 RRSシステムでの活用	2022年2月14日	2026年12月31日	救急医学 吉田 徹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4714.pdf			大学・大学病院、西部病院、多摩病院
第4722号	婦人科がん治療後(外科的閉経を中心とした)ヘルスケアの現状	2020年3月18日	2025年12月31日	産婦人科学 澤田 紫乃		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4722.pdf			大学・大学病院
第4729号	ECMO施行患者についての全世界的症例登録調査 -Extracorporeal Life Support Organization (ELSO)-	2020年6月9日	2025年12月31日	救急医学 藤谷 茂樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4729.pdf			大学・大学病院、西部病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4733号 急性非代償性心不全の実態に関する多施設観察研究	2020年3月30日	2024年12月31日	薬理学 木田 圭亮	急性非代償性心不全にて対象期間内に入院した20歳以上の症例 2007年1月1日～ 2019年12月31日	心不全は、あらゆる心臓病の終末像であり、予後不良の症候群である。日本における死因別死亡総数の順位では、心疾患による死亡は悪性新生物(癌)に次ぎ2番目に多い。その中でも心不全による死亡は心疾患の内訳のなかで最も死亡数が多い疾患である。わが国の心不全に関する大規模登録研究では、65歳以上の高齢者の6～10%に心不全が認められ、生命予後だけでなく、慢性閉塞性肺疾患や腎機能障害を含めた多数の併存疾患を合併することから、受診率の増加・再発率の増加が報告されている。しかし、高齢者心不全患者の増加にも関わらず、その病態、治療に関するエビデンスは極めて不足しており、特に急性非代償性心不全患者の背景や病態、予後や治療方法について把握することは、今後の高齢化社会の進行に伴い、益々重要になってくると考えられる。そこで、本邦における急性心不全急性期治療と予後との関係性に関する多施設レジストリー研究として、すでに完了したREALITY-AHF(当院参照)をはじめとして、NARA-HFstudy、WET-HF、MEIDAI-HFの4つのレジストリーデータを組み合わせることで、急性非代償性心不全で入院した患者における背景や病態、心不全入院後の短期及び長期予後、治療法などについて解析・検討することを目的とした。	患者情報、血液・尿検査、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査、放射線検査・MRI検査・核医学検査、その他の評価項目(入院時、退院時の収縮期血圧、拡張期血圧、心拍数)	本学142例 (全体8,382例)	大学・大学病院
第4736号 日本人脳出血患者における適切な超急性期降圧療法の探求: SAMURAI-ICH研究とATCH2試験の個別データ統合解析 SAMURAI-ICH + ATACH-2統合解析研究	2020年4月9日	2025年3月31日	内科学 (脳神経内科) 秋山 久尚		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4736.pdf		大学・大学病院、東横病院	
第4743号 アジア系アメリカ人および他人種における肝疾患の疫学、自然経過および臨床転帰	2020年4月20日	2029年12月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 渡邊 綱正		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4743.pdf		大学病院	
第4751号 新規我が国における心臓植込み型デバイス治療の登録調査 —New Japan Cardiac Device Treatment Registry (New JCDTR)—	2020年4月23日	終了期間未定	内科学 (循環器内科) 原田 智雄		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4751.pdf		大学・大学病院、西部病院	
第4752号 サルコイドーシス診断におけるEBUS-TBNA、Elastographyの有用性に関する後方的研究	2020年4月7日	2021年6月30日	内科学 (呼吸器内科) 井上 健男	サルコイドーシスを疑う臨床・画像経過を呈する患者に対し、EBUS-TBNAおよびElastographyを施行した症例 2017年2月1日～ 2019年9月30日	EBUS-TBNAはサルコイドーシスを疑う患者の組織診断方法として広く用いられる検査手法となってきたが、実臨床では、サルコイドーシス患者に対するEBUS-TBNAで偽陰性をしばしば経験し、それらはリンパ節内の広範な線維化が原因となっている可能性がある。Elastographyは近年新たに用いられるようになった手法で、相対的な組織の弾性・歪みを測定する技法であり、呼吸器領域でも肺癌を疑う患者に対し、良悪性を予測する有効な手法としての報告が増えている。近年、サルコイドーシス症例に対してElastographyを評価して、線維化との関連について論じた症例報告が一報報告されたが、サルコイドーシスを疑う患者に対するElastographyの有用性に関するまとまった報告はない。本研究では過去に診断したサルコイドーシス症例のEBUS-TBNAとElastographyの有用性につき後方的に検討する。	患者背景、血液検査所見、画像所見、気管支鏡所見、エコー所見(B mode, Flow mode, ELST mode)、病理所見(リンパ節由来の組織面積、線維組織面積、類上皮細胞肉芽腫面積、リンパ組織面積)、細菌検査所見、有害事象、臨床経過	30例 (全体40例)	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4753号	慢性活動性EBウイルス感染症および類縁疾患における原因遺伝子の探索	2020年4月23日	2030年3月31日	血液・腫瘍内科学 新井 文子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4753.pdf			大学・大学病院
第4764号	根治的外科治療可能な結腸・直腸癌を対象としたレジストリ研究(GALAXY study)	2020年4月27日	2031年3月31日	臨床腫瘍学 砂川 優		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4764.pdf			大学・大学病院
第4766号	肝細胞がんに対するレンバチニブの有用性と生存期間に寄与する因子の多施設共同研究	2020年5月1日	2025年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 渡邊 綱正		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4766.pdf			大学・大学病院、 西部病院、多摩病院
第4767号	C型慢性肝疾患に対する抗ウイルス治療後の他臓器発癌に関する検討	2020年4月23日	2025年1月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 渡邊 綱正		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4767.pdf			大学病院
第4773号	当院にて施行した検査及び治療内視鏡受診者の背景及び病理、治療等の解析	2020年4月23日	2020年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 川島 亜貴世	当院にて検査および治療を受けた内視鏡受信者 2015年5月3日～ 2020年3月15日	当院は年間10000例程検査及び治療内視鏡を行なっている。当センターにて施行した検査及び治療内視鏡の内視鏡所見及び治療より様々な疾患に応じて患者背景、病理結果、基礎疾患、処方歴を解析することで疾患の特性、治療成績、予後経過を解析し現状と問題点を明らかにそれらの改善への方策を検討する。	年齢・性別・内視鏡診断名・処置内容	80,000例	大学・大学病院
第4774号	非静脈瘤性上部消化管出血症例において Interventional radiology・外科手術への移行を要するタイミングとそのリスク因子について	2020年4月20日	2022年12月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 佐藤 義典	非静脈瘤性上部消化管出血にて入院加療を要した症例 2008年1月1日～ 2019年12月31日	非静脈瘤性上部消化管出血は消化器救急診療において多く遭遇する疾患であり、緊急内視鏡の良い適応となる。しかしながら中には内視鏡的試験が困難であり、Interventional radiology(IVR)や外科手術への移行を要する症例も存在する。そこで、当院における非静脈瘤性上部消化管出血症例において、IVR・外科手術を要した症例についてそのタイミングとリスク因子を解析することを目的とした。	年齢、性別、基礎疾患、抗血栓薬の内容、出血源となった原因疾患、内視鏡的出血像分類(Forrest分類)	800例	大学・大学病院
第4775号	高齢者における大腸憩室出血の特徴	2020年4月20日	2021年12月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 佐藤 義典	当院へ大腸憩室出血の診断で入院した症例 2004年1月1日～ 2019年12月31日	近年本邦では高齢化に伴い、非ステロイド系消炎鎮痛剤(NSAIDs)や抗血栓薬を服用している高齢者が増加している。また、このような背景により高齢者の大腸憩室種は増加傾向にあるが、高齢者における大腸憩室出血の特徴は明らかにされていない。今回、我々は高齢者における大腸憩室出血の臨床的特徴を明らかにすることを目的とした。	基礎疾患保有率、抗血栓薬服用率、出血源同定率、早期再出血率、晩期再出血率、Interventional Radiology(IVR)もしくは外科手術の施行率、平均在院日数、入院中の転帰	600例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4787号	進展型小細胞肺癌患者に対する初回治療カルボプラチン/エトポシド/アテゾリズマブ併用療法の実地診療における有効性、安全性を検討する多施設前向き観察研究に付随するバイオマーカー研究 Exploratory biomarker study of APOLLO trial (APOLLO-Bio)	2020年5月25日	2025年9月30日	内科学 (呼吸器内科) 古屋 直樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4787.pdf			大学・大学病院
第4795号	当院における高齢者乳癌患者の乳房温存術後放射線治療の現状と放射線治療省略の指標についての検討	2020年5月11日	2025年3月31日	外科学 (乳腺・内分泌外科) 黒田 貴子	乳癌 2010年1月1日～ 2017年12月31日	放射線治療によって乳癌の再発リスクが低下することが知られており、乳房温存術(Bp)後の標準的治療とされている。近年、高齢化に伴って高齢者乳癌は増加傾向にあり、高齢者においても入院期間が短く侵襲の少ない術式としてBpが多く選択されている。しかしながら、高齢者は並存疾患が多く放射線治療による有害事象のリスクを伴う可能性が可能性がある。また、治療の為に連日の通院を要し金銭的・身体的負担が大きい可能性がある。そこで我々は、当院における高齢者乳癌患者のBp後放射線治療と予後について検討し、放射線治療省略の指標となる項目について報告する。	年齢、病期、病理学的因子、Performance Status	200例	大学・大学病院
第4799号	人工血管使用内シャントの術後経過についての検討	2020年4月28日	2024年3月31日	腎泌尿器外科 丸井 祐二	慢性腎不全 2016年10月1日～ 2020年 3月 31日	人工血管使用内シャント(以D AVG)は、自己血管使用内シャントに比し開存率が低く、合併症が多いとされる。透析患者の高齢化に伴い、AVG症例が増加しており、これらの症例の臨床成績を検証することにより、より適切な術式、管理を確立することを目的とした。	年齢、性別、原疾患、基礎疾患、透析期間、グラフトの種類、人上血管の経路、初回穿刺までの日数	50例	大学・大学病院
第4800号	データベースを用いた国内発症小児Coronavirus Disease 2019(COVID-19)症例の臨床経過に関する検討	2020年5月19日	2024年3月31日	小児科学 勝田 友博		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4800.pdf			大学病院、 西部病院、多摩病院
第4808号	COVID-19に関するレジストリ研究	2020年6月11日	2026年3月31日	救急医学 藤谷 茂樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4808.pdf			大学・大学病院、 西部病院
第4809号	日本産婦人科学会 倫理委員会登録・調査小委員会生殖に関する諸登録事業及び登録情報に基づく研究	2020年6月2日	2027年12月31日	産婦人科学 鈴木 直		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4809.pdf			大学・大学病院
第4810号	高齢発症関節リウマチの治療と有害事象の発現の関連に関する検討	2020年5月11日	2025年3月31日	内科学 (リ・膠・ア内科) 永瀨 裕子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4810.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4813号	血液循環腫瘍DNA陰性の高リスクStage II 及び低リスクStage III結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのCAPOX療法と手術単独を比較するランダム化第III相比較試験 (VEGA trial)	2020年5月25日	2031年3月31日	臨床腫瘍学 砂川 優		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4813.pdf			大学・大学病院、東横病院
第4819号	読影レポート未確認に伴うDiagnostic Error の対策	2020年6月19日	2021年3月31日	外科学 (消化器・一般外科) 瀬上 航平	CT、MRI、核医学検査で担当医から読影依頼がある症例 2010年8月1日～ 2013年3月31日	近年、CTやMRIなど放射線科医が作成した読影レポートに関する見落とし(Diagnostic Error)についての報告が相次いでいる。放射線科医の作成した読影レポートは、主治医が内容を確認したかどうかの判断が他者からしづらいため。医療安全管理者が実態を把握できず、対策が立てづらい側面がある。当院は放射線科医の作成した読影レポートの電子カルテ上に主治医確認ボタンを作成した。これにより主治医が読影レポートを読んだか否か判断できる。このシステムを運用し、医療安全管理者が確認状況を把握し、未確認の読影レポートを減少させ、重大インシデント発生削減を目的とする。	放射線読影システムに主治医確認ボタンを設置し、主治医の読影レポートの確認状況を継続的に調査する。	174000例	大学・大学病院
第4827号	膵頭十二指腸切除術後の長期的栄養について	2020年6月8日	2021年3月31日	外科学 (消化器・一般外科) 大坪 毅人	膵癌、胆管癌等の膵頭十二指腸切除術症例 2015年1月1日～ 2020年1月31日	膵頭十二指腸切除術(以下、PD)は主に膵頭十二指腸領域の悪性腫瘍に対する治療として古くから行われてきた術式であるが、膵頭部及び胆嚢、十二指腸など消化・吸収に重要な役割を担っている膵臓を切除することで術後栄養状態に大きな影響を及ぼす可能性があると考えられてきた。一方、PDの対象となる疾患は膵頭部癌や遠位胆管癌など予後不良なものが多いが、化学療法の進歩によって近年は長期生存症例も増加しつつある。PDにおける長期経過後の栄養状態を検討した報告は少ない。そこで、血液栄養指標の長期的な変動を検討し、PDが長期栄養状態に与える影響を明らかにする。	血清Hb、TP、Alb、HbA1c、C反応性蛋白、血糖、総コレステロール、総リンパ球数、プレアルブミン値の術前および術後2週間、1か月、3か月、6か月、1年、3年、5年における変化	52例	大学・大学病院
第4828号	大腸憩室出血におけるInterventional radiologyと外科手術のリスク因子について	2020年5月15日	2021年12月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 佐藤 義典	当院へ大腸憩室出血の診断で入院した症例 2004年1月1日～ 2019年12月31日	近年本邦では高齢化に伴い、大腸憩室出血が増加していることが報告されている。大腸憩室出血は70-80%の症例で一次止血が得られるが、中には止血が得られずに内視鏡的止血術を要する症例が存在する。また、内視鏡的止血術のみでは出血コントロールができず、Interventional radiology(IVR)や外科手術を要する症例も存在する。今回、大腸憩室出血に対してIVR・外科手術を要した症例について、そのリスク因子を明らかにすることを目的とした。	基礎疾患の有無、抗血栓薬服用率、来院時ショックバイタルの有無、造影CTにおける血管外漏出像陽性率、輸血投与、入院後の再出血の有無	600例	大学・大学病院
第4835号	免疫チェックポイント阻害薬に関連した肝胆道障害及び胃腸障害の臨床的特徴解析	2020年5月21日	2027年3月31日	消化器内科学 渡邊 綱正		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4835.pdf			大学・大学病院
第4839号	JROAD-DPCを使用した、劇症型心筋炎の疾患登録とその解析	2020年6月4日	2024年3月31日	准教授 石橋 祐記		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4839.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4843号 機能的副腎皮質疾患におけるステロイドホルモン過剰・腫瘍発生の病態解明	2020年6月5日	2025年3月31日	内科学 (代謝・内分泌内科) 【西部病院】 方波見 卓行		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4843.pdf			大学・大学病院、西部病院
第4848号 pStage II 大腸癌に対するOSNA法によるリンパ節微小転移診断意義の検討	2020年6月19日	2029年6月30日	消化器・一般外科 【多摩病院】 四万村 司		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4848.pdf			大学病院、多摩病院
第4851号 内視鏡的乳頭切除の後ろ向き多施設観察研究 Multicenter retrospective study in endoscopic papillectomy for duodenal ampullary tumor	2020年6月8日	2024年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 中原 一有	十二指腸乳頭部病変に対して内視鏡的乳頭切除を施行した症例 2009年4月1日～ 2019年4月1日	内視鏡的乳頭切除(Endoscopic papillectomy,EP)は、十二指腸乳頭部に発生した腫瘍に対する内視鏡的な治療法である。十二指腸乳頭部は、解剖学的特性として十二指腸筋層から連続するOddi括約筋が存在し、その内部を胆管・膵管が貫通している。Oddi括約筋周囲は血流が豊富であるため、切除に伴う出血が起こりやすい。また、胆管膵管を切除することで、胆汁および膵管が切開した粘膜下層の腫瘍底へ直接流入し、術後に穿孔や出血を来しやすい。更に胆管膵管孔は粘膜切除の焼灼の影響や浮腫あるいは血腫などで閉塞し、術後膵炎や胆管炎を来す場合もあり、EPは手技難度、偶然発症が高いとされている。これまでに国内海外において、EPの治療成績に関する多数の小規模な研究が報告されているが、手技の方法は一定ではなく、エビデンスレベルの高い報告が少ないため、治療成績や安全性など不明点が多い。また、EPについては適応症例数が少なく施行している施設も少ないことから、多施設での前向き研究やRandomized controlled trialなどを行うことが困難で、これまで明確な治療ガイドラインも存在しない。また、EP後の長期予後についても結論は出ておらず、まずは全国の多施設を対象とした後ろ向き観察研究による症例蓄積が望まれている。そこで、本研究では、本邦のハイブリウムセンターによる多施設調査を行い、EPの症例蓄積と治療方法、有効性、安全性等の解析により、EPの治療戦略を提案することを目的とする。国内施設では海外と比較して、外科手術よりも内視鏡切除が選択される傾向があり、本研究の結果多数の症例が蓄積されることが期待される。本研究により、EPに関する診療ガイドラインの策定に寄与し、今後の前向き研究への重要な知見を得ることも可能と考える。	施設背景 1. 治療方針を決める主科(内科、外科、合同チームなど) 2. 年間ERCP症例数、EUS症例数 3. 治療ストラテジー(術前EUS、ERCP、CT、MRCPの有無など) 4. 各症例の施行医師の経験レベル 臨床的事項 1. 臨床所見(患者背景、既往歴、嗜好歴、内服歴等) 2. 施行前血液検査所見 3. 術前病変所見 4. 治療内容(処置内容詳細、術後病理所見、入院期間、偶発症、予後等)	25例 全体(1000例)	大学・大学病院
第4853号 慢性腎臓病患者における膝伸展筋力と腎予後に関する後ろ向きコホート研究	2020年6月8日	2020年12月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 小波津 香織	保存期CKD教育入院において膝伸展筋力を測定した慢性腎臓病患者を対象とする。 腎予後(膝伸展筋力測定時よりeGFR30%以上の低下あるいは透析導入)を追跡できなかった患者は対象から除外する。 2011年1月1日～ 2020年4月30日	膝伸展筋力はサルコペニアの診断項目には含まれていないが、握力とともに筋力を評価する方法として確立されている。保存期慢性腎臓病(CKD)患者において握力と腎予後との関係性は明らかとなっているが、膝伸展筋力と腎予後との関係性に関する報告はない。そこで、今回我々は慢性腎臓病教育入院患者において膝伸展筋力を測定した患者を対象とし、膝伸展筋力と腎予後との関連性を明らかにするための後ろ向きコホート研究を立案した。	患者背景(年齢、性別、原疾患、糖尿病の有無、CKD stage、BMI)、血液検査所見(Crから算出されるeGFR、CysCから算出されるeGFR、Hb、Alb、BUN、Cr、Ca、iPTH、CRP)、身体機能(膝伸展筋力、握力、4m歩行速度、10m歩行速度)、バイオインピーダンスで測定した骨格筋量	300例	大学・大学病院
第4855号 アレクテニブ塩酸塩に対して抵抗性を示すALK陽性未分化大細胞リンパ腫の分子病態解析	2020年8月19日	2024年3月31日	小児科学 森 鉄也		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4855.pdf			大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4856号	閉塞性大腸癌に対しステント留置後手術を施行した症例の治療成績の解析	2020年6月30日	2023年12月31日	外科学 (消化器・一般外科) 【多摩病院】 四万村 司	閉塞性大腸癌 2012年1月1日～ 2020年3月31日	閉塞性大腸癌に対して以前は緊急手術で人工肛門を増設し腸閉塞を解除、精査施行した後に根治切除を行っていた。これでは手術が2回になり、人工肛門増設、創感染等のデメリットがあった。近年、狭窄部位に自己拡張型金属ステント(Self-expandable metallic stent:以下SEMS)を留置し腸閉塞を解除、精査施行した後に手術を行っている。これにより手術は1回で済み、手術までの一時退院も可能になった。当院においても保険収載された2012年以降に閉塞性大腸癌に対し積極的にSEMS留置し、その後手術を行っている。本研究はSEMS留置後に手術を施行した症例について留置術関連、留置後手術までの期間の事象、手術関連について検討し、現状の治療方法の妥当性を検討することを目的とする。	臨床病理学的因子(年齢、性別、占拠部位、stage等)、SEMS留置術に関する情報(種類、留置術時の合併症、効果等)、SMES留置後から手術までの状況(留置期間、合併症、栄養状態の変化等)、手術に関する因子(術式、手術時間、出血量、合併症、一時的吻合の有無、人工肛門増設の有無、術後在院日数)	150例	大学・大学病院、西部病院、多摩病院、東横病院
第4857号	アデノウイルス結膜炎における臨床症状の検討	2020年6月17日	2021年3月31日	眼科学 松澤 亜紀子	アデノウイルス迅速診断キット陽性者 2014年1月1日～ 2019年12月31日	アデノウイルス結膜炎は感染力が強く、型により重症度や臨床症状が異なる。年により流行するアデノウイルスの型が異なるため、毎年のように臨床症状が異なる。近年は、アデノウイルス54型の流行により、結膜偽膜形成や多発性上皮下浸潤などの重篤な眼合併症を生じる例が散見される。そのため、臨床経過が点眼や患者背景により影響が与えられるか検討を行う。	臨床症状及び経過や合併症の有無、使用点眼薬やコンタクトレンズ使用歴などの患者背景	200例	大学・大学病院、多摩病院
第4869号	肝細胞癌に対する全身化学療法の効果と安全性に関する後ろ向き観察研究	2020年6月29日	2027年3月31日	内科学(消化器内科) 渡邊 綱正		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4869.pdf			大学病院
第4872号	外減圧術後の人工骨による頭蓋骨形成術に対する観察研究	2020年6月24日	2023年12月31日	脳神経外科 【東横病院】 小野 元	頭部欠損症例で人工骨による頭蓋骨形成症例にかぎる 2009年6月1日～ 2020年5月31日	頭部外傷などにより頭蓋骨を外減圧された症例に対して頭蓋骨形成術を行うが、用いる人工骨は日本でもいくつかの種類があり使用されている。我々は骨新生形成を促進する材料であるハイドロキシアパタイトを用いている。しかし人工物を留置する場合皮膚障害や感染のリスクもあり慎重に実施している。今回手術後の皮膚障害・感染について臨床的特徴やその原因精査や検討を診療録から観察研究を行う。	原因疾患、頭蓋骨形成までの期間、感染有無、年齢/性別、人工骨のサイズおよび通常視診で確認する頭部CT、頭部MRI、頭部レントゲン写真	53例	東横病院
第4873号	周術期における肥満患者の合併症	2020年6月25日	2021年3月31日	麻酔科 升森 泰	肥満 2019年1月1日～ 2020年4月30日	一般的に、肥満患者は周術期合併症が多いとされている。WHO基準におけるObese class IとObese class II以上ではどの程度、致死的な手術期合併症の発症率に差があるか後方視的に検討する。	Obese class IとObese class II以上の患者	180例	多摩病院
第4876号	小児内分泌疾患患者臨床情報の全国登録システムの構築	2020年7月16日	2023年12月31日	小児科学 大串 健一郎		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4876.pdf			大学病院、西部病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4882号	<p>腹腔鏡下直腸癌切除における技術認定医手術参加の有用性に関する検討 The study investigating the Impact of Endoscopic Surgical Skill Qualification in Laparoscopic Resection for Rectal Cancer in Japan (EnSSURE study)</p>	2020年7月14日	2021年6月30日	<p>外科学 (消化器・一般外科) 【西部病院】 國場 幸均</p>	<p>直腸癌(ステージⅡ-Ⅲ)に対し腹腔鏡手術を受けた患者 2014年1月1日～ 2016年12月31日</p>	<p>腹腔鏡下大腸切除における内視鏡外科技術認定医が手術に参加することの短期及び長期の患者アウトカムに与える影響を検討することを目的とする。 結腸癌における腹腔鏡手術は、開腹術と比較して、短期成績でより優れ、長期成績で劣らず、今日では世界的に広がりを見せている。本邦に於いても、エキスパートによる腹腔鏡下結腸切除の短期長期的有用性が示されている。また、直腸癌においても、腫瘍学的あるいは長期的な安全性において結論が出ていないものの、短期成績においての優越性を示唆する報告を多く認め、本邦に於ける30%以上の直腸癌手術が腹腔鏡下に行われている。 一方、2004年に日本内視鏡外科学会により制定された内視鏡外科学会技術認定制度は、技術基準及び、後進を指導するにたる所定の基準を満たした者の技術を認定している。認定試験では、一定の外科的経験の後に取得される外科専門医取得2年後から受験資格が得られ、一定基準の経験業績と基本術式であるS状結腸切除または高位前方切除のノーカット手術動画評価による技術判定が行われる。手術動画は3本提出し、匿名下に2名または3名の審査委員によって技術の安全性が評価される。この技術認定制度はこれまで、日本の腹腔鏡下大腸切除の普及や発展に貢献してきたと考えられ、技術の伝承および質の担保に有用と考えられる。しかしながら、技術認定医による手術指導の有用性などを示した小報告を認めるものの、多施設大規模研究の報告は未だ存在せず、その文献的根拠は乏しい。また、認定取得においては、多大な労力と時間を要する事が多く、受験者の20～30%しか認定を得ない機関である。認定取得の為、同一術者に症例が集中し、結果、若手の執刀経験の機会が減少するような場合もある。そのため、技術認定制度の有用性を解明し、その位置づけを再考する事は、今後の外科および内視鏡外科の発展において非常に重要な課題と言える。これまでに、北海道大学病院消化器外科Ⅰおよび関連病院で行った先行研究では、技術認定医の手術参加は、手術時間、術中偶発症、術後合併症、再手術および、ステージⅡ大腸癌の局所再発において、成績が優れていた。また、特に難易度の高い直腸手術においてその差が大きい傾向であった。しかし、同研究は2010～2013年の症例集積であり現在と時代背景が異なる事、各ステージ術式別のサブグループでは症例が少ない事、認定医数や地域が限定された研究であることがlimitationがある。そこで、今回、年代を新しくし、対象集団を一地方に限定せず、対象認定医数を増やし、術式を絞った検討を立案した。</p>	<p>カルテ情報 年齢、性別、BMI、ASA、術前腸閉塞有無、腫瘍主座、初診時ステージ、T因子、N因子、術前治療(なし/NAC/CRT)術式、IMA高位結紮、側方郭清、脾弯曲授動、吻合方法、diverting stoma有無、合併切除、手術日、手術時間、出血量、術中合併症、開腹移行、術後全合併症、退院日、腫瘍最大径、組織型、病理学的ステージ、T因子、N因子、ly因子、v因子、R、リンパ節採取個数、術後補助療法有無内容、転機、最終確認日、再発が確認された日、初発再発形式</p> <p>認定医の手術参加情報 1、第一術者 認定医か非認定医 2、第二術者 認定医か非認定医 3、第一助手 認定医か非認定医 4、第二助手以降またはカメラ助手 認定医を含むか含まない 5、認定医の術野外指導者 ありかなし</p>	140例 (全体5000例)	東横病院、 西部病院、多摩病院
第4886号	<p>川崎市立多摩病院総合診療内科に入院となった患者の疫学調査</p>	2020年7月6日	2021年3月31日	<p>看護部 【多摩病院】 井手上龍児</p>	<p>川崎市立多摩病院総合診療内科に24時間以上入院した全ての患者 2015年4月1日～ 2020年3月1日</p>	<p>本邦での代表的な診療報酬システムである、DPC(包括的診断群分類)では、特定の診断に対する入院期間が定められている。すなわち定められた入院期間内での退院が望ましいが、高齢者診療が中心である総合診療内科において、DPCでの指定期間を超過するのか、その要因は明らかではない。 当院、総合診療内科に入院した患者の、入院期間延長の要因を明らかにする。</p>	<p>年齢・性別・診断名・入院期間・抗菌薬使用期間と有無と種類・主要な既往歴、入院時の包括指示内容・酸素使用期間と有無・集中治療室入室の有無・特殊治療の有無と期間(非侵襲的陽圧換気・侵襲的人工呼吸・腎代替療法・高流量酸素療法・気管切開)、退院時の転帰(死亡・転院・自宅・施設)、入院前の居住場所と環境(自宅・病院・施設・独居、同居者の有無など)、入院前の食事摂取状況(常食、嚥下困難症、栄養補助食品、高カロリー輸液、チューブ栄養)、血液検査データ(Alb、BUN、Cr、Na、K、Cl、血糖、WBC、Hb、Plt)、入院後の食事開始時期と開始時の食事形態、退院時の代替栄養(中心静脈栄養、胃瘻、チューブ栄養)の有無、絶食期間、点滴期間と内容、入院前の日常生活動作(ADL)と退院時のADL、介護保険制度による介護度、口腔内の状態、常用薬(ACE阻害薬など)の有無と種類</p>	500例	多摩病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4888号 慢性腎臓病患者における頸動脈プラークスコアと内臓中膜複合体肥厚度が腎予後に与える影響	2020年7月3日	2020年12月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 小波津 香織	保存期CKD教育入院において頸動脈超音波検査を施行した慢性腎臓病患者 腎予後(頸動脈超音波検査施行時よりeGFR30%以上の低下あるいは透析導入) 2011年1月1日～ 2019年4月30日	近年、頸動脈超音波検査で計測されたプラークスコア(PS)や内臓中膜複合体肥厚度(IMT)が慢性腎臓病(CKD)患者の心血管イベントの予測因子として有用であることが報告されている。しかし、PSやIMTがCKD患者の腎予後に与える影響については明らかとなっていない。そこで、今回我々は慢性腎臓病教育入院患者において頸動脈超音波検査を施行した患者を対象とし、PS、IMTと腎予後との関連性を明らかにするための後ろ向きコホート研究を立案した。	患者背景(年齢、性別、原疾患、糖尿病の有無、CKD stage、BMI)、血液検査所見(Crから算出されるeGFR、CysCから算出されるeGFR、Hb、Alb、BUN、Cr、Ca、iP、iPTH、CRP)、Charlson comorbidity index、頸動脈超音波検査により得られたPSとmax-IMT	300例	大学・大学病院
第4894号 LA検査におけるDOACsの影響回避のためのDOAC-Stop(DOACs吸着剤)の有効性の検討	2020年7月9日	2025年3月31日	臨床検査部 大谷政樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4894.pdf			大学
第4895号 10年以上経過を追えた小児期発症重症ループス腎炎の臨床像と長期予後	2020年7月9日	2022年2月13日	小児科学 吉村 博	ループス腎炎 1991年1月1日～ 2016年6月末日	小児期発症ループス腎炎(以下本疾患とする)、特に腎病理所見WHO分類IV型の重症の本疾患についての10年に達する長期予後についてはまだよくわかっていない。特に患者の直接連続観察に基づく腎機能の長期予後の報告は、本邦はもとより世界的にみても稀有である。このようなコホートにおける腎機能の長期予後、およびその予測因子について明らかにすることにより、寛解導入療法・維持療法・日常管理上の心理社会的留意点につき診療の質の向上に寄与できる可能性がある。	性別・発症時年齢、発症時および経過観察中の自覚的所見、身体所見、血液(血算、生化学、腎機能、補体・抗DNA抗体など病勢指標となるマーカー)、尿検査、尿の細菌培養検査、生理検査(心電図・脳波・呼吸機能)、画像検査(胸部・腹部・骨の単純写真、頭部・胸部・骨盤のCT/MRI、心臓・腹部超音波検査)、腎病理所見、治療経過(透析や移植など)や長期合併症の有無	12例 (全体34例)	大学・大学病院
第4897号 オキサリプラチンによる肝障害と食道静脈瘤形成に関する臨床的検討	2020年7月1日	2023年12月31日	内科学 (消化器・肝臓内科)	消化器癌 (特に大腸癌、直腸癌、胃癌、膵臓癌) 2010年1月1日～ 2019年12月31日	進行大腸癌に対しオキサリプラチン(L-OHP)を含む化学療法が使用されているが、L-OHPは特異的に肝類洞内皮障害を惹起し、類洞内閉塞症候群(SOS)を発症すると報告されている。SOSは門脈圧亢進症を発症し、脾腫、血小板減少症、食道静脈瘤を合併するが、その臨床的特徴は明らかでない。今回の検討ではL-OHPによる類洞障害に起因すると考えられる脾腫、血小板減少症、食道静脈瘤の頻度および肝障害などの臨床経過を明らかにすることを目的とした。	年齢、性別、背景の基礎疾患、抗癌剤使用状況(種類、レジメン、投与期間)、脾臓径、消化管静脈瘤の有無、臨床経過	300例	大学・大学病院
第4899号 膵頭十二指腸切除術後腹腔内出血に対するアンケート調査	2020年7月14日	2025年3月31日	外科学 (消化器・一般外科) 小林 慎二郎	膵頭十二指腸切除術を施行した症例 2009年1月1日～ 2018年12月31日	膵頭十二指腸切除術(PD)出血に対する予防、及び適切な治療法を確立することは、PD後死亡率の改善には急務である。しかしながらPD後腹腔内出血に対する有用な予防策は未だ見出されておらず、また出血を生じた際の対応策に関しても施設間で異なっているのが現状である。本研究は、本邦の膵切除研究会施設会員所属施設においてPD後腹腔内出血を生じた症例の検討を行うことにより、腹腔内出血に対する早期発見法と治療法に対するベストプラクティスを見出し、本邦におけるPD後死亡率を低下させることを目的とする。	①術前情報 性別、年齢、身長、体重、BMI、ASA-PS分類、手術歴の有無、術前合併症の有無とその内容、手術直前血液学的所見:血液分画、CRP、肝機能(Bil、LDH、AST、ALT、ALP、Alb、TP)、腎機能(BUN、Cr、Na、K、Cl)、腫瘍マーカー(CEA、CA19-9)、術前抗凝固薬投与の有無 ②手術情報 手術日、膵の性状(soft/hard)、手術術式、腹腔鏡か開腹か、膵切除法、膵-消化管吻合の方法、動脈合併切除の有無と再建方法、門脈合併切除の有無と再建方法、手術時間(分)、術中出血量、術中輸血の有無 ③術後情報 術後PPI投与の有無、最終病理診断、術後膵液瘻の有無、術後ドレーンアミラーゼ値、出血時期、出血の契機、出血の種類、出血発見者、出血前のCT撮影の有無、出血時ショックの有無、ICU管理の有無、輸血の有無、出血に対する処置の方法、再出血の有無、術後膵液瘻に関連した感染症の有無(発熱、白血球上昇)、術後感染症の有無、術後合併症(I/II/IIIa/IIIb/IV/V using Clavien-Dindo classification)、合併症対処法、退院日、術後在院日数、在院死(術後～退院前に死亡したもの)、在院死の原因、最終生存確認日、死因	200	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4906号	当科で手術を行った粉瘤症例の検討	2020年7月8日	2021年3月31日	形成外科 岩本 承豪	粉瘤(表皮嚢腫、外毛根嚢腫) 2014年1月1日～ 2018年12月31日	形成外科の診療において、粉溜は最も遭遇する機会の多い疾患の一つである。日常的な疾患であるが故に、統計的検討の報告は少ない。しかし、年齢や性別によって粉溜の発生部位に若干の偏りがあると思われるので、その特徴を明らかにするために、今回我々は検討を行った。粉溜は形成外科だけでなく、皮膚科、一般外科領域でも遭遇する頻度の高いものであり、見識を深め、診断、治療、教育に役立てたいと考えている。	患者の性別、手術時年齢、発生部位、感染の有無、麻酔方法	564例	西部病院
第4913号	酸素補充療法から基質合成抑制療法に切り替えた稀な遺伝的ライソゾーム障害であるゴーシェ病 I 型の1症例	2020年8月11日	2021年4月30日	整形外科 【多摩病院】 大沼 弘幸	ゴーシェ病 2001年4月1日～ 2020年5月31日	糖脂質の蓄積により複数の臓器に機能不全を引き起こす稀な遺伝的ライソゾーム障害であるゴーシェ病において、骨痛や骨折、骨壊死による筋・骨格系機能障害は患者のADL・QOLを著しく低下させる。現在治療薬は、イミグルセラゼによる酵素補充療法(ERT)やイミグルセラゼによる酵素補充療法(ERT)等があるが、非神経型に対してはSRTによる治療が第一選択となりつつある。しかし、本邦でERTからSRTへ切り替えられた報告は少ない。本症例は44歳の男性、ERTからSRTへの切り替えを2度経験した。本症例の治療経過、有害事象、合併症等について調査し、検討する。論文投稿に倫理番号が必要なため申請する。	血液検査や画像検査、その他有害事象	1例	多摩病院
第4914号	3次元手術プランニングソフトを用いた3D-CT評価による高位脛骨骨切り術前後のアライメントの評価	2020年7月28日	2021年12月31日	整形外科 【多摩病院】 大沼 弘幸	変形性膝関節症や大腿骨内顆骨壊死にて膝周囲骨切り術を受けた症例 2015年4月1日～ 2020年5月30日	膝周囲骨切り術はロッキングプレートを用いることにより、後療法が早まるなど再び脚光を浴び、手術件数が増加している。術後成績向上に下肢アライメントは重要である。荷重分散に焦点をあてた冠状面の評価は多いが、軸平面や矢状面に焦点をあてた報告は少ない。冠状面は単純X線では評価できない。研究の目的はCTデータから3次元手術プランニングソフトを用いて3D画像を再構築し、膝周囲骨切り術の術前・術後のアライメント変化を評価し、術後成績向上につなげること。	骨切り前と骨切り後のアライメント変化	100例	西部病院、多摩病院
第4916号	高解像度ホルター心電図による高周波ノイズの日内変動	2020年7月20日	2021年6月30日	内科学 (循環器内科) 原 正壽	2011、2012年ホルター心電図を施行した人間ドッグ受診者 2011年1月5日～ 2012年11月27日	高分解能ホルター心電図を使用することで通常のホルター心電図では評価できない1日を通した心室遅延電位測定が可能となり、重症不整脈の予知ができるようになったが、ノイズレベルの高い個所では解析結果にばらつきが生じる。そこで、心電図のQRS成分を遮断し、1日の高周波ノイズ成分を周波数ごとに解析することで高周波ノイズの要因を検討し、高周波ノイズが低下している箇所での心室遅延電位測定を安定して得ることで精度の高い結果が得られることが期待される。	ホルター心電図を施行した結果	100例	大学・大学病院
第4922号	次世代型統合的がん診断システムの精度向上のために、約1万症例の全エクソン解析を行い、日本人がんゲノムデータベースを構築する研究	2020年8月6日	2027年3月31日	ゲノム医療推進センター 砂川 優		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4922.pdf			大学・大学病院
第4930号	ドブタミン負荷心エコーによる低圧較差高度大動脈弁狭窄症の真の重症度と安静時心エコー指標に関する後ろ向き研究	2020年8月6日	2025年3月31日	内科学 (循環器内科) 出雲 昌樹	低圧較差高度大動脈弁狭窄症 2012年9月～ 2020年4月	高齢化社会では大動脈弁狭窄症は頻度の高い弁膜症の一つである。中でも、大動脈弁口面積は高度でありながらも、圧較差が非高度で矛盾する所見であることが少なくない。ドブタミン負荷心エコーはその真の重症度を評価する上で重要だが、ドブタミンによる合併症に対する懸念、全身状態や設備などの問題でドブタミン負荷心エコーを実施することが困難であることがある。安静時心エコー所見でドブタミン負荷心エコーによる真の重症度を予測できるかどうかを検討した研究は未だないので、本研究ではこれを調査することを目的とする。	1)年齢、性別、2)身長、体重、3)既往・生活歴、4)内服薬、5)血液データ:Cre、BNP、6)安静時/ドブタミン負荷心エコー:大動脈弁狭窄症重症度、左室駆出率、1回心拍出量、流量、左室拡張/収縮末期径/容積、左室重量係数、左房容量係数、推定右室圧、大動脈弁逆流、僧帽弁逆流、僧帽弁狭窄、三尖弁逆流の程度、7)フォローアップのイベント(死亡、心不全入院、大動脈弁置換術)	89例 (全体106例)	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4934号	心疾患患者における管理栄養士の介入に関する研究	2020年8月5日	2024年3月31日	栄養部 柴田 みち	循環器内科、心臓血管外科に心疾患のため入院し、栄養食事指導を実施した患者。 2019年4月1日～ 2020年3月31日	心疾患患者の治療において、栄養食事指導は重要である。今回、管理栄養士による栄養介入を行った心疾患患者の情報を収集し、管理栄養士の活動状況の実態把握ならびに管理栄養士による介入のニーズに関して考察することを目的とする。	栄養食事指導時における、年齢、性別、身長、体重、病名、栄養補給内容、食種、食事調整内容、食事摂取量、身体状況、栄養食事指導での介入内容の詳細	200例	大学・大学病院
第4936号	病院前診療と病院間ICT情報連携に関する研究	2020年8月19日	2024年8月31日	救急医学 森澤 健一郎		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4936.pdf			大学・大学病院
第4939号	日本国内の脳神経血管内治療に関する登録研究4 Japanese Registry of Neuroendovascular Therapy 4(JR-NET 4)	2020年10月9日	2022年12月31日	内科学(脳神経内科) 【東横病院】 植田 敏浩		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4939.pdf			東横病院
第4941号	Colostomy閉鎖術の治療成績	2020年8月6日	2022年3月31日	外科学 (消化器・一般外科) 浜辺 太郎	人工肛門形成状態 2017年1月1日～ 2019年12月31日	人工肛門閉鎖術は手術侵襲に比して合併症が多いとされる。本研究では当院で施行したColostomy閉鎖術症例を後方視的に検証し、その安全性を検討する。	年齢、性別、BMI、Pre Albumin、小野寺PNI、原疾患、初回手術の時期、ストマ部位、ストマの種類、ストマ閉鎖までの期間、術式、吻合方法、手術時間、出血量、術後在院日数、合併症の有無	13例	大学・大学病院
第4942号	慢性腎臓病患者における塩分摂取量と浮腫率が腎予後に与える影響	2020年8月7日	2020年12月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 小波津 香織	保存期CKD教育入院において生体電気インピーダンス法を施行した慢性腎臓病患者を対象とする。 腎予後(eGFR30%以上の低下あるいは透析導入)とする。 2011年1月1日～ 2019年4月30日	慢性腎臓病患者においては塩分制限が血圧管理において極めて重要であることは周知の事実である。また、過剰な塩分摂取は体液過剰をきたし、浮腫へとつながる。近年では、体液量のモニタリングとして生体電気インピーダンス法の有用性が報告されており、体液過剰が腹膜透析患者の腎予後と密接に関連していることが明らかとなっている。しかし、これまで透析を行っていない慢性腎臓病患者における塩分摂取量と体液過剰が腎予後に与える影響については十分に明らかとなっていない。そこで、今回我々は慢性腎臓病教育入院患者において生体電気インピーダンス法を施行した患者を対象とし、糞尿によって得られた塩分摂取量と腎予後との関連性を明らかにするための後ろ向きコホート研究を立案した。	背景患者(年齢、性別、原疾患、糖尿病の有無、CKD stage、BMI)、血液検査所見(Crから算出されるeGFR、CysCから算出されるeGFR、Hb、Alb)、Charlson comorbidity index、生体電気インピーダンス法により得られたTotal body fluid(TBF)、extracellularfluid(ECF)、浮腫値(TBF/ECF)、糞尿検査により得られた塩分摂取量	200例	大学・大学病院
第4949号	日本人におけるABO式血液型と、重症腹部外傷患者予後、輸血量、合併症との関係	2020年8月7日	2021年3月31日	外科学 (消化器・一般外科) 土橋 篤仁	重症腹部外傷患者 (腹部 AIS \geq 3) 2008年4月1日～ 2018年3月31日	ABO式血液型分類は1901年に発見されて以降、様々な疾患との関連性が報告されている。 AB抗原は赤血球以外にもあらゆる細胞、組織に分布しており、心筋梗塞や深部静脈血栓症、悪性腫瘍や感染症、敗血症後のAKI/ARDSとの関連が指摘され注目されている。また、O型患者と止血機構との関連についてもいくつか報告がされている。 我々は重症外傷患者の転帰との関連を自施設患者で報告した。しかしながら様々なバイアスも存在し、まだまだ不明な点が多い。本研究は重複腹部外傷(腹部 AIS \geq 3、多部位 \lt 3)の患者を対象とした後方視的データを他施設で集積し、患者背景や治療内容を統計的に調整することにより、血液型分類と転帰(死亡率や輸血量など)との関連を臨床的に明らかにすることを目的とする。	患者基本情報 年齢、性別、既往歴、AIS \geq 3以上の腹部外傷、処置内容、損傷臓器、程度、来院24時間以内の輸血量(RBC、FFP、Plt)緊急O型輸血量の内訳 生理的情報 意識レベル、血圧、呼吸数、心拍数、来院時体温 治療関連情報 24時間以内死亡、院内死亡、ICI滞在時間、合併症の有無とその内容	15例 (全体2000～ 3000例)	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4955号	肝硬変患者における門脈肺 高血圧症の疫学調査	2020年9月2日	2025年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 渡邊 綱正	肝硬変と診断された患者 さんの門脈肺高血圧症 2020年4月1日～ 2025年3月31日	肝硬変の合併症として肝細胞癌、肝性脳症、静脈瘤出血、 皮膚掻痒症、こむら返りそして腹水などが有名ですが、一 方で、肝外病変の中でも心肺機能に影響を与える疾患とし て門脈肺高血圧症という合併症があり、その頻度は肝硬変 患者の1-5%前後と海外から報告されています。この病気は 予後不良な疾患であるのにも関わらず本邦においてスク リーニング方法が統一されておらず、患者さんの自覚症状 により初めて本疾患の精査を施行することが実臨床では多 いと考えられます。海外から比較的良好な肝予備能の患者 さんにおいても本疾患は一定頻度で存在すると報告されて おりますが、本邦における大規模な疫学の報告はありません。 そこで本研究は、本邦における肝臓専門医の所属する 多施設で門脈肺高血圧症のスクリーニング方法やその診 断能ならびに治療介入、予後調査を施行することを目的と します。	年齢、性別、身長、体重、合併症、既往歴、アルコール 摂取歴、併用薬、妊娠の有無、自覚症状、他覚症 状のカルテ記載内容、血液生化学的検査のデータ(肝 機能や腎機能、肝臓線維化マーカーなど)、フィブros キャン®による肝線維化の推移、肝予備能(Child Pugh score,MELD score,ALBI grade)の推移、肝細胞癌の既 往歴、治療歴および観察期間中の肝細胞がんの発症 の有無(腹部超音波検査、腹部CT、腹部MRIの結果)、 心肺機能検査(心エコー、心電図、BNP)	200例	大学病院、 西部病院、多摩病院
第4957号	経動脈のカテーテル塞栓術 症例に対する後方視的研 究(腎血管筋脂肪腫)	2020年8月25日	2021年3月31日	放射線医学 細井 康太郎	腎血管筋脂肪腫 2014年4月1日～ 2020年3月31日	当院における腎血管筋脂肪腫に対する頸動脈的塞栓術に 関する検討を行うことを目的とする。腎血管筋脂肪腫に対 しての塞栓術が有効であることは明白ではあるが、塞栓に 用いる物質についての画一的な見解は得られていない。今 回、当院において、マイクロスフィアを用いて塞栓術を行っ た症例を 検討し、その有効性や有害事象についての検討を行いた い。	年齢、性別、背景疾患、内服歴、出血部位、血液検査 データ、放射線画像および所見	7例	大学・大学病院
第4960号	ベキサロテンPMSデータを 用いた安全性評価の後方 視的研究	2020年12月21日	2022年3月31日	皮膚科学 宮垣 朝光		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4960.pdf			大学・大学病院
第4971号	病診連携バスを用いた気管 支喘息における病診連携と 課題	2020年9月11日	2025年3月31日	内科学 (呼吸器内科) 【西部病院】 駒瀬 裕子	気管支喘息と診断され、西 部病院病診連携バスで連 携診療を行っている症例 2016年11月28日～ 2020年8月18日	西部病院では双方向バスを用いた病診連携を以前から 行っている。この方法は当地域独特の方法論であり、か かりつけ医における日常の管理と年一度の専門的評価およ び救急対応を両立させ、効率の良い医療を提供できると考 えられる。今までの連携による医療経歴をまとめ、よりよ い方法を模索する。	連携内容、性別、年齢、喫煙歴、既往歴、アレルギー 素因、合併症、併存症、治療と疾患の経歴、連携病 院、呼吸機能検査、FENO、強制オシレーション法、気 道過敏性検査、血液データ	310例	西部病院
第4975号	REMAP-CAP: 新興・再興感染症と市中肺 炎を対象とする国際アダ プティブ・プラットフォーム試験	2022年12月13日	2028年3月31日	救急医学 藤谷 茂樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4975.pdf			大学・大学病院、 西部病院、多摩病院
第4976号	化学療法患者における自動 2Dスペックルトラッキング法 及び自動3D心エコー法によ る左室収縮能評価の信頼 性及び再現性の検討	2020年9月18日	2025年3月31日	内科学 (循環器内科) 出雲 昌樹	化学療法予定患者 2018年3月1日～ 2019年6月30日	近年、化学療法の心毒性に関して認識が広まり、化学療法 開始前から定期的なフォローまで心エコーによる左室収縮 能評価が推奨されている。心エコーによる左室収縮能評価 は2D法による評価がゴールドスタンダードであるが、近年 開発された3D法やスペックルトラッキング法は、左室収縮能を より正確かつ鋭敏に評価する方法として期待されている。し かしながら検査時間や再現性、抽出不良例などの問題から 臨床現場への広い普及には至っていない。近年、これら 新手法の計測は自動化が実現し、より短時間で信頼性及 び再現性の高い検査として化学療法患者の左室機能評価 に期待できる。本研究は化学療法を予定した患者において 自動3D法、自動2Dスペックルトラッキング法の信頼性及び 再現性について従来の2D法と比較検討することを目的とし た。	年齢、性別、身長、体重、基礎疾患及び既往歴、心エ コー:画質評価(excellent、good、fair、poor)、2D- Simpson法での計測時間、左室駆出率/拡張末期容 積/収縮末期容積、自動3D解析での計測時間、修正 の要否、自動3D解析での左室駆出率/拡張末期容 積/収縮末期容積、2Dスペックルトラッキング法の計 測時間、修正の要否、global longitudinal strain(GLS)	120例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第4983号	脳神経内科領域疾患の病態解明および診断・治療・予防法の開発に関するレジストリ研究	2022年3月7日	永年	内科学(脳神経内科) 山野 嘉久		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4983.pdf			大学・大学病院、東横病院、西部病院、多摩病院
第4993号	非小細胞肺癌における薬物治療耐性後の個別化医療の確立を目指した、遺伝子スクリーニングとモニタリングのための多施設共同前向き観察研究(LC SCRUM TRY)	2020年10月16日	2030年9月30日	内科学(呼吸器内科) 古屋 直樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/4993.pdf			大学・大学病院
第5006号	膵頭十二指腸切除術施行した悪性疾患の予後因子に関する検討	2020年10月9日	2022年12月1日	外科学 (消化器・一般外科) 小林 慎二郎	遠位胆管癌、膵癌、乳頭部癌 2010年1月1日～ 2020年7月31日	近年、サルコペニアや栄養指標を用いた予後予測因子と消化器癌における術後器癌における術後合併症や予後の相関に関する報告が散見されるが、遠位胆管癌や膵癌における研究はまだ少ない。 当院における膵頭十二指腸切除術施行した悪性疾患を対象に数々のパラメーターと予後の相関を検討する。	術前のmGPS(術前CRPおよびAlbを組み合わせた指標)、PNI(0.005×リンパ球数+10×Alb)、NLR(好中球/リンパ球比)PLR(血小板/リンパ球比)、PMI(CTIにおけるL3レベルの腸腰筋面積)、インピーダンス法SMIと合併症発生率および予後の相関	300例	大学・大学病院
第5016号	掌側ロッキングプレート術後の橈骨遠位端骨折患者に対するクリニカルパスに合わせた目標設定の効果	2020年11月12日	2025年12月31日	脳神経内科学 萩原 悠太		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5016.pdf			西部病院
第5020号	心房性不整脈に対する洞調律維持が左室機能に与える影響	2020年11月9日	2023年9月30日	内科学(循環器内科) 【西部病院】 松田 央郎	心房細胞、心房頻拍 2016年4月1日～ 2020年9月30日	持続性心房細動などの長期に持続する心房性不整脈に対する洞調律維持が左室機能に与える影響についてはまだ不明な点が多い。頻脈依存性心筋症とされる疾患群では、洞調律維持に伴って心機能が回復することが知られているが、左室の著名な拡大を伴う症例では洞調律への復帰後も低心機能が残存するとされている報告もある。しかしながら、洞調律維持により左室拡大が著名であっても心機能が回復する症例は存在しており、今回の研究では持続性心房性不整脈への治療が左室機能へ与える影響を評価する。	左室駆出率や左房径などのデータ、通常の心臓超音波検査で得られた画像	30例	西部病院
第5027号	日本における若年性特発性関節炎患者の現状と問題点を全国的に継続的に明らかにするための共同臨床研究	2020年12月10日	2025年3月31日	内科学 (リ・膠・ア内科) 山崎 和子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5027.pdf			西部病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5029号	乳幼児期にエミズマブを開始した血友病A症例の検討	2020年11月9日	2025年12月31日	小児科学 【西部病院】 森 美佳	血友病A 当院で就学前にエミズマブの定期投与を開始した小児血友病A患者、インヒビター保有・非保有どちらも含む 2017年1月1日～ 2020年9月30日	活性型大Ⅷ因子の補因子機能を代替するBispecific抗体製剤であるエミズマブは、血友病治療における初の皮下注射製剤であり、また、第Ⅷ因子に対する中和抗体(インヒビター)を有する患者にも効果があるという点からも極めて有用性の高い製剤と考えられている。新規製剤のため長期の観察結果の報告が未だ少ない。幼少期よりエミズマブを開始した患者の出血抑制効果や、将来的な血友病性関節症の予防効果、QOLなどに関して検討し報告することは今後の血友病治療において極めて有益な情報となる。	年齢、血友病の重症度、エミズマブ開始日、エミズマブの投与期間、前治療の内容、第Ⅷ因子や第Ⅷ因子インヒビター値など凝血学的内容に関する検査結果、年間出血回数、出血内容、現在の治療内容など	20例	大学・大学病院、西部病院
第5036号	Xpert MRSA/SAの導入効果	2020年11月27日	2025年12月31日	臨床検査部 大柳 忠智	Staphylococcus aureus 感染症 2019年11月1日～ 2020年7月31日	MRSAは院内感染の主要な原因菌であり、現在は市中感染が増加している。MRSAの診断には検体から分離した菌の薬剤感受性を検査する必要があり、従来の方法では2～3日以上を要する。当院で導入したGeneXpertシステムにより血液培養が陽性になった当日に検査を行うことで、検体中のmec遺伝子の有無を検出し、MRSAか否かの判断を迅速に行うことが可能である。本調査により、従来法での同定・薬剤感受性検査との比較検討を行い、検査結果の妥当性の確認を行うとともに、臨床での抗菌薬変更の状況を調査し、導入効果と今後の運用に関して検証を行う。	mec遺伝子の有無、抗MRSA薬の使用状況(使用開始日もしくは他剤への変更日)	200例	大学・大学病院
第5037号	Xpert C.difficileによるNAATの導入効果	2020年11月27日	2025年12月31日	臨床検査部 大柳 忠智	Clostridioides difficile 感染症 2019年11月1日～ 2020年7月31日	Clostridioides difficile(C. difficile)は医療関連下痢菌の主要な原因菌であり、院内感染症として重要な感染症である。Toxin検査は検出感度が低く、また抗原検査の検出感度は高いがtoxin非産生のC. difficileが存在することにより治療が不必要な患者に対して抗菌薬を使用することとなる場合がある。ガイドラインにてNAAT検査(便中のtoxin産生遺伝子の検出)が推奨されている。当院で導入したGeneXpertシステムにより便中のtoxin産生遺伝子を検出し、抗菌薬治療が必要かどうかの判断が可能となる。本調査により、抗原陽性症例において感度不十分とされていたtoxin検査の追加試験としてのNAAT検査の結果による臨床での抗菌薬治療の状況を調査し、導入効果と今後の運用に関して検証を行う。	toxinB産生遺伝子(tcdB)、binary toxin遺伝子tcdC変異の有無、CDI治療薬の使用状況	1000例	大学・大学病院
第5039号	潰瘍性大腸炎におけるウステキヌマブの有効性とその背景因子に関する検討-二施後ろ向き観察研究-	2020年11月30日	2021年12月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 山下 真幸		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5039.pdf			大学病院
第5050号	法医病理診断における唾液腺組織の有用性の検討	2020年12月9日	2025年3月31日	法医学教室 呂 彩子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5050.pdf			大学・大学病院
第5058号	COVID-19感染症におけるIgG抗体、IgM抗体価の推移	2021年1月13日	2024年3月31日	内科学(呼吸器内科) 【西部病院】 駒瀬 裕子	COVID-19感染症 2020年4月1日～ 2020年5月31日	COVID-19感染症は2019年末より世界的な流行をみせている。横浜市西部病院でも院内感染が起き、感染状況の把握のために希望職員のCOVID-19IgM/IgG抗体測定を大阪市立大学の協力の元行った。現在COVID-19感染症の診断にはPCR検査が広く用いられているが、PCR陰性であっても症状や画像検査からCOVID-19感染を強く疑う症例が存在し、抗体検査の必要性も指摘されている。本研究では院内職員のPCR検査や胸部CT画像、抗体検査の結果を踏まえ、個々の症例のIgM抗体とIgG抗体の抗体価の推移や、それぞれの検査の陽性率などの検討を行った。今後も日本国内で再流行が予測されるため、特に重症化しやすい肺炎の有効なスクリーニングなどを検討する。	血液検体、抗体陽性率やPCRでの陽性率、CTでの所見の有無	250例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5059号	敗血症性播種性血管内凝固症候群を合併した急性胆管炎に対するトロンボモジュリン製剤併用の有無による播種性血管内凝固症候群の離脱率を比較する多施設共同後ろ向き試験	2020年12月7日	2022年9月1日	内科学 (消化器・肝臓内科) 中原 一有	敗血症性DIC合併急性胆管炎 2011年4月1日～ 2019年4月1日	トロンボモジュリン製剤はトロンビンの生成阻害作用に基づいた抗凝固作用によりDICに対する治療効果を発揮する。また、本製剤はDICの離脱だけでなくDICを合併した敗血症において生存率の改善も報告されている。しかし、急性胆管炎に合併したDICに対する本製剤の有効性を示す報告は少なく、多数例での検証はまだ不十分である。よって、急性胆管炎に合併した敗血症性DIC症例を多施設より後ろ向きに集積し、トロンボモジュリン製剤の投与の有無に分類して比較検討し、その有用性を明らかにする多施設共同後ろ向き試験を計画した。本研究は、敗血症性DIC合併急性胆管炎に対するトロンボモジュリン製剤の投与が、DIC改善、離脱率、生命予後等に寄与できるか否かを検証することを目的とする。	年齢、性、原疾患、他臓器不全の有無、最終転帰、トロンボモジュリン製剤投与期間、投与量、胆道ドレナージの有無、ドレナージ法、ドレナージ期間、入院期間、ICU管理の有無とその期間、SIRS score、APACH II score、トロンボモジュリン製剤以外のDIC治療薬併用の有無、白血球、白血球分画、TP、ALB、AST、ALT、ALP、γ-GTP、LDH、AMY、BUN、Cr、NA、K、Cl、CRP、DIC score、血小板数、PT-INR、FDP、AT、フィブリノゲン、SOFA score、抗生剤の種類・投与期間	30例 (全体280例)	大学・大学病院
第5060号	本邦におけるリツキシマブのループス腎炎に対する使用実態に関する後ろ向き調査研究	2020年12月9日	2021年1月31日	内科学 (リ・膠・ア内科) 清川 智史		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5060.pdf			大学・大学病院
第5064号	当院で経験したRRSOに関する検討	2020年12月7日	2021年5月31日	産婦人科学 近藤 春裕	乳がん、BRCA病的バリエーション保持者 2015年1月1日～ 2020年11月10日	BRCA病的バリエーション保持者に対するRRSOは、当院では2015年から倫理審査委員会での承認を得て開始している。対象患者の病歴や遺伝子異常、手術所見、病理診断など後方視的に検討し、有用性を評価する。	腹腔鏡下にRRSOを実施した乳がん既発症者の患者背景、術後病理診断その後の転帰	17例	大学・大学病院
第5074号	当院における無痛分娩の検討	2020年12月9日	2024年12月31日	麻酔学 虻川 由紀		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5074.pdf			大学・大学病院
第5075号	術後化学療法を受けた子宮体癌における新たな予後因子の検討(JGOG2043-A2)	2020年12月16日	2020年12月31日	産婦人科学 久慈 志保	子宮体癌JGOG2043試験に参加した患者 2007年3月1日～ 2010年12月31日	術後化学療法を受けた子宮体癌(JGOG2043登録症例)における新たな予後因子を解析し、今後の実地臨床に有効な分類や臨床試験の新しい層別化因子を探索する。	白血球数、リンパ球数、血清アルブミン	16例 (全体781例)	大学・大学病院
第5089号	完全腹腔鏡下幽門側胃切除術におけるAugmented rectangle technique(ART)吻合の安全性	2021年1月6日	2025年12月31日	消化器病センター 【東横病院】 佐々木 貴浩	腹腔鏡下幽門側胃切除症例 2009年6月1日～ 2020年10月31日	胃癌に対する腹腔鏡下手術は、リンパ節廓清を完全腹腔鏡下に行い、再建手技を小開腹併用で行う腹腔鏡補助下手術から導入された。現在は吻合も完全腹腔鏡下で行うことが多く、吻合法は三角吻合、デルタ吻合、book binding technique(BBT)など報告されている。ART吻合は他の吻合と異なり、吻合口が大きな四角形となり、われわれは、このART吻合を導入し、それ以前の吻合と比較し、安全性を検討する。	年齢、性別、BMI、手術時間、出血量	105例	東横病院
第5090号	肺癌の切除検体におけるPD-L1発現と臨床病理学的特徴を検討する	2021年1月12日	2021年8月31日	外科学 (呼吸器外科) 宮澤 知行	肺癌 2008年1月1日～ 2020年12月2日	ペムブロリズマブとアテゾリズマブに関しては、PD-L1発現率に応じて治療効果の差異が認められている。手術症例においても術前化学療法あるいは術後化学療法で免疫チェックポイント阻害剤を使用したレジメンが一般化されていく可能性がある。しかし、PD-L1発現率に関しては不明な点が多く、PD-L1発現率と臨床病理学との関係を明らかにすることは非常に有意義である。	性別、年齢、喫煙指数、組織型、組織亜型、臨床病期、病理病期、術前のPET-CTにおける集積値、EGFR変異、予後などの包括的な臨床情報	1000例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5098号	機械学習を用いた新生児自発運動評価法の開発	2021年1月26日	2026年3月31日	小児科学 【多摩病院】 今泉 太一		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5098.pdf			大学・大学病院、西部病院
第5100号	パーキンソン病(PD)におけるヘモグロビン(Hb)、血清鉄、vitamin B12、葉酸、ホモシステインに関する検討	2021年1月12日	2022年3月31日	内科学(脳神経内科) 【西部病院】 原 大祐	パーキンソン病 2010年4月1日～ 2010年11月30日	パーキンソン病患者の嚥下機能、運動機能、非運動症状、精神認知機能の進行とHb、vitamin B12、葉酸、血清鉄、ホモシステインとの関連性について後方視的に調査することを目的とした。	年齢、身長、体重、BMI、既往歴、罹病機関、初発症症状、H&Y分類、UPDRS、MMSE、MASA、MNA、FAB、BDI、現在および過去の内服薬、レボドパ1日換算量、血球数、vitamin B12、葉酸、ホモシステイン、鉄、フェリチン、TIBC、UIBC、総タンパク質、アルブミン、プレアルブミン、血糖値、中性脂肪、総コレステロール、LDLコレステロール、HDLコレステロール、123MIBG心筋シンチグラフィ上での早期および後期の心臓縦隔取り込み比、洗い出し率、SBR値の相関の有無	170例	大学・大学病院、西部病院
第5131号	小児鈍的肝臓傷および脾臓傷の自然経過と診療パターンの検討:多施設後ろ向き観察研究	2021年2月15日	2024年8月31日	外科学(小児外科) 古田 繁行		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5131.pdf			大学・大学病院
第5137号	頭蓋内動脈狭窄に対する脳血管内治療の治療成績についての観察研究	2021年2月9日	2021年12月31日	内科学 (脳神経内科) 【東横病院】 植田 敏浩	頭蓋内主幹動脈の症候性高度狭窄症 2008年7月1日～ 2020年12月31日	頭蓋内主幹動脈の症候性動脈硬化性高度狭窄は本邦における脳梗塞発症原因として重要なものである。そこで本疾患に対して、当院にて脳血管内治療(バルーン拡張術またはステント留置術)を施行した症例について、周術期合併症、再狭窄、経過観察中の脳卒中再発について、後方視的に調査することを目的とする。	年齢、性別、基礎疾患や発症の状況、MRI/MRA所見、狭窄血管の部位と程度、内服薬など。脳血管内治療の手法と治療結果、周術期合併症、その後の経過観察中の再狭窄や脳梗塞の再発、有害事象や死亡などの転帰	200例	東横病院
第5138号	女性生殖器原発神経内分泌腫瘍の病態と病理学的・分子生物学的分析	2021年2月9日	2025年3月31日	産婦人科学 鈴木 直		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5138.pdf			大学・大学病院
第5173号	神奈川県における新生児死亡の実態調査:新生児死亡登録事業の普及	2021年3月3日	2025年3月31日	小児科学 【西部病院】 廣瀬 あかね		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5173.pdf			大学病院、西部病院
第5201号	光干渉断層映像法ガイド下下行再建術の患者背景に関する研究(Tokyo / Kanagawa / Chiba / Shizuoka / Ibaraki active OCT applications for ACS regarding patient background (TACTICS background registry)	2021年4月1日	2026年3月31日	内科学(循環器内科) 【多摩病院】 樋熊 拓未		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5201.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5208号	潰瘍性大腸炎患者における抗TNF- α 抗体薬中止時の免疫調節薬併用と再燃率の検討	2021年3月3日	2025年3月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 加藤 正樹	潰瘍性大腸炎 2010年6月1日～ 2020年3月31日	抗TNF- α 抗体薬で寛解維持されている潰瘍性大腸炎(UC)患者において、抗TNF- α 抗体薬中止時における免疫調整薬(AZAないし6-MP)併用の有無が、その後のUC再燃と関連するかを検証する。免疫調整薬併用患者における再燃率低下が示されれば、抗TNF- α 抗体薬中止時に免疫調整薬併用の有無により中止を決定する判断の一助にすることができ、UC患者の寛解維持率の向上につながる可能性があるため、意義のある研究と考える。	性別、抗TNF- α 抗体薬中止時の年齢、喫煙の有無、病型、抗TNF- α 抗体薬導入時の臨床的重症度、UC確定診断日、抗TNF- α 抗体薬中止時までの罹病期間、抗TNF- α 抗体薬治療歴、抗TNF- α 抗体薬の寛解維持投薬継続期間、抗TNF- α 抗体薬中止時の血液検査(WBC値、CRP値)、抗TNF- α 抗体薬中止時の併用内服薬(免疫調整薬(AZAないし6-MP)、5-アミノサリチル酸製剤;5-ASA、アロプリノール)、抗TNF- α 抗体薬中止時併用免疫調整薬投与量、抗TNF- α 抗体薬中止理由、中止した抗TNF- α 抗体薬の種類(IFX、ADA、GLM)、抗TNF- α 抗体薬中止後再燃の有無、抗TNF- α 抗体薬中止後再燃までの期間、抗TNF- α 抗体薬中止後手術移行の有無、抗TNF- α 抗体薬中止後手術移行までの期間、抗TNF- α 抗体薬中止後免疫調整薬の継続投与期間、抗TNF- α 抗体薬中止後の入院を有する有害事象発生の有無、抗TNF- α 抗体薬中止時下部内視鏡検査所見、抗TNF- α 抗体薬中止後の観察期間中の脱落の有無、抗TNF- α 抗体薬中止後の観察終了日	4例 (全体:350例)	大学・大学病院
第5212号	円錐角膜眼における角膜形状の検討	2021年3月3日	2022年3月31日	眼科学 松澤 亜紀子	前眼部角膜形状解析装置にて円錐角膜と診断された症例 2010年1月1日～ 2020年12月31日	円錐角膜とは、進行性に角膜の一部が菲薄化し前方に突出することで不正乱視を生じる疾患であり、患者数が少ないため障害者総合支援法の対象疾患である。有効な治療法は、まだ確立していないが不正乱視に対してはハードコンタクトレンズを装着することで良好な矯正視力を得ることができる。円錐角膜は、角膜の突出部や突出の範囲に様々なバリエーションがあるためハードコンタクトレンズの処方には経験と知識が必要である。今回、円錐角膜眼角膜形状を解析し分類することで円錐角膜の進行に影響する因子やハードコンタクトレンズ処方の傾向を分析する。	臨床症状および経過や視力、コンタクトレンズのサイズ	150例	大学・大学病院、多摩病院
第5213号	まつ毛エクステンションによる眼障害の検討	2021年3月12日	2022年3月31日	眼科学 松澤 亜紀子	まつ毛エクステンションを起因とする眼障害が認められた患者 (除外基準:眼障害の原因がまつ毛エクステンションに関係があるか不明な場合) 2015年1月1日～ 2020年12月31日	まつ毛エクステンションとは、睫毛1本に人工毛1本を特殊な接着剤を用いて装着する技術のことであり、まつエクにより睫毛が濃く長く見えるようになるため、多くの女性が美容の一環として行っている。しかし、外来診療においてまつエクによる眼障害例も多く認められるため、啓発のためにも多数の眼障害例を報告する必要がある。	まつ毛エクステンションの有無、エクステンションの施術日、施術方法、眼障害の症状、患者背景	50例	大学・大学病院、多摩病院
第5217号	肝細胞がんに対するアテゾリズマブ+ベバシズマブの有用性と生存期間に寄与する因子の多施設共同研究	2021年3月19日	2027年8月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 渡邊 綱正		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5217.pdf			大学病院
第5220号	乳房再建術の安全性と予後に関わる多施設後向き検討(乳癌学会班研究)	2021年3月12日	2025年12月31日	乳腺・内分泌外科 【多摩病院】 志茂 彩華		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5220.pdf			大学・大学病院
第5241号	高齢者における早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)後の長期予後について	2021年4月1日	2022年12月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 中本 悠輔		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5241.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5243号 AFXステントグラフトシステム内挿術の長期予後解析：本邦における多施設研究	2021年10月27日	2025年12月31日	外科学 (心臓血管外科) 西巻 博		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5243.pdf			大学・大学病院
第5263号 各透析施設におけるドライウェイト定義の違いに対する検討	2021年4月12日	2021年6月6日	看護部 藤嶋 千華	慢性腎臓病 2018年1月1日～ 2021年1月1日	血液浄化療法ユニットでは入院透析患者を主に受け入れている。そのため患者を受け入れた際ドライウェイトの風袋設定が各透析施設によって異なっている。紹介状のドライウェイト設定を確認するが風袋について記載がないため施設に問い合わせないとわからない。風袋記載はあるが患者の認識と異なっており除水設定に不満がでるなど多々トラブルがあり除水量の調整に時間を要している。今回、ドライウェイトに関する問題点を振り返ることで当院から他院への情報提供や指導方法の見直しにもつながったため透析医学会で発表する。	透析記録・診療記録からクリニックでドライウェイトが決まっているにも関わらず除水指示が必要となった経緯や除水設定についての患者の言動等	1000例	大学・大学病院
第5266号 切除不能消化器・原発不明NET G3 に対する薬物療法の治療成績に関する多施設共同後ろ向き観察研究	2021年4月26日	2024年3月31日	臨床腫瘍学 梅本 久美子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5266.pdf			大学・大学病院
第5280号 Parkinson病における脳血流SPECTを用いた関心領域と薬剤反応との関連	2021年5月19日	2024年3月31日	内科学 (脳神経内科) 白石 眞	Parkinson病 (¹²³ I-IMPを用いた脳血流シンチグラフィが施行された症例) 2015年1月1日～ 2020年11月30日	パーキンソン症候群の鑑別に ¹²³ I-IMP SPECTが施行され、統計学的画像解析においてthree-dimensional stereotactic surface projection(3D-SSP)を用いた正常データベースの平均と分散から、患者の画像をピクセルごとにZ値を算出し画像化している。統計画像データは主にdecrease画像(脳血流低下)が評価され、視覚的に有用な表示がされる。脳血流量は、動脈血圧がある範囲内で変化してもほぼ一定に保たれる自己調節により調節をうけており、局所の低下が生じたとしても、他の部位では代償的に血流上昇させる機構が内在する。Parkinson病(PD)においては自律神経障害の重症化や神経変性による脳萎縮、脳代謝機能障害によって代償が不良になることが推測される。PDにおける脳血流の代償は、レボドパ用量や薬剤反応性などの疾患特異的な説明変数と関連領域の血流分布との関連を解析することにより、脳血流評価の新たな診断ツールとして価値が見出される可能性がある。本研究の目的はPD患者における ¹²³ I-IMP SPECT画像から two tail viewを作成し、血流減少部位、血流上昇部位と患者特性および薬剤反応性との関係を解明することとした。	各症例の脳血流低下部位および程度と疾患重症度、年齢、性別、薬剤用量、薬剤用量の増減、薬剤反応	80例	大学・大学病院
第5281号 レミゾラムによる全身麻酔と揮発性吸入麻酔薬による全身麻酔の術中循環変動の比較検討	2021年6月24日	2023年3月31日	麻酔学 小幡 由美	慢性心房細動、発作性心房細動 2020年5月1日～ 2021年3月31日	レミゾラムは、2020年1月に承認された超短時間作用型ベンゾジアゼピン系全身麻酔薬であり、血圧低下が少ない麻酔薬といわれているが、循環器内科のアブレーション治療での使用の報告はほとんどない。循環器内科のアブレーションは、術中に頻脈性不整脈を誘発しPEEPをかけ呼吸管理するため血圧低下が生じることが多く、術中に昇圧剤が必要となる症例が多い。現在全身麻酔薬として汎用されている揮発性吸入麻酔薬は、心抑制の副作用があることが知られており、アブレーションの中は血圧低下の頻度が高いと考える。今回、揮発性吸入麻酔薬と比較し、レミゾラム使用によって術中血圧低下が減少するか検討する。	術前採血結果、年齢、診断名、心機能、バイタルサイン、術中の低血圧時間と頻度、血圧の変化率、昇圧剤の使用、併用麻酔薬、輸血量、出血量、尿量、麻酔時間、手術時間	100例 (全体：100例)	大学病院、西部病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5289号	超音波気管支鏡下針生検(EBUS-TBNA)施行時におけるElastographyによるstrain ratioの有用性に関する後方視的研究	2021年5月24日	2021年12月31日	内科学 (呼吸器内科) 井上 健男	縦隔・肺門リンパ節腫脹患者に対し、EBUS-TBNAおよびElastographyでstrain ratioを計測した症例	近年、多くの施設で縦隔・肺門リンパ節腫脹症例に対して超音波気管支鏡下針生検(Endobronchial Ultrasound-guided Transbronchial Needle Aspiration:EBUS-TBNA)が施行されているが、確定診断に至らない症例が数例存在する。その診断率を上げるためには、穿刺するリンパ節の適切な選択が重要であり、穿刺直前の超音波画像診断は非常に重要な意義を有している。一般的に、病変が固いリンパ節ほど悪性疾患の可能性が高く、その硬さを計測するために超音波画像診断によるElastographyが有用であることはすでに証明されている。ところが、比較的個人差の少ない病変周囲の脂肪組織に対する病変の硬度の比率であるstrain ratioの計測が乳腺領域で臨床応用されているが、呼吸器領域でのstrain ratioに関する報告は少ない。本研究では、EBUS-TBNA施行時のElastographyによるstrain ratioの有用性について後方視的に検討する。	EBUS-TBNAおよびElastographyを施行した患者の患者背景、血液検査所見、画像所見、気管支鏡所見、病理所見、有害事象などの情報	60例	大学・大学病院
第5293号	腎移植レシピエントにおける炎症性腸疾患の調査	2021年5月24日	2024年3月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 谷澤 雅彦	生体腎移植後レシピエント、クローン病、潰瘍性大腸炎 1998年4月1日～ 2021年3月3日	固形臓器移植後レシピエントでは炎症性腸疾患の新規発症が一般人口と比較して高いとされているが、その報告は肝臓移植後が多く、特に原発性硬化性胆管炎を原疾患とする場合に関連が強いとされている。一方で腎移植後に発症する炎症性腸疾患も報告はあるが、その特徴については不明な点が多い。聖マリアンナ医科大学で腎移植を施行したレシピエントの中でも炎症性腸疾患(クローン病、潰瘍性大腸炎)の発症率が高い可能性があり(覚知しているだけで約7/250人、一般人口では100人以下/10万人)、当院での移植後患者の炎症性腸疾患の情報を用いて、腎移植患者に発症する炎症性腸疾患の現状(基礎疾患、治療、経過など)を記述的疫学的に調査することを目的とする。	年齢、性別、腎不全の原疾患、腎移植から炎症性腸疾患発症までの期間、尿・採血結果(尿検査、肝機能、腎機能、炎症反応、血算、免疫抑制薬血中濃度)、拒絶反応歴、拒絶反応治療歴、サイトメガロウイルス感染症、免疫抑制薬を含めた内服薬、炎症性腸疾患の治療方法、炎症性腸疾患の診断名と重症度、大腸鏡・病理所見、経過	7例	大学・大学病院
第5294号	腎移植レシピエントのpolypharmacy(多剤服用)の実態調査	2021年5月24日	2024年3月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 谷澤 雅彦	腎移植レシピエント 1998年4月1日～ 2021年3月31日	近年、特に高齢者を中心として多剤服用(polypharmacy)が社会的問題となっている。同じく慢性疾患の代表である保存期腎不全患者・末期腎不全患者・透析患者においても、polypharmacyの実態(記述疫学)やアウトカムへの関連を観察(コホート研究)した報告が近年増加している。しかし同じ慢性腎臓病患者である腎移植患者におけるpolypharmacyの実態はおろか、アウトカムへの影響を調べた研究は非常に少ない。腎移植患者は免疫抑制薬の終生の内服が必要であり、メタボリック因子関連薬剤の処方数も多く、polypharmacyであることが容易に予想される。腎移植患者においてpolypharmacyは、non-adherenceの増加や薬物相互作用による免疫抑制不足(拒絶反応のリスク)や免疫抑制薬との薬物相互作用による免疫抑制過剰(ウイルス感染症のリスク)という相反する弊害をもたらす可能性がある。本研究の目的は、腎移植領域におけるpolypharmacyの実態を調べ、アウトカム(拒絶反応/ウイルス感染症)との関連を調べることである。	性別、年齢、BMI、原疾患、透析歴、移植前透析方法、高血圧、糖尿病、心血管疾患、悪性腫瘍、リツキシマブ使用の有無等、薬剤種類、錠数、内服回数(インスリン含)、ウイルス感染症(BK/サイトメガロウイルス感染症)	250例	大学・大学病院
第5295号	移植腎生検後の血管系合併症発症リスクの検討	2021年6月8日	2024年3月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 谷澤 雅彦	移植腎生検を施行した胃移植後レシピエント(当院で腎移植を施行した患者に限る) 2010年1月1日～ 2023年3月31日	腎移植後の検尿異常や腎機能障害の原因検索として、非侵襲的検査である移植腎生検は必須である。移植腎生検に伴う血管系合併症(皮膜下血腫、腎動静脈瘻、仮性動脈瘻等)はある一定頻度で発症する。実際に我々は当院で2010-2016年に移植腎生検を行った連続270例で2.6%に生検後腎動静脈瘻を発症したことを報告した。これは先行研究と比較しても発症率は変わらず当院の手法に問題があるとは考えにくい。諸外国から血管系合併症リスク因子も報告されており穿刺回数、深い穿刺、拒絶反応時の穿刺、穿刺針の太さなどが指摘されている。しかし本邦の腎移植患者の生検後血管合併症のリスク因子は不明であり、上述した研究では発症数のみの記述的研究であったため、当院で施行した移植後腎生検に伴う血管系合併症発症群と非発症群を比較することで、生検後血管合併症のリスク因子を特定し、その結果を広く移植関係者へ報告し、移植臨床へ還元することを目的とする。	年齢、性別、腎不全の原疾患、腎移植から生検までの期間、生検から出血性合併症検出までの期間、出血性合併症検出から治療までの期間、尿・採血結果(尿検査、腎機能)、拒絶反応歴、免疫抑制薬を含めた内服薬、腎生検関連情報(穿刺回数、検体の皮質・髓質比、生検結果)	500例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5297号	膵頭十二指腸切除における幽門輪の意義に関する後方視的観察研究 —日本肝胆膵外科学会プロジェクト研究—	2021年5月24日	2021年12月31日	外科学 (消化器・一般外科) 小林 慎二郎	膵頭部領域疾患 2015年1月1日～ 2017年12月31日	膵頭部領域の腫瘍に対して施行される膵頭切除では、術後の消化吸收機能を温存する目的で幽門輪温存膵頭十二指腸切除が広く行われているが、術後合併症である胃排遅延の危険因子となる可能性が示唆されている。本研究において幽門輪温存と幽門輪切除の2群間の胃内容排出遅延の発症の比較を行い、膵頭部切除における幽門輪切除の短期・長期の有用性が明らかとすることにより、幽門輪温存、または切除に関する新たな知見、および術後胃内容排出遅延の危険因子を見出すことを目的とする。	診療記録	100例 (全体:3000例)	大学・大学病院
第5300号	卵巣癌患者におけるサルコペニアと術後合併症に関する後方視的研究	2021年5月27日	2022年3月31日	産婦人科 今井 悠	卵巣癌 2015年1月1日～ 2015年12月31日	サルコペニアとは、筋肉量の低下と筋力の低下または身体機能の低下を伴う病態である。サルコペニアは生命予後に影響し、特に消化器外科領域においては、術前サルコペニアは予後不良因子であるという報告がある。また、外科手術と同様に化学療法に関しても、がん患者でサルコペニア状態にある人は、化学療法の副作用が増加するという報告が複数ある。化学療法の副作用増加は、Relative Dose Intensity(RDI)低下に関与し、十分な治療効果が得ていない可能性が指摘され、それは、OSやPFS不良に関連していると考えられている。卵巣がんの場合、標準療法は侵襲性の高い外科手術と約半年にわたる全身化学療法であるので、治療前のサルコペニアの状態評価は治療法選択または予後予測に極めて重要と考えられる。しかし、婦人科がんにおけるサルコペニアの意義の検討はされていない。本研究の目的は、卵巣がん治療におけるサルコペニアの影響について、特にCTから評価できる筋肉量/筋肉の質の低下を用いて後方視的な調査研究を行うことである。サルコペニア評価法(絶対量か変化量か)による治療前評価の確立は、治療法選択または予後予測に極めて重要と考えられる。	腹部CT、TC療法の毒性やRDI、TTF、PMI、筋肉の脂肪化IMAC	50例 (全体:600-700例)	大学・大学病院
第5301号	経左橈骨動脈的脳血管内治療の有用性に関する検討	2021年5月27日	2024年12月31日	脳神経外科学 伊藤 英道	脳動脈瘤や頸動脈狭窄症などの頭頸部動脈疾患 2021年1月1日～ 2021年4月13日	脳血管内治療は大腿動脈アプローチが標準的に選択されている。最近ではカテーテルの改良により経上腕、橈骨動脈的にも行われるようになってきた。われわれもその非侵襲性より積極的に橈骨動脈アプローチを選択しており、中でも左橈骨動脈アプローチは右利きの患者にとって非常に満足度の高いものである。左橈骨動脈アプローチの治療効果について後方視的に研究する。	患者プロフィール(年齢や性別、身長、体重、併存疾患の有無など)や疾患、デバイスや手術時間を加えた治療内容と結果、穿刺部の評価(血種や腫脹の有無)	20例	大学・大学病院
第5305号	前立腺全摘除術を施行した患者における治療成績の検討	2021年6月22日	2026年3月31日	腎泌尿器外科学 中澤 龍斗		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5305.pdf			大学・大学病院、 西部病院、多摩病院
第5309号	住民の健康改善に資するエビデンス創出を目指した多地域コホート研究: LIFE Study	2021年6月17日	2024年3月31日	小児科学 勝田 友博		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5309.pdf			大学
第5317号	脳卒中患者における上着衣能力の予後予測に関する研究	2021年6月24日	2024年3月31日	リハビリテーション部 【西部病院】 佐々木 祥太郎	脳卒中 2013年9月1日～ 2016年4月1日	脳卒中患者は身体、認知機能の障害により高い頻度で着衣障害を呈する。着衣障害に対する効果的なりハビリテーションを行う上では、予後予測が必須となる。本研究は脳卒中患者を対象に上着衣能力の予後予測の可否を明らかにすることを目的とする。	年齢、性別、診断名、意識レベル、筋力、握力、ピンチ力、上肢麻痺の程度、感覚評価、認知機能評価(注意機能評価など)、着衣所要時間、着衣動作、自立度(FIM)	250例	大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5318号	外傷時に発生する頭蓋骨骨折の再現シミュレーション	2021年7月2日	2022年3月31日	脳神経外科 【多摩病院】 大塩 恒太郎	疾病、外傷などの影響のない正常頭蓋骨を所有する症例 2016年1月1日～ 2016年6月30日	外力により生じる、頭蓋骨骨折線の発生メカニズムについては必ずしも明らかとはなっていない。本研究は、頭蓋骨の断層構造や縫合部、頭蓋内容を再現した有限要素モデルを用いて、頭部骨折パターンと荷重条件との関係、骨折発生について力学的視点からの解明を目的とする。本研究では、破壊工学分野で利用されている破壊ひずみ線図を頭蓋の材料構成に適用し、さらに任意の部位での要素分割が可能な拡張有限要素法を用いることで、脳頭蓋における骨折線を再現する。以下の課題を実現することで、研究目的の達成を目指す。Ⅰ 縫合部を再現した頭蓋骨有限要素モデルの構築 Ⅱ 破壊ひずみ線図と拡張有限要素法の頭蓋骨モデルへの適応 Ⅲ 複数荷重条件による骨折パターンの再現	頭蓋骨のCT情報	1例	多摩病院
第5322号	オールジャパン拡張型心筋症ゲノムコホート研究によるゲノム医療の発展(オールジャパンDCMゲノムコホート)	2023年3月15日	2030年3月31日	薬理学 木田 圭亮		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5322.pdf			大学・大学病院
第5328号	進行固形悪性腫瘍患者に対するAIマルチオミックスを活用したバイオマーカー開発の多施設共同研究(SCRUM-Japan MONSTAR-SCREEN-2)	2021年6月25日	2027年3月31日	臨床腫瘍学 砂川 優		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5328.pdf			大学・大学病院
第5330号	本邦における先天性門脈欠損症・門脈大循環短絡症患者症例登録による疫学研究	2021年7月1日	2025年3月31日	外科学(小児外科) 古田 繁行		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5330.pdf			大学・大学病院
第5331号	日本におけるレーベル遺伝子性視神経症の患者データベース作成	2021年9月2日	2031年3月31日	内科学 (脳神経内科) 秋山 久尚		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5331.pdf			大学・大学病院
第5332号	2021年に外科治療を施行された肺癌症例のデータベース研究	2021年7月6日	2029年12月31日	外科学 (呼吸器外科) 佐治 久		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5332.pdf			大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5338号 Shared decision makingが透析モダリティーや計画的な透析導入に与える影響	2021年6月30日	2022年12月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 櫻田 勉	当院で透析を導入した患者 2013年5月1日～ 2021年5月1日	透析療法の選択においてShared decision makingが与える影響については本邦で十分に明らかとなっていない。また、Shared decision makingが計画的な透析導入を促進することができるかどうかについても明確になっていない。そこで、我々はShared decision makingが透析モダリティーや計画的な透析導入に与える影響を解析する研究を立案した。	年齢、性別、原疾患、糖尿病の有無、喫煙の有無、CKD stage、BMI、血液生化学検査所見(Crから算出されるeGFR、Hb、Albumin、BUN、Cr、Ca、iP、iPTH、CRP)、既存の心血管疾患、悪性腫瘍の有無、加入されている社会保険(生活保護受給、国民健康保険)、腎臓内科受診歴、独居あるいは同居者あり、ADL	200例	大学・大学病院
第5345号 心房細動の診療・予後調査のための多施設共同レジストリ研究	2021年10月1日	2029年3月31日	内科学 (循環器内科) 栗田 真吾		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5345.pdf			大学・大学病院
第5346号 未治療進行または再発非小細胞肺癌を対象としたニボルマブ+イピリ化学療法併用療法の日本における治療実態および有効性と安全性に関する観察研究(LIGHT-NING)	2021年7月26日	2023年11月30日	内科学 (呼吸器内科) 半田 寛		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5346.pdf			大学病院
第5351号 泌尿器科癌手術の周術期におけるVTEのリスク解析	2021年8月7日	2026年3月31日	泌尿器外科学 早川 望		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5351.pdf			大学病院
第5352号 腎盂・尿管癌、膀胱癌における薬物治療の効果予測および予後予測因子の検討	2021年8月10日	2026年3月31日	泌尿器外科学 早川 望		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5352.pdf			大学・大学病院、西部病院、多摩病院
第5357号 播種性血管内凝固症候群を合併した急性胆管炎に対する早期内視鏡的経乳頭胆管ドレナージの治療成績に関する検討	2021年7月8日	2021年12月31日	内科学 (消化器・肝臓内科) 中原 一有	急性胆管炎に合併した播種性血管内凝固症候群 2006年4月1日～ 2019年3月31日	急性胆管炎はしばしば播種性血管内凝固症候群(DIC)を合併し、適切な早期治療を行わないと致命的となりえる。DICの治療は、DICの原疾患に対するコントロールが最も重要とされており、急性胆管炎に合併したDICにおいては、急性胆管炎のコントロールが極めて重要となる。急性胆管炎の治療の第一選択は、内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)による内視鏡的経乳頭胆管ドレナージ(EBD)であるが、DICを合併した急性胆管炎に対するEBDの治療成績についてはまとまった報告がないのが現状である。また、EBDを施行する際には、内瘻ドレナージ(EBS)にすべきか外瘻ドレナージ(ENBD)にすべきかなどについても明らかでないエビデンスはない。そこで今回われわれは、DICを合併した急性胆管炎に対する早期EBDの治療成績を検証し、さらに、ドレナージ法別(EBS vs ENBD)の治療成績を比較検討する。本研究により、DICを合併した急性胆管炎に対する早期EBDの有用性、安全性、適切なドレナージ法を明らかにすることを目的とする。	年齢、性別、胆管炎原因疾患、胆管炎重症度、APACHE IIスコア、DICスコア、SIRSスコア、血液検査値、バイタルサイン、血液検査値、SIRSスコア等の推移、ERCPおよびEBDの処置内容、EBD以外の治療内容、ERCP施行回数、急性胆管炎改善率、DIC離脱率、在院死亡率、入院期間、ERCPおよびEBD関連有害事象	60例	大学・大学病院
第5360号 急性期再開通療法後に外減圧が必要になる予測因子の観察研究	2021年7月16日	2024年5月31日	脳神経外科 【東横病院】 小野 元	急性期再開通治療術を施行した前方循環の急性期脳梗塞 2013年1月1日～ 2020年2月1日	急性期主幹動脈閉塞にて未治療であれば死亡もしくは予後不良となる症例に対し、急性期再開通治療の有効性はすでに多くの報告がある。しかし再開通治療実施後も改善がなく外減圧術の追加を余儀なくされる予後不良例もあり、単一施設における急性期再開通療法症例後に対して外減圧治療への予測可能因子を検討することを目的とした。	年齢、性、危険因子、脳梗塞の特徴(臨床病型、閉塞血管、入院 NIHSS)、治療内容(tPA 静注療法、併用治療)、治療結果(再開通率、治療合併症、治療時間)	120例	東横病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5366号	婦人科悪性腫瘍におけるリンパ節転移の術前評価に対するFDG-PET/CTの有用性	2021年10月1日	2022年12月31日	産婦人科学 八幡 将喜	子宮体癌、子宮頸癌、 卵巣癌 2014年1月1日～ 2021年3月19日	婦人科悪性腫瘍初回治療前のリンパ節転移の有無を判断するためのFDG-PET/CT(以下PETCT)の有用性について、知見を得る。	集積の有無、数、集積部位、SUVmax値、腫大リンパ節の大きさ、場所、形状、個数、年齢、疾患名、組織型、進行期、治療内容、転帰	245例	大学・大学病院
第5367号	新型コロナウイルス感染症におけるワクチン効果の疫学研究	2021年7月15日	2028年6月30日	内科学 (総合診療内科) 【多摩病院】 本橋 伊織		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5367.pdf			多摩病院
第5372号	本邦で診断された自己炎症性疾患の臨床情報に関する全国調査	2021年7月15日	2025年3月31日	皮膚科学 門野 岳史		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5372.pdf			大学・大学病院
第5375号	腎盂・尿管癌患者における予後解析	2021年8月3日	2028年3月31日	腎尿器外科学 早川 望		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5375.pdf			大学病院、 西部病院、多摩病院
第5382号	乳頭温存皮下乳腺全摘と一次乳房再建の整容性と機能を調査する多施設共同研究(乳癌学会班研究)	2021年8月27日	2025年3月31日	外科学 (乳腺・内分泌外科) 【多摩病院】 志茂 彩華	乳がん 2000年01月01日～ 2020年12月31日	乳がんに対する乳頭温存皮下乳腺全摘術(Nipple-sparing mastectomy; 以下NSM)は、乳頭乳輪(Nipple-areolar complex; NAC)と乳房の皮膚を温存することで高い整容性を得るための術式である。適応は腫瘍が乳頭から十分離れている症例、術中迅速病理検査で乳がんの露出を認めないものに限定されるが、生存率、局所再発率、遠隔転移に関して、乳頭乳輪を含めた乳房全摘術と比較しても有意差が認められず、再建術と合わせて、ここ20年ほどで普及してきた術式である。ただし、温存したNACの血流不全や乳頭上方偏位、知覚低下などのリスクがあり、これらの合併症は整容性やQOLを損なう要因となる。NSMの短期成績は多く報告されているが、長期成績の報告はまだ少ない。整容性および機能面の問題点として、乳頭位置偏位と乳頭乳輪部知覚回復が挙げられるが、単施設での小規模な研究が存在するのみである。今回我々は多施設共同・後向き観察研究を行い、NSMにおける乳頭偏位の要因の解析および長期(5年以上)の知覚回復の評価を行うこととした。	患者基本情報(手術時年齢、最終診察日、人種、身長、体重)、乳がん治療に関する診療情報(乳がん手術日、ステージ、再建術式、切開線の位置、初回手術で乳頭引き下げ処置の有無、乳房の大きさ、放射線治療の有無、化学療法の有無、内分泌療法の有無、健側修正の有無、手術合併症)、写真(術前と術後6ヶ月～2年)	80例 (全体:500例)	大学・大学病院
第5383号	心アミロイドーシスの画像診断における国際共同研究	2021年10月27日	2025年7月1日	内科学 (循環器内科) 土井 駿一		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5383.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5391号 血液培養から検出された Klebsiella variicola の臨床 的特徴と微生物学的特徴	2021年9月28日	2028年3月31日	臨床検査部 【西部病院】 大野 達也	対象期間中に血液培養 から Klebsiella pneumoniae complexを 検出した患者 2018年01月01日～ 2021年06月30日	Klebsiella pneumoniae complex でヒトから分離される 主な菌種は K. pneumoniae、Klebsiella variicola、 Klebsiella quasipneumoniae である。従来の生化学的 性状に基づく同定検査ではこれらの菌種を鑑別するこ とは困難であるが、質量分析器の菌種ライブラリ更新 によりK. variicola の鑑別が可能となった。国内での K. variicola 菌血症例とその他の K. pneumoniae complex 菌血症例の臨床的特徴を比較した報告は少ない。今 回、K. variicola 菌血症例の臨床的特徴と微生物学的 特徴を明らかにし、その他の K. pneumoniae complex 菌血症例と比較するために当院および系列病院で経 験した症例を後方視的に解析、検討する。	電子診療録で年齢、性別、市中発症群と院内発症群、併存 疾患 (Charlson comorbidity index の項目)、感染源、抗菌 薬投与歴、重症度評価 (SOFA score)、デバイスの有無、 持続菌血症の有無、複数菌感染の有無、30日死亡の情報 を収集し解析、検討する。入院から48時間以上経過した後 に発症した症例は院内発症群とする。感染源と疑った検体 から同一菌種を検出した場合、または臨床症状、検査、画 像所見から感染症医が感染源と判断した場合に感染源と 特定する。播種性感染症などで複数感染源を認めた場合 は各カテゴリーでカウントする。 微生物学的検査: 菌株はスキムミルク培地で冷凍保存して いた菌株を、質量分析計 MALDI Biotyper (ブルカー・ダ ルトニクス) を用いて MALDI バイオタイプリファレンスライ ブラリ (Version 9.0.0.0) で同定する。薬剤感受性検査とし て、MIC値の測定はマイクロスキヤン WalkAway (ベックマ ン・コールター) を用いて、Neg Combo EN3J Panel および Neg MIC EN2J Panel で実施する。ディスク拡散法による阻 止円形の測定はミューラーヒントン II 寒天培地 (日本ベク ンディッキンソン) と各薬剤のセンシディスク (日本ベク ンディッキンソン) およびKBディスク (栄研化学) を用いて実施 する。対象薬剤はampicillin、amoxicillin、piperacillin、 cefazolin、cefuroxime、sulbactam/ampicillin、 tazobactam/piperacillin、clavulanate/amoxicillinとする。そ の他検査としてアドニトール分解性、ストリングテストを実施 する。	252例	大学病院、西部病院
第5392号 デジタルトモシンセシスガイド 下吸引式組織生検の有用性 と適応の検討	2021年10月25日	2024年12月31日	外科学 (乳腺・内分泌外科) 黒田 貴子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5392.pdf		大学・大学病院、プレスト	
第5393号 安定型冠動脈疾患を合併す る非弁膜症性心房細動患者 におけるリバーロキサバン単 剤療法に関する臨床研究の 副テーマ研究	2021年10月6日	2026年7月31日	内科学 (循環器内科) 【多摩病院】 樋熊 拓未		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5393.pdf		大学病院、多摩病院	
第5402号 腎移植レシピエントにおける タクロリムスのトラフ血中濃度 とAUCの関係に対する制酸 剤の影響に関する後ろ向き 研究	2021年9月15日	2026年7月31日	薬剤部 小林 綾子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5402.pdf		大学・大学病院	
第5404号 糖尿病性心筋症の心エコー 図診断に関する他施設共同 研究 EDiCa study (Echocardiographic Diagnosis of Diabetic Cardiomyopathy)	2021年10月1日	2024年3月31日	臨床検査部 斧研 洋幸		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5404.pdf		大学・大学病院	

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5406号	患者報告アウトカムや全国がん登録と連携した、思春期・若年がん患者等を対象とした日本がん・生殖医療登録システムによる治療成績解析	2021年12月7日	2026年3月31日	産婦人科学 鈴木 直		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5406.pdf			大学・大学病院
第5409号	RCAC尺度を用いたがん後の生殖に対する懸念と支援ニーズ	2021年10月14日	2027年12月31日	乳腺・内分泌外科学 本吉 愛		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5409.pdf			大学・大学病院、プレスト
第5410号	消化器内科での診療実績と今後の課題の検討のための医学系研究	2021年10月12日	2026年6月30日	内科学 (消化器・肝臓内科) 【東横病院】 落合 康利		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5410.pdf			東横病院
第5416号	レジオネラ症診断における尿中抗原検査と臨床的特徴に関する全国サーベイランス研究-他施設共同前向き観察研究-	2021年12月17日	2023年10月31日	感染症学 國島 広之		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5416.pdf			大学・大学病院
第5417号	COVID-19 肺炎解析ソフトウェアの性能を評価する多施設共同、観察研究	2021年11月17日	2024年12月31日	救急医学 松本 純一		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5417.pdf			大学・大学病院
第5422号	川崎市北部における自殺未遂者等の支援のための後方視的観察研究	2021年11月16日	2024年3月31日	神経精神科学 古茶 大樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5422.pdf			大学・大学病院
第5423号	再発婦人科悪性腫瘍の臨床学的特徴、再発診断、予後についての検討	2021年10月13日	2021年12月31日	産婦人科学 鈴木 直		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5423.pdf			大学・大学病院
第5424号	妊娠糖尿病(GDM)の診断時期における臨床的背景の違い	2021年10月8日	2025年3月31日	代謝・内分泌内科 中川 朋子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5424.pdf			大学・大学病院
第5440号	日本人小児全身性エリテマトーデス患者における全身性エリテマトーデス分類基準の妥当性に関する検討	2023年2月14日	2023年3月31日	内科学(リ・膠・ア内科) 森 雅亮		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5440.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5444号	進行・再発膀胱がんに対し初回化学療法として(modified) FOLFIRINOX (mFFX)療法と GEM+nab-paclitaxel (nab-PTX) 療法を施行中に発症した薬剤性肺障害に関する多施設共同後ろ向き観察研究	2023年9月28日	2026年12月31日	臨床腫瘍学 梅本 久美子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5444.pdf			大学・大学病院
第5451号	早産児の呼吸器疾患の転帰に関する後ろ視的検討	2021年11月2日	2025年3月31日	小児科学 北東 功		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5451.pdf			大学・大学病院、西部病院
第5454号	新世代治療導入後の未治療NK/T細胞リンパ腫における治療実態とその推移および予後に関する国内多機関共同調査研究(NKEA-Next project)	2022年6月2日	2024年3月31日	内科学 (血液・腫瘍内科) 富田 直人		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5454.pdf			大学病院
第5456号	局所進行胃癌の周術期におけるTAS-118/Oxaliplatin療法及びTAS-118療法の忍容性確認試験(略称:APOLLO-11試験);長期follow upにおける生存解析のための観察研究	2021年11月17日	2024年10月31日	臨床腫瘍学 砂川 優		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5456.pdf			大学・大学病院
第5457号	高難度肝胆膵外科手術の安全性を高めるための日本肝胆膵外科学会の取り組みに対する検証(多施設共同後ろ視的研究)	2021年11月8日	2022年12月31日	外科学 (消化器・一般外科) 大坪 毅人		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5457.pdf			大学・大学病院
第5458号	コロナ禍における感染性眼内炎の発生率や起炎菌の変化、病態及び視力予後に関する多施設後ろ向き観察研究	2021年12月8日	2024年12月31日	眼科学 高木 均		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5458.pdf			大学・大学病院
第5462号	腹膜透析患者におけるトルバプタンの反応性に関する多施設共同後ろ向き観察研究	2021年11月10日	2021年12月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 山田 将平		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5462.pdf			大学・大学病院、西部病院、多摩病院
第5463号	血液培養のみの採取が抗菌薬治療へ与える影響	2021年11月19日	2022年12月31日	薬剤部 【西部病院】 中菌 健一		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5463.pdf			西部病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5464号	AI技術を用いた画像補正による、小児を対象とした単純写真における画質の向上についての後方視的検討	2021年11月26日	2022年9月30日	放射線医学 大出 創			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5464.pdf		大学病院
第5466号	IgA腎症の腎病理所見と予後の関連に関する後ろ向き研究	2021年10月28日	2027年3月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 白井 小百合			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5466.pdf		大学・大学病院
第5469号	化膿性脊椎炎および脊椎術後感染症における早期診断と予後予測についての研究	2021年11月18日	2024年9月30日	整形外科 吉田 篤弘	化膿性脊椎炎、脊椎術後感染症、化膿性脊椎炎疑い、脊椎術後感染症疑い 2016年04月01日～ 2021年09月30日	化膿性脊椎炎および脊椎術後感染症の早期診断と予後予測を確立することを目的とする。	年齢、性別、疾患名、身長、体重、併存症、血液検査、尿検査、血液培養検査、尿培養検査、膿瘍生検検査、X線の骨破壊度および読影所見、CTの骨破壊度および読影所見、MRIの炎症度および読影所見、抗菌薬と外科的治療経過	40例	大学・大学病院
第5470号	椎弓根スクリュー設置の正確性に関する研究	2021年11月15日	2024年9月30日	整形外科 赤澤 努	脊柱変形、脊椎変性疾患、脊椎損傷 2016年10月01日～ 2021年09月22日	近年、脊椎固定術において、脊椎手術支援ロボットを用いて椎弓根スクリュー設置が行われている。本研究の目的は、脊椎手術支援ロボットを用いた場合と使用しなかった場合の椎弓根スクリュー設置の正確性を評価することである。	年齢、性別、疾患名、身長、体重、手術前X線画像での側弯度、CTでの椎弓根の形状、手術時間、出血量。手術後X線での側弯度、手術後CTでのスクリューの逸脱度。手術後の神経障害の有無、再手術の有無	43例	大学・大学病院
第5471号	当院における心臓リハビリテーションの実態調査と評価	2021年11月15日	2027年3月31日	内科学(循環器内科) 土井 駿一			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5471.pdf		大学・大学病院
第5478号	脊椎インスウルメンテーション手術の治療成績	2022年3月1日	2023年10月1日	整形外科 鳥居 良昭			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5478.pdf		大学・大学病院
第5487号	疾患レジストリを活用した原発性アルドステロン症の診療の質向上に資するエビデンス構築	2021年12月24日	2032年3月31日	代謝・内分泌内科学 曾根 正勝			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5487.pdf		大学・大学病院、西部病院
第5489号	皮膚悪性腫瘍における新規血清バイオマーカーの探索	2022年2月3日	2026年3月31日	皮膚科学 宮垣 朝光			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5489.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5491号	心房性機能性僧帽弁逆流の疫学および治療の意義に関する多施設後方視的観察研究 (REal-world obserVational study for invEstigAting the prevaLence and therapeutic options for Atrial Functional Mitral Regurgitation (REVEAL-AFMR))	2021年11月30日	2024年3月31日	内科学(循環器内科) 佐藤 如雄		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5491.pdf			大学病院
第5499号	薬剤師による早期警告システム活用の薬物治療への介入効果の検証	2021年12月20日	2026年12月31日	薬剤部 【西部病院】 中藺 健一		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5499.pdf			西部病院
第5501号	日本の医療機関における針刺し切創事例の収集と予防策の検討	2021年12月10日	2023年3月31日	感染症学 國島 広之		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5501.pdf			大学・大学病院
第5503号	早発卵巣不全患者の染色体異常症例の解析	2021年12月22日	2026年10月31日	産婦人科学 鈴木 由妃		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5503.pdf			大学・大学病院
第5507号	精神保健福祉法のもとでの身体合併症治療	2022年1月24日	2023年11月30日	神経精神科学 袖長 光知穂		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5507.pdf			大学・大学病院
第5513号	切除不能正岡 III/IV 期・再発胸腺腫に対する治療の実態・有効性に関する観察研究-NEJ 023B -	2022年7月7日	2024年12月31日	内科学(呼吸器内科) 峯下 昌道		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5513.pdf			大学・大学病院
第5519号	大型血管炎の外科治療および周術期管理に関するレジストリ研究 LVV surgical registry	2022年2月3日	2026年3月31日	リウマチ・膠原病・アレルギー内科 永瀨 裕子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5519.pdf			大学・大学病院
第5520号	重症COVID-19患者における合併症の評価	2022年1月13日	2026年3月31日	集中治療 吉田 英樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5520.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5522号	アグレッシブATLにおける予後因子の検討と個別化医療の確立を目的とした全国一元化レジストリおよびバイオレポジトリの構築	2022年2月22日	2026年3月31日	内科学 (脳神経内科) 山野 嘉久		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5522.pdf			大学・大学病院
第5530号	病院における管理栄養士の配置基準に関する政策立案に資する調査研究	2022年2月10日	2025年3月31日	栄養部 伊藤 彩香		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5530.pdf			大学病院、西部病院
第5531号	患者レジストリを活用した沖縄型神経原性筋萎縮症/HMSN-Pのエビデンス創出研究	2022年3月1日	永年	脳神経内科学 山野 嘉久 他1名		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5531.pdf			大学・大学病院
第5535号	日本における中等度以上の三尖弁閉鎖不全症の多施設レジストリー登録患者における後ろ向き長期予後調査	2022年2月28日	2026年5月31日	内科学(循環器内科) 栗田 真吾		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5535.pdf			大学病院
第5536号	気道狭窄に対するインターベンション治療前後の評価についての検討	2022年3月1日	2025年3月31日	呼吸器内科学 半田 寛		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5536.pdf			大学・大学病院
第5537号	慢性腎臓病を合併した慢性心不全患者の外来での腎機能と電解質の多施設共同後ろ向き観察研究	2022年3月7日	2025年3月31日	薬理学 木田 圭亮		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5537.pdf			大学・大学病院
第5543号	がん遺伝子パネル検査の診療実態 および 受検患者の体験に関する調査研究	2022年4月9日	2024年9月30日	ゲノム医療推進センター 山野 嘉久		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5543.pdf			大学・大学病院
第5544号	日本における、重症・中等症小児COVID-19登録及びMIS-C全国調査共同研究	2023年2月1日	2035年12月31日	小児科学 清水 直樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5544.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5546号	救急搬送された高齢者におけるCode Statusの変化についての検証	2022年2月28日	2025年3月31日	救急総合診療 森澤 健一郎			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5546.pdf		大学・大学病院
第5547号	当院血液がん患者に対するリハビリテーション効果と身体機能、精神機能、QOLの検討	2022年3月3日	2025年3月31日	リハビリテーション部 宮内 貴之			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5547.pdf		西部病院
第5551号	右心機能障害患者の予後に関する後向き臨床研究 Retrospective Registry of Prognosis in Patients with Right Ventricular Dysfunction	2022年5月10日	2027年3月31日	薬理学 木田 圭亮			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5551.pdf		大学・大学病院
第5553号	固形がん患者及び血縁者における生殖細胞系列遺伝子変異同定の有用性を評価する観察研究 (BRANCH study) Blood and tumor Analysis-driveN Confirmation of Hereditary cancer syndrome	2022年3月29日	2031年3月31日	臨床腫瘍学 砂川 優			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5553.pdf		大学・大学病院
第5565号	持続的血液浄化療法に関する多機関共同の後向き観察研究	2022年5月23日	2025年3月31日	救急医学 藤谷 茂樹			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5565.pdf		大学・大学病院
第5566号	当施設における小児陰唇癒合に対する治療	2022年2月28日	2022年12月31日	小児外科 田中 邦英			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5566.pdf		大学・大学病院
第5567号	脊椎手術のラーニングカーブについての研究	2022年2月28日	2024年12月31日	整形外科 赤澤 努			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5567.pdf		大学・大学病院
第5573号	がん診療におけるレジストリを活用した地域医療連携体制構築に関する研究	2022年5月19日	2024年12月31日	臨床腫瘍学 砂川 優			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5573.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5574号	遠心条件の異なるLA検体と、交差混合試験で用いる正常血漿がLA検査結果に与える影響の検討	2022年5月25日	2025年3月31日	臨床検査医学 信岡 祐彦		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5574.pdf			大学・大学病院
第5576号	ポリドカノールを用いた症候性静脈奇形に対する硬化療法 の臨床成績	2022年3月16日	2025年3月31日	画像診断・IVR 和田 慎司		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5576.pdf			大学・大学病院
第5577号	特発性間質性肺炎との比較 によるびまん性肺骨化症の 成因・病態解析	2022年6月9日	2026年12月31日	内科学(呼吸器内科) 峯下 昌道		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5577.pdf			大学・大学病院
第5587号	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)を対象とした、 PCR検査法と血清抗体価の 比較による疫学調査	2022年3月3日	2025年3月31日	内科学 (総合診療内科) 土田 知也		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5587.pdf			大学・大学病院
第5589号	HER2陽性乳癌脳転移におけ る治療選択及び予後の検討	2022年3月30日	2025年3月31日	外科学 (乳腺・内分泌外科) 喜多島 美奈		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5589.pdf			大学・大学病院
第5594号	イダルシズマブによる中和療 法を受けた急性硬膜下血腫 例の後方視的観察研究	2022年8月4日	2022年12月31日	脳神経外科学 【多摩病院】 大塩 恒太郎		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5594.pdf			多摩病院
第5595号	未治療進行又は再発胃がん を対象としたニボルマブ＋化 学療法の実臨床下における 有効性と安全性に関する観 察研究	2022年5月16日	2026年9月30日	臨床腫瘍学 新井 裕之		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5595.pdf			大学・大学病院
第5596号	肺動静脈瘻に対する塞栓術 の臨床的評価と画像解析	2022年3月26日	2025年3月31日	画像診断・IVR 和田 慎司		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5596.pdf			大学・大学病院
第5612号	EGFRを除くドライバー遺伝子 変異/転座陽性肺癌における 免疫チェックポイント阻害薬 治療の実態調査(NEJ 059)	2023年2月1日	2025年6月30日	呼吸器内科学 森川 慶		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5612.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5617号	膵頭十二指腸切除術における術前筋肉量・栄養状態、手術手技および周術期管理と術後短期・長期成績の関係	2022年5月13日	2023年12月1日	消化器・一般外科 小林 慎二郎			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5617.pdf		大学・大学病院
第5621号	難治性副腎疾患レジストリを活用した難治性副腎疾患の診療の質向上と病態解明に関する研究	2022年4月18日	2025年3月31日	代謝・内分泌内科 方波見 卓行			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5621.pdf		大学・大学病院、西部病院
第5625号	COVID-19感染症・肺炎に対する人工呼吸管理・Extracorporeal membrane oxygenation (ECMO)施行症例の臨床的特徴と予後、特にECMO施行方法による違いについての調査	2022年4月26日	2026年12月31日	救急総合診療 吉田 徹			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5625.pdf		大学・大学病院
第5626号	制限輸血が与える大腸憩室出血の入院後転機についての検討	2022年4月27日	2024年3月31日	消化器・肝臓内科 小松 拓実			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5626.pdf		大学・大学病院、西部病院
第5627号	加湿器肺に関する全国実態調査(二次調査)	2022年4月9日	2023年3月31日	内科学(呼吸器内科) 【西部病院】 駒瀬 裕子			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5627.pdf		西部病院
第5631号	脳卒中患者における経管栄養から経口摂取への移行に伴う栄養量の変化とアウトカムに関するデータベース研究	2022年4月26日	2025年3月31日	脳神経外科一般 小野寺 英孝			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5631.pdf		大学・大学病院、東横病院、西部病院、多摩病院
第5633号	膵体尾部切除術における手術手技および周術期管理と合併症発生の関係	2022年4月20日	2023年12月1日	消化器・一般外科 小林 慎二郎			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5633.pdf		大学・大学病院
第5635号	本邦の常染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKD)患者における脳動脈瘤の発症とスクリーニングの実態調査	2022年4月13日	2023年3月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 市川 大介			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5635.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5636号	心臓外科術後患者の身体活動量に影響を与える因子や予後に対する後方視的観察研究	2022年5月16日	2027年3月31日	リハビリテーションセンター 坂井 健太			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5636.pdf		大学・大学病院
第5637号	胆道閉鎖症登録事業-胆道閉鎖症の年次登録と予後追跡調査による疫学研究-	2022年9月21日	2027年1月31日	外科学(小児外科) 古田 繁行			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5637.pdf		大学・大学病院
第5639号	人工呼吸器患者への多機能端末を用いたせん妄発症率軽減を促進する看護介入	2022年9月9日	2023年3月31日	看護部 野坂 優			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5639.pdf		大学病院
第5645号	PD患者におけるPD+HD併用開始および終了時期が臨床結果に与える影響 ～多施設アンケート形式による臨床検討～	2022年4月14日	2023年3月31日	腎臓・高血圧内科 櫻田 勉			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5645.pdf		大学・大学病院
第5650号	結腸癌に対する体腔内吻合の短期・長期成績に関する後向き・前向きコホート研究	2023年3月4日	2026年12月31日	外科学 (消化器・一般外科) 牧角 良二			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5650.pdf		大学・大学病院、西部病院
第5653号	日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会 婦人科悪性腫瘍登録事業及び登録情報に基づく研究	2022年6月25日	2030年12月31日	産婦人科学 鈴木 直			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5653.pdf		大学・大学病院
第5654号	腎生検でIgG線状沈着を示す症例のIgGサブクラスの解析	2022年5月6日	2025年3月31日	腎臓・高血圧内科 市川 大介			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5654.pdf		大学・大学病院
第5656号	「CyberOncology®」を活用した切除不能進行・再発胃がんの治療実態に関するリアルワールドデータベース構築のためのfeasibility study	2022年7月13日	2024年3月31日	臨床腫瘍学 砂川 優			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5656.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5660号	転移性膵癌に対する2次治療におけるナノリポソーマルイリノテカン/5-FU/ロイコボリン併用療法とS-1単剤療法の比較:傾向スコアマッチングを用いた多施設共同後ろ向きコホート研究(JON2109-P)	2022年7月26日	2024年4月21日	臨床腫瘍学 梅本 久美子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5660.pdf			大学・大学病院
第5661号	急性胆嚢炎に対する治療方針および胆嚢摘出の施行時期に関する検討	2022年5月16日	2023年12月1日	消化器・一般外科 小林 慎二郎		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5661.pdf			大学・大学病院
第5665号	心不全患者に対するアンギオテンシン受容体・ネプリライシン阻害薬に関するリアルワールドエビデンスReal-World Evidence of Angiotensin Receptor-Nepilysin Inhibitor in Patients with Heart Failure (REVIEW-HF)	2022年5月19日	2023年12月31日	薬理学 木田 圭亮		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5665.pdf			大学・大学病院
第5666号	アトピー性皮膚炎の病態に関する病理学的解析	2022年5月18日	2026年3月31日	皮膚科学 宮垣 朝光		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5666.pdf			大学・大学病院
第5670号	大腸癌手術における新規癒着防止剤テナリーフ®の有効性	2022年5月24日	2022年12月31日	消化器・一般外科 根岸 宏行		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5670.pdf			西部病院
第5675号	機械学習を用いた人工呼吸器の離脱プロトコルと設定アラームの予測モデルの検討	2022年5月13日	2023年3月31日	クリニカルエンジニア部 五十嵐 義浩		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5675.pdf			大学・大学病院
第5676号	循環器疾患診療実態調査(JROAD)のデータベースによる心臓サルコイドーシスの診療実態調査と二次調査に基づく診断・治療プロトコルの策定に関する研究	2022年9月24日	2025年3月31日	内科学(循環器内科) 明石 嘉浩		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5676.pdf			大学・大学病院
第5682号	小児腹部外傷における諸因子	2022年12月5日	2023年12月31日	外科学(小児外科) 川口 皓平		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5682.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5684号	切除不能または再発胆道癌患者に対する二次以降の薬物療法としてのFOLFOX療法の有効性及び安全性の検討(胆道癌FOLFOX療法: JON-2107B)	2022年8月30日	2024年3月31日	臨床腫瘍学 梅本 久美子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5684.pdf			大学・大学病院
第5688号	膝蓋骨脱臼の先天性素因と保存療法, 手術療法の治療成績	2022年7月1日	2025年1月1日	整形外科 植原 健二		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5688.pdf			大学・大学病院
第5689号	中高年齢者膝関節半月板損傷の診断と治療成績, 変形性膝関節症の発症予防効果の検討	2022年7月28日	2025年12月31日	整形外科 植原 健二		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5689.pdf			大学・大学病院
第5690号	手術支援ロボットを用いた人工膝関節置換術におけるインプラント設置の比較検討	2022年5月25日	2023年3月31日	整形外科 植原 健二		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5690.pdf			大学・大学病院
第5691号	膝関節骨切り術の臨床成績評価	2022年7月28日	2025年3月31日	整形外科 植原 健二		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5691.pdf			大学・大学病院
第5692号	膝関節靭帯損傷の治療成績	2022年7月1日	2027年1月1日	整形外科 植原 健二		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5692.pdf			大学・大学病院
第5696号	術中定電圧刺激MEPにおけるコークスクリュー電極と電流値の変化	2022年6月2日	2024年12月30日	クリニカルエンジニア 部 横塚 恵理子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5696.pdf			大学・大学病院
第5697号	COVID-19 後遺症に関する実態調査(中等症以上対象)付随研究 COVID-19退院1年後の健康状態に関する調査研究	2022年9月17日	2024年3月31日	内科学(呼吸器内科) 峯下 昌道		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5697.pdf			大学・大学病院、西部病院
第5702号	遺伝子関連情報を基軸とした効率的免疫抑制管理による革新的長期管理ロジック開発におけるHLA抗体検査実態調査の二次調査	2022年5月31日	2023年3月31日	内科学 (腎臓・高血圧内科) 谷澤 雅彦		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5702.pdf			大学

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5703号	院内救急対応システム (Rapid Response System :RRS)の効果的活用に向けた 臨床情報・バイタルサインの 特徴量に基づく院内急変予 測モデルの構築	2022年8月15日	2023年12月31日	集中治療 【西部病院】 谷井 梨美		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5703.pdf			大学・大学病院、 西部病院、多摩病院
第5704号	血管内大細胞型B細胞リンパ 腫診断のためのランダム皮 膚生検の臨床的、病理学的 解析	2022年7月1日	2026年3月31日	皮膚科学 宮垣 朝光		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5704.pdf			大学・大学病院
第5705号	芸術療法が精神科入院治療 にもたらす効果について	2022年7月1日	2025年9月30日	神経精神科学 袖長 光知穂		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5705.pdf			大学・大学病院
第5713号	転移性骨腫瘍の臨床経過お よび予後予測に対する研究	2022年7月28日	2025年3月31日	整形外科 飯沼 雅央		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5713.pdf			大学・大学病院
第5714号	脊椎固定術のインプラント逸 脱についての研究	2022年7月1日	2024年12月31日	整形外科 赤澤 努		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5714.pdf			大学・大学病院
第5718号	超音波気管支鏡下針生検 (EBUS-TBNA)施行時におけ るElastographyによるfat-to- lesion strain ratio (FLR)の有 用性に関する後方視的研究	2022年7月28日	2023年4月30日	呼吸器内科 井上 健男		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5718.pdf			大学・大学病院
第5723号	結節性多発動脈炎全国疫学 調査	2022年6月20日	2024年8月5日	皮膚科学 門野 岳史		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5723.pdf			大学・大学病院
第5724号	腫瘍性尿管閉塞に対する尿 管ステント留置術の治療成績 の検討	2022年7月1日	2023年12月31日	腎泌尿器外科一般 中澤 龍斗		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5724.pdf			大学病院
第5727号	Quality Indicatorを用いて緩 和的放射線治療の質を評価 する遡及的多機関共同研究	2022年10月11日	2024年3月31日	放射線医学 中村 直樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5727.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5729号	HER2陽性切除不能進行・再発胃癌に対する陽性切除不能進行・再発胃癌に対するトラスツズマブデルクステカンの有効性・安全を評価する後ろ向きコホート研究(EN-DEAVOR研究)	2022年9月27日	2024年3月31日	臨床腫瘍学 新井 裕之		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5729.pdf			大学・大学病院
第5734号	本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術(MIS)の実態調査	2022年9月17日	2023年3月31日	産婦人科学 鈴木 直		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5734.pdf			大学・大学病院
第5736号	新型コロナウイルスの新規変異株の検出および解析に関する包括的研究	2022年9月6日	2035年12月31日	微生物学 竹村 弘		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5736.pdf			大学・大学病院
第5738号	保険診療で施行されるがんゲノムプロファイリング検査を基にがんゲノムデータベースを構築し、同検査の病理診断的および治療選択における有用性を評価する研究	2022年9月9日	2032年3月31日	ゲノム医療推進センター 砂川 優		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5738.pdf			大学・大学病院
第5739号	院外心停止蘇生後患者における頭部CTによる咀嚼筋萎縮に関する検討:多施設後ろ向き観察研究	2022年10月18日	2025年3月31日	救急医学 藤谷 茂樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5739.pdf			大学・大学病院
第5740号	臨床実習において症例から学ぶ診療看護師(NP)の役割	2022年7月23日	2023年3月31日	看護部 本館教子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5740.pdf			大学・大学病院
第5742号	本邦心大血管リハビリテーションの問題点の抽出と対策の検討	2023年1月27日	2028年3月31日	内科学(循環器内科) 明石 嘉浩		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5742.pdf			大学・大学病院
第5744号	非切除遠位悪性胆道狭窄に対するフレアなし全カバー付き自己拡張型金属ステント留置に関する後ろ向き多機関共同観察研究	2022年7月12日	2023年3月31日	内科学(消化器内科) 中原 一有		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5744.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5745号	実臨床データを用いた肝門部領域胆管癌の術前ドレナージ法別の有効性と手術に及ぼす影響に関する他施設共同検討	2022年7月12日	2023年12月31日	内科学(消化器内科) 中原 一有		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5745.pdf			大学・大学病院
第5750号	急性期脳卒中患者における身体計測値と移動動作能力の関連性	2022年10月11日	2025年3月31日	リハビリテーションセンター 高嶋 宏昌		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5750.pdf			西部病院
第5754号	重症喘息における生物学的製剤中止例の調査研究	2022年12月10日	2024年3月31日	内科学(呼吸器内科) 【西部病院】 駒瀬 裕子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5754.pdf			西部病院
第5759号	間質性肺疾患によるARDSについての疫学調査	2022年8月4日	2024年8月27日	救急医学 川口 剛史		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5759.pdf			大学・大学病院
第5765号	卵巣予備能低下症例の不妊治療成績調査	2022年11月22日	2024年3月31日	難病治療研究センター 杉下 陽堂		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5765.pdf			大学・大学病院
第5769号	COVID-19のパンデミックによる糖尿病黄斑浮腫に対する診断および薬物治療への影響に関する多機関共同研究	2022年8月2日	2023年12月31日	眼科学 重城 達哉		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5769.pdf			大学・大学病院
第5772号	JROAD-DPCIによる非動脈硬化性心筋梗塞の実態解明と二次調査研究	2022年8月4日	2030年12月31日	内科学(循環器内科) 明石 嘉浩		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5772.pdf			大学・大学病院、多摩病院
第5773号	HCUにおけるRefeeding症候群のリスク患者の疫学調査	2022年10月4日	2024年3月31日	救命救急センター 鈴木 雅子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5773.pdf			西部病院
第5774号	日本腎生検レジストリーにおける抗がん剤による腎障害の臨床像に関する検討(多施設共同観察研究:横断研究、一部コホート研究)	2022年8月18日	2024年12月31日	腎臓・高血圧内科 大迫 希代美		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5774.pdf			大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5776号	硬膜外麻酔による無痛分娩の周産期予後に関する研究	2022年9月28日	2024年12月31日	産婦人科学 長谷川 潤一			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5776.pdf		大学・大学病院
第5778号	ストーマ造設術後のストーマ脱出に関する全国アンケート調査	2022年9月1日	2023年12月31日	メディカルサポートセンター 野北 陽子			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5778.pdf		大学・大学病院
第5781号	高齢者入院例の精神病理学的症例定式化と治療経過の関係性に関する後方視的検討	2022年8月30日	2025年3月31日	神経精神科学 工藤 弘毅			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5781.pdf		大学・大学病院
第5783号	人間ドックで肺機能検査低下を認める受診者におけるAsymptomatic airway hyperresponsivenessの割合	2022年9月12日	2023年3月31日	内科学(呼吸器内科) 【西部病院】 駒瀬 裕子			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5783.pdf		西部病院
第5787号	皮膚T細胞リンパ腫の病態に関する病理学的解析	2022年9月12日	2026年3月31日	皮膚科学 宮垣 朝光			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5787.pdf		大学・大学病院
第5788号	腹腔鏡手術用小径開創器の有用性の検討	2022年9月5日	2024年4月30日	産婦人科学 【西部病院】 田村 みどり			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5788.pdf		西部病院
第5792号	閉塞性大腸癌に対する大腸ステントの有用性の検討	2022年9月7日	2024年12月31日	外科学 (消化器・一般外科) 福岡 麻子			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5792.pdf		大学・大学病院
第5793号	胸腰移行部骨粗鬆症性椎体骨折後に生じる遅発性麻痺の成因	2022年9月1日	2023年12月31日	整形外科 小泉 英樹			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5793.pdf		大学・大学病院、多摩病院
第5794号	新型コロナワクチンの重症化に対する有効性の検討	2022年11月2日	2025年3月31日	救急医学 吉田 徹			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5794.pdf		大学・大学病院
第5795号	睡眠時の低酸素状態が循環器系イベントに与える影響	2022年10月3日	2025年3月31日	内科学(循環器内科) 長田 尚彦			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5795.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5803号	外来維持血液透析患者におけるサルコペニアの実態調査	2022年11月18日	2024年3月31日	看護部 【多摩病院】 菊地 初実			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5803.pdf		多摩病院
第5804号	動物型ロボット(新型aibo)の幼児期の自閉スペクトラム症における愛着形成の可能性探索研究	2023年1月31日	2024年8月31日	神経精神科学 小野 和哉			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5804.pdf		大学病院
第5807号	成人T細胞白血病(ATL)発症高危険群の同定と発症予防法開発を目指す研究	2023年4月1日	永年	内科学(脳神経内科) 山野嘉久			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5807.pdf		大学・大学病院
第5808号	循環器外来診療補助に必要な心臓超音波評価～診療看護師(NP)による実践報告～	2022年9月30日	2024年8月31日	看護部 斉藤 岳史			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5808.pdf		多摩病院
第5809号	我が国における老年期の幻覚妄想状態の特徴	2022年9月28日	2024年9月30日	神経精神科学 袖長 光知穂			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5809.pdf		大学・大学病院
第5817号	免疫チェックポイント阻害薬による間質性肺炎に対するステロイド治療の調査	2022年10月13日	2023年3月31日	薬剤部 野崎 智椰			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5817.pdf		大学・大学病院
第5819号	耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域における針生検の検討	2022年10月3日	2023年3月31日	耳鼻咽喉科学 深澤 雅彦			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5819.pdf		大学・大学病院
第5820号	総合病院において被虐待が疑われたケースの要因分析：横断研究	2022年10月13日	2025年3月31日	神経精神科学 安藤 久美子			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5820.pdf		大学・大学病院
第5825号	他院から救急搬送された新生児と当院で出生した新生児の経過と予後の比較	2022年10月4日	2024年3月31日	新生児 北東 功			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5825.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5828号	脳卒中を含む循環器病対策の評価指標に基づく急性期医療体制の構築に関する研究(Close The Gap-Stroke J-ASPECT Study)	2022年10月20日	2026年3月31日	脳神経内科 秋山 久尚		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5828.pdf			大学・大学病院
第5829号	HAMの診断に有用な脳脊髄液HTLV-1抗体検査法の検討	2022年11月15日	2025年9月30日	難病治療研究センター 山野 嘉久		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5829.pdf			大学
第5834号	研究課題名:静脈カテーテル感染症等の輸液ルート使用にかかわる実態調査	2022年10月13日	2022年12月31日	薬剤部 【西部】 松崎 貴志		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5834.pdf			西部病院
第5835号	再発又は難治性の中樞神経原発リンパ腫におけるチラブルチニブの有効性・安全性及び治療実態を調査する多機関共同後向き観察研究(ROSETTA試験)	2023年7月27日	2027年12月31日	内科学(血液・腫瘍内科) 富田 直人		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5835.pdf			大学病院
第5838号	神奈川県におけるヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン接種状況に関する研究	2023年1月4日	2027年3月31日	小児科学 勝田 友博		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5838.pdf			大学・大学病院、東横病院、西部病院、多摩病院
第5839号	MEWSとRRS,CBの関連性と今後の活用方法検討	2023年1月18日	2023年6月30日	看護部 斉藤 岳史		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5839.pdf			大学・大学病院
第5842号	心室中隔穿孔に対する外科治療の心筋梗塞を発生した責任病変による比較検討	2022年11月28日	2023年3月31日	外科学 (心臓血管外科) 富本 大潤		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5842.pdf			大学・大学病院
第5843号	レセプトデータを用いた患者状態判定のためのアルゴリズム開発	2022年4月6日	2028年3月31日	小児科学 勝田 友博		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5843.pdf			大学・大学病院
第5845号	頭頸部癌における遠隔転移について	2022年11月15日	2025年3月31日	耳鼻咽喉科学 春日井 滋		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5845.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5848号	小児腹部IVRの実際	2022年11月18日	2025年9月30日	放射線医学 (画像診断・IVR) 和田 慎司		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5848.pdf			大学・大学病院
第5850号	日本における新しい推定胎児 体重の基準値作成に関する 研究	2023年7月10日	2026年3月31日	産婦人科学 長谷川 潤一		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5850.pdf			大学・大学病院、 東横病院、西部病院
第5853号	脊椎手術における低栄養の 有病率に関する研究	2023年1月4日	2025年12月31日	整形外科 飯沼 雅央		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5853.pdf			西部病院
第5855号	心臓アミロイドーシスに対す るピロリン酸心筋シンチグラ フィの有用性検証試験	2022年11月15日	2025年9月30日	内科学(循環器内科) 土井 駿一		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5855.pdf			大学・大学病院
第5856号	頸動脈ステント留置術後ステ ント内プラーク突出に関する 後方的観察研究	2022年11月18日	2025年3月31日	内科学(循環器内科) 萩原 悠太		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5856.pdf			大学・大学病院、西部病院
第5857号	当院における下咽頭癌の治 療成績	2022年11月22日	2025年3月31日	耳鼻咽喉科学 春日井 滋		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5857.pdf			大学・大学病院
第5858号	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)における若年者 の易感染性、重症化、疾患抵 抗性に関する遺伝的背景 の探索と免疫学的検討に関 する研究	2023年11月14日	2025年3月31日	小児科学 清水 直樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5858.pdf			大学・大学病院
第5860号	症候性中大脳動脈狭窄症に 対する脳血管拡張術におけ る術前・術後の脳血流変化の 検討(後方的観察研究)	2022年12月22日	2024年3月31日	内科学(脳神経内科) 【東横病院】 植田 敏浩		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5860.pdf			東横病院
第5864号	選択的 newborn スクリーニング と対応	2022年11月15日	2023年12月31日	小児科学 宮本 雄策		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5864.pdf			大学・大学病院、多摩病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5867号	免疫チェックポイント阻害薬の免疫関連有害事象における予測因子の検討	2022年11月11日	2025年3月31日	臨床腫瘍学 伊澤 直樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5867.pdf			大学・大学病院
第5868号	新型コロナワクチン接種後の間質性肺疾患旧姓憎悪に関する研究	2022年11月10日	2025年12月31日	内科学(呼吸器内科) 【西部病院】 駒瀬 裕子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5868.pdf			西部病院
第5870号	胸部ステントグラフト内挿術後に外科的治療を必要とした原因の究明とその治療成績	2022年12月16日	2024年12月31日	外科学 (心臓血管外科) 千葉 清		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5870.pdf			大学・大学病院
第5872号	臓器灌流障害を伴った急性大動脈解離の治療成績の検討	2022年12月16日	2025年3月31日	外科学 (心臓血管外科) 千葉 清		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5872.pdf			大学・大学病院
第5875号	AVALONダブルルーメンカテーテルの使用に関する検討	2022年12月5日	2024年8月31日	クリニカルエンジニア 部 濱田 悠佑		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5875.pdf			大学・大学病院
第5877号	担癌患者における脳梗塞発症後の再発予防療法についての後方的観察研究	2022年11月18日	2024年4月30日	内科学(脳神経内科) 清水 高弘		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5877.pdf			大学・大学病院
第5878号	ヘルニア修復術におけるSenhance Digital Laparoscopy Systemの安全性	2022年11月30日	2023年12月31日	外科学 (消化器・一般外科) 佐々木 貴浩		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5878.pdf			東横病院
第5879号	反跳式眼圧計の有用性について	2022年12月20日	2023年3月31日	眼科学 徳田 直人		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5879.pdf			大学・大学病院
第5880号	脳血管造影検査および治療における診療看護師の動脈穿刺の安全性	2023年2月21日	2025年12月31日	救急医学 藤谷 茂樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5880.pdf			大学・大学病院
第5881号	聖マリアンナ医科大学病院における針刺し事故の現状と対策	2022年11月18日	2025年3月31日	内科学 (総合診療内科) 鳥飼 圭人		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5881.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5882号	変形性足関節症に対する画像診断、関節鏡診断による重症度評価・疫学研究	2022年12月6日	2025年8月31日	整形外科 三井 寛之			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5882.pdf		大学・大学病院
第5883号	急性虫垂炎の治療方法に関する検討	2022年11月18日	2026年3月31日	外科学(小児外科) 大山 慧			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5883.pdf		大学・大学病院
第5887号	深層学習および拡散強調画像を用いた下咽頭癌・喉頭癌化学放射線療法の再発予測	2022年11月18日	2024年3月31日	放射線医学 (画像診断・IVR) 富田 隼人			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5887.pdf		大学・大学病院
第5888号	心室ペーシング位置による心機能の検討	2022年11月18日	2025年3月31日	クリニカルエンジニア 部 佐藤 尚			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5888.pdf		大学・大学病院
第5890号	免疫チェックポイント阻害薬による甲状腺機能異常についての画像検討	2022年11月18日	2024年6月30日	放射線診断・IVR学 松岡 伸			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5890.pdf		大学・大学病院
第5892号	日本産婦人科学会 周産期登録事業及び登録情報に基づく研究	2022年11月2日	2027年12月31日	産婦人科学 長谷川 潤一			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5892.pdf		大学・大学病院
第5894号	実臨床下でサトラリズマブを投与された日本人抗AQP4抗体陽性視神経脊髄炎スペクトラム障害(NMOSD)患者の治療実態を記述する多機関メディカルチャートレビュー研究(SAkuraBeyond)	2023年1月17日	2025年6月30日	脳神経内科 櫻井 謙三			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5894.pdf		大学・大学病院
第5898号	マルチモダリティ画像を用いた乳癌リンパ節転移評価の検討	2022年11月22日	2023年3月31日	画像診断・IVR 【ブレスト】 印牧 義英			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5898.pdf		大学病院、ブレスト
第5900号	日本病理剖検輯報に基づく全身性アミロイドーシス各病型頻度の疫学調査	2022年11月11日	2024年3月31日	病理学 小池 淳樹			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5900.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5901号	日本の臓器移植患者における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の実態把握のための他施設共同レジストリー研究	2022年11月11日	2023年3月31日	腎泌尿器外科学 篠田 和伸		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5901.pdf			大学・大学病院
第5902号	下側壁誘導J波を有するJ波症候群における心室細動基質に関する多施設共同研究	2022年11月11日	2025年12月31日	内科学(循環器内科) 中島 育太郎		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5902.pdf			大学・大学病院
第5910号	KRASG12C変異陽性肺がんの分子生物学的特性による治療効果への影響を明らかにする後方視的観察研究	2022年11月22日	2023年12月31日	呼吸器内科 峯下 昌道		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5910.pdf			大学・大学病院
第5917号	精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究	2022年12月20日	2027年3月31日	神経精神科 中川 敦夫		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5917.pdf			大学・大学病院
第5919号	「エンハーツ点滴静注用100mg特定使用成績調査(乳癌)」患者を登録対象としたトラスツズマブ デルクステカン中止後の後治療に関するコホート研究	2023年2月24日	2024年12月31日	乳腺・内分泌外科 津川 浩一郎		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5919.pdf			大学・大学病院
第5921号	2型糖尿病患者におけるNAFLD、NASHの予測因子の検討	2022年12月28日	2026年3月31日	代謝・内分泌内科 月山 秀一		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5921.pdf			大学・大学病院
第5922号	小児肝細胞性腫瘍と成人肝細胞癌における生物学的特性の比較検討	2022年11月28日	2024年12月31日	小児外科 古田 繁行		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5922.pdf			大学・大学病院
第5926号	特発性食道破裂患者の周術期管理	2022年12月13日	2023年12月31日	麻酔学 虻川 由紀		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5926.pdf			大学・大学病院
第5931号	多発外傷患者についての画像検討	2022年12月17日	2023年12月31日	救急総合診療 松本 純一		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5931.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5932号	HRCTを用いた肺気腫の定量的評価が市中肺炎の予後に及ぼす影響や臨床的特徴の検討	2023年1月18日	2024年3月31日	放射線診断・IVR学 澁上 淳也			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5932.pdf		大学、西部病院
第5936号	加齢男性性腺機能低下症候群の実際および治療効果の検討	2023年1月11日	2027年3月31日	腎泌尿器外科 相田 紘一郎			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5936.pdf		大学・大学病院
第5938号	早期警告スコアを用いた急変予測の精度を向上させるための最適なデータクリーニング方法の検討	2023年12月24日	2024年12月31日	救急医学 森川 大樹			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5938.pdf		大学・大学病院
第5939号	新規検査手法でのALP値の検討	2023年1月11日	2024年12月31日	臨床検査医学 右田 王介			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5939.pdf		大学・大学病院
第5946号	整形外科における低栄養・嚥下障害の有病率に関する研究	2023年2月14日	2025年12月31日	整形外科 飯沼 雅央			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5946.pdf		西部病院
第5950号	経カテーテル的大動脈弁置換術において造影剤非使用で行ったZero-contrast TAVIと造影剤使用群の急性期合併症および短期予後の比較	2023年1月17日	2024年12月31日	循環器内科 古賀 将史			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5950.pdf		大学病院
第5951号	バンコマイシンの薬物動態解析におけるソフトウェアとSawchuk-Zaske法の比較	2023年1月18日	2028年3月31日	薬剤部 水谷 翔			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5951.pdf		大学病院
第5956号	かかりつけ医から腎臓専門医に紹介すべき尿定性検査解釈の検討ー尿比重の有用性	2023年2月7日	2024年12月31日	臨床検査医学 久道 三佳子			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5956.pdf		大学病院
第5957号	集中治療後症候群発症関連因子の探索的調査	2023年7月12日	2025年3月31日	麻酔学 佐藤 暢夫			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5957.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5958号	前置血管の周産期管理における検討	2023年1月17日	2026年3月31日	産婦人科学 長谷川 潤一			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5958.pdf		大学・大学病院
第5959号	経カテーテル的僧帽弁修復術と栄養指標の関連への探索的評価	2023年1月25日	2023年9月27日	循環器内科 石橋 祐記			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5959.pdf		大学・大学病院
第5962号	救急外来の電解質異常について	2023年3月1日	2023年12月31日	腎臓・高血圧内科 今井 直彦			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5962.pdf		西部病院
第5963号	経カテーテル的大動脈弁置換術後の非心臓手術施行における安全性とその後の予後比較	2023年3月1日	2023年12月31日	循環器内科 甲斐 貴彦			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5963.pdf		大学病院
第5966号	肺癌免疫療法におけるバイオマーカー探索のための後向き研究 第2期 -免疫関連有害事象を予測するバイオマーカーの検討-	2023年10月10日	2024年9月30日	呼吸器内科 古屋 直樹			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5966.pdf		大学・大学病院
第5971号	機能性僧帽弁閉鎖不全症患者に対する経皮的僧帽弁形成術の有用性	2023年3月1日	2025年12月31日	循環器内科 庄司 達朗			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5971.pdf		大学病院
第5972号	原発性アルドステロン症の診断・治療に関する国際共同研究 "Global Primary Aldosteronism in Study (GPAS)"	2023年2月14日	2026年3月31日	代謝・内分泌内科 方波見 卓行			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5972.pdf		大学病院、西部病院
第5973号	脈拍変動解析ならびに臨床指標を用いたSAS予測アルゴリズムの開発	2023年4月27日	2027年3月31日	循環器内科 長田 尚彦			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5973.pdf		大学病院
第5977号	心筋血流SPECT検査と冠動脈CT検査を用いたFusionソフトウェアの開発	2023年3月24日	2024年12月31日	循環器内科 明石 嘉浩			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5977.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5978号	「総合病院精神科病棟での行動制限最小化を目指した取り組み」身体的拘束最小化プロジェクトの実践報告	2023年3月1日	2024年6月30日	看護部 斉藤 由美子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5978.pdf			大学病院
第5980号	アフリベルセプトのプレフィルドシリンジ化と注射後眼内炎発生率の検討 多施設共同研究	2023年2月28日	2024年12月31日	眼科学 重城 達哉		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5980.pdf			大学病院
第5981号	ハイパースペクトルカメラを活用したAI病理診断支援システムの開発に向けたデータ解析	2023年3月1日	2023年12月31日	病理学 大池 信之		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5981.pdf			大学・大学病院
第5982号	FGFR2 融合遺伝子・再構成陽性進行胆管癌の臨床病理学的特徴を明らかにするための後ろ向き観察研究	2023年6月28日	2024年2月29日	臨床腫瘍学 砂川 優		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5982.pdf			大学・大学病院
第5984号	難病のゲノム医療推進に向けた全ゲノム解析基盤に関する先行的研究開発	2023年6月13日	2026年3月31日	脳神経内科 山野 嘉久		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5984.pdf			大学・大学病院
第5985号	心不全における心肺運動負荷試験(CPET)の有用性を検証する多施設共同レジストリ研究	2023年5月24日	2035年12月31日	薬理学 木田 圭亮		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5985.pdf			大学病院
第5988号	小児におけるB群溶血性連鎖球菌感染症ナショナルサーベイランス	2023年11月20日	2027年3月31日	小児科学 中村幸嗣		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5988.pdf			大学・大学病院
第5990号	行政機関における精神状態の評価とその手続き、波及効果に関する研究	2023年3月30日	2026年3月31日	神経精神科学 渡邊 亮		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5990.pdf			大学
第5992号	気管支鏡を施行した超高齢肺癌患者の合併症、診断率、予後に関する検討-後ろ向きコホート-	2023年3月25日	2024年3月31日	呼吸器内科 峯下 昌道		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5992.pdf			大学病院、 西部病院、多摩病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第5994号	TMS療法関連データベース・レジストリ構築に関する研究	2023年3月1日	2031年3月31日	神経精神科学 笠貫 浩史			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5994.pdf		大学・大学病院
第5995号	lisfranc靭帯損傷及びlisfranc関節脱臼骨折損傷後の変形性lisfranc関節症について、損傷系・骨折系における治療適応、術後治療成績の検討	2023年3月24日	2027年3月31日	整形外科 市川 翔太			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5995.pdf		大学病院
第5996号	がん遺伝子パネル検査の精度向上および臨床的有用性を検討することを目的とする後方視的解析	2023年3月8日	2029年3月31日	ゲノム医療推進センター 井本 清美			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/5996.pdf		大学病院
第6000号	腹膜透析導入前の腎機能低下速度が腹膜透析の継続期間に与える影響	2023年3月30日	2024年12月31日	腎臓・高血圧内科 櫻田 勉			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6000.pdf		大学・大学病院
第6001号	潜在性結核感染症を合併した透析患者の予後に関する検討	2023年3月24日	2024年12月31日	腎臓・高血圧内科 櫻田 勉			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6000.pdf		大学病院
第6003号	新規APTT検査試薬レボヘムAPTTの相関性、ヘパリン感受性についての検討	2023年3月30日	2024年12月31日	臨床検査部 大津 もも			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6003.pdf		大学病院
第6011号	COVID-19 がもたらした乳癌診療への影響	2023年4月19日	2026年12月31日	乳腺・内分泌外科 志茂 彩華			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6011.pdf		多摩病院、プレスト
第6014号	当院における遺伝性乳癌卵巣癌症候群およびリスク低減手術に関する研究	2023年5月10日	2024年3月31日	乳腺・内分泌外科 田雑 瑞穂			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6014.pdf		大学病院、プレスト
第6015号	経皮的カテーテル大動脈弁植込み術後に新規に左脚ブロックを生じた患者の長期予後を解析する後向き観察研究	2023年4月6日	2023年12月31日	循環器内科 佐々木 憲一			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6015.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6017号	疾患別リハビリテーションに係る実態調査	2023年4月25日	2024年5月31日	リハビリテーション医学 佐々木 信幸			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6017.pdf		大学病院
第6018号	当院での人工股関節全置換術におけるCAOS(コンピュータ手術支援)の有効性の検討	2023年7月10日	2026年3月31日	整形外科 山本 豪明			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6018.pdf		大学・大学病院
第6019号	脊椎手術支援ロボットによるスクリュー設置に関する研究	2023年4月12日	2026年2月28日	整形外科 赤澤 努			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6019.pdf		大学・大学病院
第6020号	急性期脳卒中患者における口腔機能および栄養状態と機能的アウトカムの関連性	2023年4月19日	2026年3月31日	リハビリテーション部 最上谷 拓磨			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6020.pdf		西部病院
第6021号	救命センターにおけるRefeeding症候群のリスクとビタミンB1と微量元素の関係	2023年5月21日	2026年12月31日	救急総合診療 【西部】 栗栖 美由希			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6021.pdf		西部病院
第6025号	機械学習を用いた低侵襲かつ汎用的な腎臓病診断支援モデルの開発	2023年4月14日	2026年3月31日	腎臓・高血圧内科 柴垣 有吾			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6025.pdf		大学病院
第6028号	COVID-19感染症合併妊婦に対する分娩方法の検討	2023年4月20日	2025年3月31日	産婦人科学 鈴木 直			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6028.pdf		大学・大学病院
第6029号	中等度の石灰化スコアを有する重症大動脈弁狭窄症患者のclinical outcome	2023年5月22日	2023年3月31日	循環器内科 甲斐 貴彦			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6029.pdf		大学・大学病院
第6031号	先行する腹膜透析が導入後の生命予後に与える影響	2023年5月8日	2024年12月31日	腎臓・高血圧内科 櫻田 勉			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6031.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6032号	当院における子宮頸癌手術のリンパ節転移の予後解析	2023年4月25日	2027年12月31日	産婦人科学 鈴木 直			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6032.pdf		大学・大学病院
第6037号	AIを用いた単純CT画像の肉 体画像年齢判定アルゴリズムの開発	2023年5月15日	2026年3月31日	消化器内科 松本 伸行			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6037.pdf		大学、西部病院
第6038号	遺伝性腫瘍の確定診断後における血縁者の遺伝外来到達度調査	2023年4月25日	2027年3月31日	臨床検査医学 右田 王介			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6038.pdf		大学・大学病院
第6039号	循環器疾患診療実態調査(JROAD)のデータベースとCRT患者の予後に関わる因子に関する研究	2023年11月10日	2026年3月31日	循環器内科 明石 嘉浩			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6039.pdf		大学・大学病院
第6040号	乳癌脳転移における治療選択及び予後の検討	2023年5月22日	2026年12月31日	乳腺・内分泌外科 喜多島 美奈			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6040.pdf		大学・大学病院
第6042号	維持血液透析患者における血管石灰化、骨代謝マーカーおよび骨塩量の関連に関する検討	2023年6月14日	2025年3月31日	腎臓・高血圧内科 【多摩病院】 富永 直人			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6042.pdf		多摩病院
第6045号	食道癌における機械学習を用いた画像認識による術前化学療法および化学放射線療法の効果判定手法確立を目指した多施設共同後向き観察研究 (略称:画像認識による治療効果判定に関する研究)	2023年12月11日	2025年11月27日	消化器・一般外科学 民上 真也			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6045.pdf		大学・大学病院
第6046号	大学院における臨床実習から学ぶ診療看護師(NP)に必要な能力	2023年5月10日	2024年3月31日	看護部 本館 教子			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6046.pdf		

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6050号	非アルコール性脂肪性肝疾患患者における予後、肝線維化リスクに関する多施設共同後ろ向き観察研究	2023年5月10日	2026年7月31日	消化器内科 渡邊 綱正			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6050.pdf		大学・大学病院
第6052号	川崎病既往成人における急性冠症候群とカテーテル治療剤の診療実態に関する全国調査研究	2023年5月16日	2026年7月31日	循環器内科 田邊 康宏			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6052.pdf		
第6055号	川崎市における措置通報の実態分析－高齢者に着目して－	2023年7月26日	2026年3月31日	神経精神科学 袖長 光知穂			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6055.pdf		大学
第6057号	大学院における臨床実習から学ぶ診療看護師(NP)に必要な能力	2023年5月16日	2024年3月31日	看護部 【多摩病院】 井上 ふみ子			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6057.pdf		多摩病院
第6059号	tPA(静注血栓溶解薬)を使用した経カテーテル血栓溶解療法(CDT)の本邦における安全性の検討:多施設共同後ろ向き観察研究	2023年5月22日	2023年12月31日	循環器内科 田邊 康宏			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6059.pdf		大学・大学病院
第6060号	経皮的動脈弁置換術を施行された血液透析施行患者と血液透析非施行患者における画像上の特徴並びに臨床的予後に関する検討	2023年6月6日	2023年8月31日	循環器内科 奥野 泰史			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6060.pdf		大学・大学病院
第6064号	E-CPRへの軸流ポンプImpella®導入によるV-A ECMO使用状況の変化と予後への効果の検証	2023年6月19日	2027年3月31日	救急総合診療 吉田 徹			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6064.pdf		大学・大学病院
第6065号	呼吸器合併症を有する予定手術患者に対して全身麻酔を避け区域麻酔で管理した症例の検討	2023年6月19日	2026年3月31日	麻酔学 浜辺 宏介			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6065.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6066号	焦点てんかんに対する lacosamide内服の有効性と血 中濃度の相関	2023年7月12日	2024年3月31日	小児科学 岩崎 俊之		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6066.pdf			大学・大学病院
第6067号	アドバンスケアプランニング (ACP)の実践と取り組み	2023年6月28日	2026年3月31日	乳腺・内分泌外科 黒田 貴子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6067.pdf			大学・大学病院
第6068号	極低出生体重児におけるカ テーテル関連血栓症に関して の検討	2023年6月2日	2026年3月31日	新生児 小町 詩織		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6068.pdf			大学・大学病院
第6070号	聖マリアンナ医科大学病院に おける嫌気性菌の疫学研究	2023年6月19日	2025年3月31日	感染症学 國島 広之		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6070.pdf			大学・大学病院
第6073号	肝硬度測定を施行された脂 肪肝患者の予後に関するレ ジストリ研究 (AVENGERS)	2023年5月25日	2033年3月31日	消化器内科 渡邊 綱正		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6073.pdf			大学病院
第6075号	川崎市立多摩病院歯科口腔 外科における薬剤関連顎骨 壊死の臨床的検討	2023年6月21日	2025年12月31日	歯科口腔外科 石井 宏昭		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6075.pdf			大学・大学病院
第6076号		2023年6月21日	2028年3月31日	救急総合診療科		URL参照			西部病院
第6077号	人工聴覚器手術全国データ ベースの構築	2023年6月2日	2027年3月31日	耳鼻咽喉科学 小森 学		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6077.pdf			大学・大学病院
第6078号	当院における直腸悪性腫瘍 に対するTaTMEの治療成績 とその有用性	2023年6月13日	2025年3月31日	消化器・一般外科 【西部病院】 大島 隆一		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6078.pdf			西部病院
第6080号	妊娠を希望する若年ホルモ ン感受性陽性乳がん患者にお けるホルモン療法中断の安 全性と妊娠転帰に関する検 討	2023年6月19日	2024年3月31日	産婦人科学 鈴木 直		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6080.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6081号	関節リウマチ患者におけるアバセプト、トシリズマブの安全性、有用性、長期予後の検討	2023年8月3日	2024年3月31日	リウマチ・膠原病・アレルギー内科 山崎 宜興		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6081.pdf			西部病院
第6082号	小児集中治療におけるQuality of Dying and Death(PICU-QODD)医療者評価用尺度の日本語版開発と信頼性・妥当性の検証	2024年1月26日	2025年3月31日	小児科学 宮地 麻衣		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6082.pdf			大学・大学病院
第6087号	神奈川県における小児CT検査の実態調査	2023年7月25日	2024年9月30日	画像診断部 小川 泰良		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6087.pdf			大学病院
第6088号	中耳真珠腫進展度分類 2015の妥当性と有用性の検証	2023年6月6日	2028年3月31日	耳鼻咽喉科学 小森 学		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6088.pdf			大学・大学病院
第6090号	上肢・下肢リンパ浮腫に対するリンパ管細静脈吻合術の長期治療効果の評価研究	2023年6月19日	2025年4月30日	形成外科学 関 征央		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6090.pdf			大学・大学病院
第6091号	若年性アルツハイマー病の診断実態に関する後方視的共同観察研究	2023年11月16日	2024年10月31日	神経精神科学 笠貫 浩史		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6091.pdf			大学・大学病院
第6093号	Multiplex PCR法を用いた成人における後鼻腔への微生物定着状況の解析	2023年7月25日	2025年3月31日	小児科 勝田 友博		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6093.pdf			大学・大学病院
第6095号	大腸ステントを挿入した閉塞性大腸癌に対する大腸切除術の治療成績に関する検討	2023年7月1日	2023年12月31日	消化器・一般外科 根岸 宏行		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6095.pdf			西部病院
第6098号	小児膝腫瘍に関する全国アンケート調査	2023年6月13日	2027年12月31日	小児外科学 川口 拓哉		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6098.pdf			大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6099号	くも膜下出血後の脳血管攣縮に対する治療として塩酸フェスジル動注療法の治療効果の検討	2023年8月30日	2024年3月31日	脳神経外科一般 吉田 泰之		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6099.pdf			東横病院
第6104号	筋層浸潤性尿路上皮がん患者を対象としたニボルマブ術後補助療法の日本における治療実態研究 (ANNIVERSARY試験)	2023年6月21日	2027年2月28日	腎泌尿器外科学 菊地 栄次		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6104.pdf			大学・大学病院
第6106号	直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術における側方靱帯温存および腹膜修復の有無による手術成績の検討	2023年7月14日	2025年3月31日	消化器・一般外科 大島 隆一		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6106.pdf			西部病院
第6107号	日本産婦人科学会 婦人科腫瘍委員会 婦人科悪性腫瘍登録事業及び情報登録に基づく研究	2023年6月22日	2027年12月31日	産婦人科学 【西部病院】 田村みどり		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6107.pdf			西部病院
第6108号	腹膜透析患者における治療モダリティーが睡眠に与える影響	2023年11月14日	2024年12月31日	腎臓・高血圧内科 櫻田 勉		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6108.pdf			大学病院・西部病院
第6109号	原発性アルドステロン症の診断と治療方針決定におけるホルモン測定法の有用性の比較	2023年7月4日	2025年3月31日	代謝・内分泌内科 菱田 吉明		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6109.pdf			大学・大学病院
第6110号	消化器・一般外科における胃腫瘍症例に関する臨床的特徴並びに治療成績の検討	2023年8月16日	2027年3月31日	消化器・一般外科 久恒 靖人		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6110.pdf			大学・大学病院
第6111号	前立腺MRI検査でのPIRADSカテゴリ3におけるADC値測定法の検討	2023年7月25日	2024年3月31日	腎泌尿器外科学 中澤 龍斗		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6111.pdf			大学・大学病院
第6113号	血中コルチゾールによるオンドロスタット投与量決定は可能か	2023年8月21日	2025年4月1日	代謝・内分泌内科学 方波見 卓行		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6113.pdf			西部病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6114号	胸部X線画像を事前学習したAIモデルの有用性の検証	2023年6月30日	2024年12月31日	医療情報処理技術応用研究分野 小林 泰之			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6114.pdf		大学・大学病院
第6115号	乾燥ろ紙血を用いたグリコサミノグリカン(GAG)測定によるムコ多糖症の新生児スクリーニング法の効率化	2023年6月23日	2025年3月31日	臨床検査医学 右田 王介			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6115.pdf		大学・大学病院
第6117号	消化器・一般外科における食道腫瘍症例に関する臨床的特徴並びに治療成績の検討	2023年7月4日	2027年3月31日	消化器・一般外科学 久恒 靖人			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6117.pdf		大学・大学病院
第6119号	視覚障害者手帳を取得した糖尿病患者の多機関による実態調査	2023年6月28日	2024年12月31日	眼科学 重城 達哉			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6119.pdf		大学・大学病院
第6120号	ヒト免疫系の機能ゲノム学による統合的理解とこれを用いた免疫疾患の発症予防のためのインターベンション戦略の構築	2023年12月28日	2026年7月3日	リウマチ膠原病アレルギー内科 川畑 仁人			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6120.pdf		大学・大学病院
第6121号	生後早期の極早産児に対する『複合的な抗菌薬適正使用プログラム』の普及効果に関する多施設共同観察試験	2023年6月29日	2026年3月31日	小児科学 鈴木 真波			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6121.pdf		大学病院
第6122号	糖尿病網膜症を有する特発性網膜前膜に対する内境界膜剥離の影響	2023年7月25日	2024年6月30日	眼科学 重城 達哉			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6122.pdf		大学・大学病院
第6123号	Deep learning再構成を利用した前立腺MRIのT2強調画像における撮像時間短縮および画質向上について	2023年7月25日	2024年6月30日	放射線診断・IVR学 富田 隼人			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6123.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6125号	機械学習を用いた人工呼吸器の離脱プロトコルの予測モデルの検討	2023年8月16日	2027年3月31日	臨床工学技術部 五十嵐 義浩			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6125.pdf		大学・大学病院
第6130号	4学会合同抗菌薬感受性サーベイランス— Clostridioides difficile感染症—	2023年7月10日	2025年3月31日	感染症学 國島 広之			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6130.pdf		大学・大学病院
第6133号	DNAミスマッチ修復機能欠損(MSI-H/dMMR)を認める切除不能大腸癌に対するトリフルリジン・チピラシル塩酸塩(FTD/TPI)±ベバシズマブ(BV)の有効性と安全性を探索する後方視的観察研究	2023年7月25日	2024年6月30日	臨床腫瘍学 伊澤 直樹			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6133.pdf		大学・大学病院
第6136号	COVID-19によるARDS患者における呼吸器メカニクスと圧外傷との関連-後向き観察研究-	2023年8月16日	2026年3月31日	臨床工学技術部 五十嵐 義浩			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6136.pdf		大学・大学病院
第6137号	生体腎移植ドナーの周術期から長期予後に関する実態調査	2023年8月16日	2025年3月31日	腎臓・高血圧内科学 谷澤 雅彦			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6137.pdf		大学・大学病院
第6138号	側弯症の術後成績に関する研究	2023年7月26日	2026年7月31日	整形外科 赤澤 努			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6138.pdf		大学・大学病院
第6140号	光干渉断層映像法により撮影された急性冠症候群冠動脈病変の画像特徴と予後に関する研究	2024年3月8日	2029年3月31日	循環器内科学 樋熊 拓未			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6140.pdf		大学・大学病院
第6145号	産婦人科疾患における自己血貯血症例の検討	2023年8月21日	2023年11月30日	産科 田村 みどり			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6145.pdf		西部病院
第6147号	外傷性黄斑円孔の多施設後ろ向き研究	2023年12月12日	2026年3月31日	眼科学 重城 達哉			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6147.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6148号	初回手術で非閉鎖であった黄斑円孔に対する治療成績に関する多施設後向き共同研究	2023年12月27日	2027年3月31日	眼科学 重城 達哉		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6148.pdf			大学・大学病院
第6149号	実臨床における気管支喘息に対するSITT(single inhaler triple therapy)の有用性と安全性	2023年8月28日	2023年9月30日	呼吸器内科学 半田 寛		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6149.pdf			大学
第6150号	術前呼吸機能検査の必要性和術後肺合併症の関連について	2024年1月27日	2030年3月31日	麻酔学 小幡 由美		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6150.pdf			大学・大学病院、西部病院
第6153号	HTLV-1キャリア向け電話相談の利用状況調査研究	2023年8月21日	永年	難病治療研究センター 堀部 恵梨佳		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6153.pdf			大学・大学病院
第6155号	EGFR遺伝子変異陽性Ⅲ期非小細胞肺癌(NSCLC)に対する同時化学放射線療法(CCRT)後のデュルバルマブ投与の有効性と安全性を評価する多施設共同後方視的観察研究(NEJ063試験)	2023年10月20日	2026年3月31日	呼吸器内科学 古屋 直樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6155.pdf			大学・大学病院
第6157号	循環器カテーテル治療に用いる麻酔薬による循環動態への影響	2023年9月1日	2030年3月31日	麻酔学 小幡 由美		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6157.pdf			大学・大学病院
第6158号	双方向クリニカルパスを用いたCOPD病診連携の実態調査	2023年8月26日	2024年3月31日	呼吸器内科学 井上 健男		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6158.pdf			西部病院
第6161号	がん対策進捗管理のための患者体験調査	2023年6月29日	2026年3月31日	臨床腫瘍学 砂川 優		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6161.pdf			大学・大学病院
第6163号	レジストリを活用した院内発症敗血症の多施設共同コホート研究	2023年9月13日	2026年12月31日	救急医学【西部病院】 三池 慧		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6163.pdf			大学・大学病院、西部病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6166号	ロングリードシーケンサーによる顔面肩甲上腕型筋ジストロフィーの遺伝子診断法の確立	2023年8月21日	2025年3月31日	脳神経内科学 三橋 里美		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6166.pdf			大学
第6169号	乳がん患者に対する妊孕性温存目的のランダムスタート過排卵刺激における有効性と安全性に関する研究	2023年11月1日	2024年8月31日	婦人科 鈴木 直		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6169.pdf			大学・大学病院
第6170号	COVID-19蔓延下に施行された整形外科の手術症例における術前胸部CT画像結果に関する研究	2023年9月15日	2026年12月31日	整形外科 飯沼 雅央		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6170.pdf			大学・大学病院
第6171号	COVID19感染後の重度嚥下障害因子の検討	2023年9月5日	2025年7月30日	脳神経内科学 伊佐早 健司		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6171.pdf			西部病院
第6172号	ピメキズマブからリサンキズマブへアクティブスイッチを行った尋常性乾癬の検討	2023年9月22日	2028年3月31日	皮膚科学 宮垣 朝光		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6172.pdf			大学・大学病院
第6174号	川崎市乳がん検診における過去画像比較読影の現状報告	2023年11月14日	2023年11月30日	画像診断部 天井 克生		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6174.pdf			大学病院、東横病院、多摩病院、プレスト
第6178号	REALITY AHF study と AKINESIS study のデータベース統合解析による日本と欧米の比較研究	2023年8月29日	2026年4月30日	薬理学 木田 圭亮		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6178.pdf			大学・大学病院
第6181号	生食コントラスト経胸壁心エコー図検査における風船負荷法の卵円孔開存症の診断:多施設レジストリー研究	2023年8月29日	2025年3月31日	循環器内科学 出雲 昌樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6181.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6185号	膠原病患者における心臓MRIによるイメージングバイオマーカーと血中バイオマーカーの相関性の検討	2023年9月11日	2024年3月31日	放射線診断・IVR学 瀬上 淳也			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6185.pdf		大学・大学病院
第6186号	IgG4関連疾患の臨床的特徴の検討	2023年9月11日	2028年3月31日	リウマチ・膠原病・アレルギー内科学 永淵 裕子			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6186.pdf		大学・大学病院
第6187号	日本における糖尿病黄斑浮腫と硝子体黄斑牽引に対する硝子体手術の有効性に関する多施設調査	2024年2月21日	2025年6月30日	眼科学 関根 伶生			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6187.pdf		大学・大学病院
第6188号	脊椎固定術におけるスクリーンの正確性と術後成績に関する研究	2023年9月22日	2026年8月18日	整形外科 赤澤 努			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6188.pdf		大学・大学病院
第6189号	心エコー図検査におけるArtificial Intelligence (AI)アプリケーションを使用した自動計測の精度と臨床的意義	2023年9月11日	2024年12月31日	循環器内科学 出雲 昌樹			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6189.pdf		大学・大学病院
第6190号	院外心停止における人工知能に基づく緊急冠動脈造影適応判断支援の有益性の検証	2023年9月11日	2025年3月31日	循環器内科学 川越 康仁			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6190.pdf		大学・大学病院
第6191号	進行または再発子宮頸癌に対する免疫チェックポイント阻害剤療法の有用性と安全性の評価を目的とした多施設共同後ろ向き一部前向き観察研究	2023年9月8日	2028年6月30日	産婦人科学 鈴木 直			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6191.pdf		大学・大学病院
第6192号	日本における生殖細胞系列バリエーション解析を目的とした遺伝子パネル検査の有用性に関する研究 Investigation of germline variant analysis via novel gene panel in Japan II (INSIGNIA study II)	2024年2月15日	2026年3月31日	臨床検査医学 右田 王介			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6192.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6198号	川崎市立多摩病院歯科口腔外科における術前胸部X線CT検査により新たな病変の診断に至った症例の検討	2023年11月29日	2025年12月31日	歯科口腔外科 市川 はるの		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6198.pdf			多摩病院
第6200号	網膜前増殖組織の有無によるStage2黄斑円孔の臨床的特徴についての検討	2023年10月3日	2026年3月31日	眼科学 関根 伶生		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6200.pdf			大学・大学病院
第6201号	Persistent Descending Mesocolonを伴う大腸癌に対し腹腔鏡下大腸結腸切除術を施行した症例の検討	2023年12月28日	2023年12月31日	消化器・一般外科学 根岸 宏行		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6201.pdf			西部病院
第6206号	過敏性肺炎の全国疫学調査	2023年9月7日	2027年3月31日	呼吸器内科学 峯下 昌道		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6206.pdf			大学・大学病院
第6207号	双極性感情障害患者におけるセルフスティグマの分析	2023年8月1日	2026年3月31日	神経精神科学 安藤 久美子		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6207.pdf			大学・大学病院、 西部病院
第6209号	診療看護師(NP)によるSherlock3CGを用いた末梢挿入型中心静脈カテーテル(PICC)の先端位置異常の実態調査	2023年10月11日	2023年12月23日	看護部 當山 護剛		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6209.pdf			大学・大学病院
第6210号	1.5T MRI装置におけるUltrafastダイナミック乳房造影MRI検査の有効性の検討	2023年10月13日	2024年7月31日	放射線診断・IVR学 印牧 義英		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6210.pdf			大学・大学病院、 多摩病院、プレスト
第6211号	心臓再同期療法(CRT)が及ぼす房室弁閉鎖不全症への影響	2023年10月17日	2025年3月31日	循環器内科学 栗田 真吾		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6211.pdf			大学・大学病院
第6212号	小児がん連携病院を対象とした小児がん医療の質を表す指標(Quality Indicator:QI)の作成と小児がん連携病院における適応に関する研究	2023年12月11日	2033年3月31日	小児外科学 森 鉄也		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6212.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6215号	心不全入院症例における経皮的冠動脈形成術(PCI)の有効性の調査	2023年11月7日	2025年3月31日	循環器内科学 石橋 祐記		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6215.pdf			大学・大学病院
第6216号	皮膚悪性腫瘍レジストリ研究 Japan Skin Cancer Registry Study(JSCaRS)	2023年12月11日	2028年11月10日	皮膚科学 門野 岳史		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6216.pdf			大学・大学病院
第6219号	白内障を伴う緑内障症例に対する水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術と線維柱帯切開術(眼内法)の手術成績の検討	2023年10月17日	2024年3月31日	眼科学 徳田 直人		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6219.pdf			大学・大学病院
第6220号	RET融合遺伝子陽性肺がんの分子生物学的特性による治療効果への影響を明らかにする後方視的観察研究	2023年10月17日	2024年9月30日	呼吸器内科学 古屋 直樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6220.pdf			大学・大学病院
第6223号	裂孔原性網膜剥離の手術成績の検討	2023年10月17日	2024年1月31日	眼科学 北岡 康史		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6223.pdf			大学・大学病院
第6224号	経気管支生検における迅速細胞診の有用性に関する研究	2023年10月26日	2025年3月31日	呼吸器内科学 森川 慶		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6224.pdf			大学・大学病院
第6225号	肝細胞癌に対する経動脈的化学塞栓療法(TACE)直後のCone-beam CT画像を用いた再発予測AIモデルの開発	2023年10月19日	2024年6月30日	放射線診断・IVR学 橋本 一樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6225.pdf			大学・大学病院
第6228号	新型コロナウイルス感染後ブレインフォグに対するrTMSにおける認知機能障害の変化	2023年10月19日	2024年12月31日	リハビリテーション医学 佐々木 信幸		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6228.pdf			大学・大学病院
第6229号	COVID-19パンデミックが与えた下部消化管出血に対する緊急内視鏡への影響	2023年10月25日	2025年12月28日	消化器内科学 小松 拓実		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6229.pdf			大学・大学病院、西部病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6230号	多発性硬化症に対する頭部FLAIRにおける深層学習を用いたノイズ除去技術併用3D法と従来型2D法の比較	2023年11月30日	2025年3月31日	診療放射線技術部 出口 佑樹			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6230.pdf		大学・大学病院
第6231号	大腸がんにおけるRAS遺伝子変異に基づく包括的がんゲノムプロファイル検査の有用性	2023年11月1日	2025年12月31日	臨床腫瘍学 新井 裕之			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6231.pdf		大学・大学病院
第6234号	慢性呼吸器疾患レジストリデータを用いたCT画像解析による肺機能評価研究	2023年12月12日	2024年10月31日	呼吸器内科学 峯下 昌道			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6234.pdf		大学
第6235号	臨床研究企画・運営の負担に関するアンケート	2023年11月1日	2024年3月31日	薬理学 松本 直樹			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6235.pdf		大学・大学病院
第6237号	左室駆出率保持型心不全の正確な診断アルゴリズムの確立に向けた多施設共同研究	2023年10月26日	2027年3月31日	循環器内科学 出雲 昌樹			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6237.pdf		大学・大学病院
第6238号	後期高齢者における下部消化管穿孔に対する緊急手術症例での転帰に影響する因子の検討	2023年11月22日	2024年12月31日	消化器・一般外科学 勝又 健太			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6238.pdf		西部病院
第6239号	当院におけるLow-grade Appendiceal Mucinous Neoplasmの検討	2023年11月17日	2024年3月31日	消化器・一般外科学 勝又 健太			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6239.pdf		西部病院
第6250号	無症候性大動脈弁狭窄症患者に対する運動負荷心エコー図検査の有用性	2023年11月1日	2026年12月31日	循環器内科学 出雲 昌樹			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6250.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6251号	PD-L1発現1-49%の進行期非小細胞肺癌に対する初回治療としての免疫チェックポイント阻害薬/プラチナ併用化学療法およびプラチナ併用化学療法の有効性および背景因子に関する多施設後ろ向き観察研究	2023年10月31日	2026年3月31日	呼吸器内科学 古屋 直樹			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6251.pdf		大学・大学病院
第6253号	ALK変異陽性肺がんの治療効果と腫瘍内PD-L1発現の関連を明らかにする後方視的観察研究	2024年1月16日	2025年12月31日	呼吸器内科学 古屋 直樹			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6253.pdf		大学・大学病院
第6245号	膵神経内分泌腫瘍における形態的・分子学的検討	2024年2月15日	2028年3月31日	分子病理 大池 信之			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6245.pdf		大学・大学病院
第6246号	イタイイタイ病患者における膵臓および膵関連病変の病理組織学的研究	2024年2月13日	2025年3月31日	分子病理 大池 信之			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6246.pdf		大学病院
第6257号	心腔内超音波を用いたリードレスペースメーカー植込み症例における有効性及び安全性に関する後ろ向き観察研究	2023年11月7日	2024年3月31日	循環器内科学 富樫 大輔			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6257.pdf		大学・大学病院
第6258号	眼内レンズ固定後の逆瞳孔ブロックを起こすリスク因子に関する検討	2023年11月7日	2025年10月31日	眼科学 重城 達哉			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6258.pdf		大学・大学病院
第6259号	超早産児で早期に非挿管管理を実施した短期呼吸予後に関する検討	2023年10月26日	2025年12月31日	新生児 小町 詩織			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6259.pdf		大学・大学病院
第6261号	根治切除不能な尿路上皮癌に対するエンホルツマブ ベドチンの治療効果および安全性の検討:多機関共同後方視的観察研究	2023年11月1日	2024年12月31日	腎泌尿器外科学 早川 望			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6261.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6262号	膵切除範囲と術後中長期の代謝/栄養状態の相関の検討	2023年11月7日	2025年3月31日	代謝・内分泌内科学 中村 祐太		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6262.pdf			大学・大学病院
第6263号	当院におけるLess invasive surfactant therapyおよびInSurEを行なった児の長期予後	2023年11月20日	2024年4月16日	新生児 鈴木 真波		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6263.pdf			大学・大学病院
第6264号	慢性腎臓病教育入院における体重および体組成の変化とその関連要因についての検討	2023年11月7日	2025年12月31日	腎臓・高血圧内科学 櫻田 勉		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6264.pdf			大学・大学病院
第6266号	当院における前立腺インプラント埋め込み尿道吊り上げ術(PUL)導入初期の検討	2023年11月17日	2026年3月31日	腎泌尿器外科学 松村 かおり		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6266.pdf			西部病院
第6268号	超音波検査における胆道系浮腫の描出能の検討	2023年11月7日	2024年5月31日	超音波診療技術部 片山 勝汰		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6268.pdf			大学・大学病院
第6270号	Cushing症候群における治療前後の肝内脂肪量の変化に関する検討	2023年11月20日	2026年3月31日	代謝・内分泌内科学 月山 秀一		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6270.pdf			大学・大学病院
第6275号	心不全患者におけるベリシグアトのリアルワールドエビデンス Verifying Characteristics and Outcomes in Heart Failure Patients Treated with Vericiguat: VERIFY-HF	2024年1月31日	2025年12月31日	薬理学 木田 圭亮		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6275.pdf			大学・大学病院
第6280号	前置血管症例の型分類を含めた診断、管理状況と児の転帰に関する後ろ向き観察研究 - 全国アンケート調査 -	2024年2月8日	2025年12月31日	大学院 周産期発生病態解明学 長谷川 潤一		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6280.pdf			大学・大学病院
第6287号	内頸静脈穿刺時の血管壁変形に関する検討	2023年12月12日	2024年6月30日	放射線診断・IVR学 橋本 一樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6287.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6289号	膵癌及び胆管癌におけるDNA傷害型抗がん剤の効果予測バイオマーカーのSLFN11の発現の検討	2024年1月25日	2025年3月31日	病理学 大池 信之		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6289.pdf			大学・大学病院
第6291号	重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する乳頭筋に介入した僧帽弁形成術の有用性に関する多施設共同研究(MITRA PLUS)	2026年12月31日	2026年12月31日	心臓血管外科学 縄田 寛		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6291.pdf			大学病院
第6293号	掌蹠末端黒子型黒色腫の外科的深部マージンと予後に関する多機関共同後方視的観察研究	2023年12月12日	2026年6月14日	皮膚科学 門野 岳史		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6293.pdf			大学・大学病院
第6296号	腸管気腫症に対する手術適応の検討	2023年12月18日	2025年3月31日	消化器・一般外科学 大島 隆一		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6296.pdf			西部病院
第6297号	左側閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置後腹腔鏡下大腸切除術の治療成績	2023年12月18日	2024年3月31日	消化器・一般外科学 佐々木 大祐		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6297.pdf			大学・大学病院
第6299号	移行期若年性特発性関節炎患者におけるウバダシチニブの有用性及び安全性の検討	2023年12月14日	2024年10月31日	リウマチ・膠原病・アレルギー内科学 森 雅亮		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6299.pdf			大学・大学病院
第6300号	閉鎖孔ヘルニアの病態及び治療法と予後についての全国調査研究	2023年12月15日	2024年6月30日	消化器・一般外科学 小泉 哲		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6300.pdf			大学・大学病院、西部病院
第6301号	急性期脳梗塞における頭部MRI、CT画像所見の変化についての検討	2024年1月31日	2025年3月31日	脳神経内科学 高石 智		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6301.pdf			東横病院
第6303号	EGFR変異陽性肺癌患者におけるEGFR-TKI後の初回全身化学療法に関する後方視的観察研究(SPIRAL-STEP)	2024年1月16日	2026年3月31日	呼吸器内科学 古屋 直樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6303.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6306号	新生児低酸素性虚血性脳症の発達予後を検討する前方視的レジストリ研究	2024年3月25日	2040年12月31日	小児科学 北東 功		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6306.pdf			大学病院
第6308号	経カテーテル大動脈弁植込み術症例における大動脈弁狭窄症の病型ならびにその予後に関する調査(2)	2024年2月8日	2026年12月31日	循環器内科学 出雲 昌樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6308.pdf			大学・大学病院
第6309号	AIによる機械学習を用いた運動耐容能の推定及び運動時目標心拍数の自動決定アルゴリズムの構築—多施設検証試験	2024年1月16日	2026年3月31日	薬理学 木田 圭亮		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6309.pdf			大学・大学病院
第6314号	てんかん診療拠点病院等における心因性非てんかん性発作等の実態把握	2023年12月22日	2024年3月31日	脳神経外科学 てんかんセンター 太組 一朗		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6314.pdf			大学・大学病院
第6316号	遠隔脳波判読システムの精度評価	2024年1月18日	2024年4月30日	集中治療 藤本 佳久		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6316.pdf			大学・大学病院
第6317号	自己免疫疾患および自己炎症性疾患における観察研究	2024年1月26日	2033年12月31日	リウマチ・膠原病・アレルギー内科学 大岡 正道		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6317.pdf			大学・大学病院
第6319号	急性下部消化管出血患者のクリニカルアウトカムの実態とその関連因子の解明:多施設共同後ろ向き研究	2024年1月12日	2029年12月31日	消化器内科学 佐藤 義典		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6319.pdf			大学・大学病院
第6320号	左室収縮能低下合併中等度大動脈弁狭窄症症例の予後に関する後ろ向き研究	2024年3月2日	2026年12月31日	循環器内科学 出雲 昌樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6320.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6321号	大動脈弁狭窄症に対して経カテーテル的大動脈弁留置術が検討された患者の診療・予後調査のための前向きレジストリ研究(2)	2024年1月23日	2025年3月31日	循環器内科学 出雲 昌樹			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6321.pdf		大学・大学病院
第6322号	123I-ioflupaneを用いた脳SPECT検査における数値指標算出ソフトウェアの検証	2024年2月26日	2025年12月31日	放射線診断・IVR学 山口 慶一郎			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6322.pdf		大学・大学病院
第6323号	当院における十二指腸潰瘍のリスク因子の検討	2024年1月18日	2024年10月31日	消化器内科学 得平 卓也			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6323.pdf		西部病院
第6324号	超高齢者における認知機能の検討 ～聖マリアンナ式コンピューター化記憶機能検査(STM-COMET)における90歳代の特徴を他世代<70歳代・80歳代>と比較した結果から～	2024年2月2日	2024年7月14日	精神療法・ストレスケアセンター 田所 正典			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6324.pdf		大学・大学病院
第6325号	アナモレリンの使用における緩和ケアチーム介入効果の検証	2024年3月29日	2024年12月31日	薬剤部 勝田 雄太			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6325.pdf		西部病院
第6326号	小脳性運動失調症における自己抗体解析研究	2024年1月12日	2026年3月31日	脳神経内科学 山野 嘉久			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6326.pdf		大学・大学病院
第6327号	経皮的動脈弁置換術における心収縮能の変化およびその予後予測評価について	2024年2月1日	2025年3月31日	循環器内科学 栗田 真吾			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6327.pdf		大学・大学病院
第6329号	腹膜透析用カテーテルの再埋没後の長期的な転帰に関する検討	2024年1月26日	2025年12月31日	腎臓・高血圧内科学 櫻田 勉			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6329.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6330号	ICUにおける眠剤の定期処方に関する実態調査(one-day prevalence study)	2024年2月7日	2025年1月31日	麻酔学 佐藤 暢夫		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6330.pdf			大学・大学病院
第6331号	聖マリアンナ医科大学病院の耐性菌の治療における臨床的アウトカムの検討	2024年1月31日	2026年4月30日	感染症学 國島 広之		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6331.pdf			大学・大学病院
第6332号	腹膜透析導入後の食塩摂取量と患者予後との関連	2024年1月26日	2025年12月31日	腎臓・高血圧内科学 櫻田 勉		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6332.pdf			大学・大学病院
第6333号	生後早期の極早産児に対する『複合的な抗菌薬適正使用プログラム』の普及効果に関する多施設共同観察試験	2024年1月30日	2026年3月31日	小児科学 鈴木 真波		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6333.pdf			大学病院
第6335号	高齢者における筋層非浸潤性膀胱癌治療の検討	2024年1月26日	2024年3月31日	腎泌尿器外科学 早川 望		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6335.pdf			大学・大学病院
第6336号	経カテーテル大動脈弁留置術施行患者の長期予後および予後関連因子に関する後ろ向き研究	2024年1月31日	2029年12月31日	循環器内科学 出雲 昌樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6336.pdf			大学・大学病院
第6339号	慢性疼痛治療薬による副作用発現に関する多施設後ろ向き観察研究	2024年2月28日	2026年10月31日	整形外科 赤澤 努		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6339.pdf			大学・大学病院
第6345号	外来心臓リハビリテーションの効果～長期的な身体機能の推移と転帰～	2024年3月11日	2029年3月31日	リハビリテーション室 渡邊 紗都		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6345.pdf			東横病院
第6346号	特発性網膜前膜における網膜形態による分類と網膜感度の術後変化に関する検討	2024年2月13日	2025年3月31日	眼科学 関根 伶生		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6346.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6348号	診療看護師(NP)参入による急性虚血性脳卒中診療での血管撮影室入室から穿刺までの時間短縮への貢献	2024年3月18日	2024年12月31日	看護部 清野 奈々恵		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6348.pdf			大学・大学病院
第6349号	腰椎後方椎体間固定術症例におけるCTの椎体Hounsfield unit値の解析	2024年2月26日	2026年12月31日	整形外科 赤澤 努		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6349.pdf			大学・大学病院
第6350号	脳卒中患者の日常生活動作能力の予後予測に関する研究	2024年3月29日	2026年3月31日	リハビリテーション部 佐々木 祥太郎		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6350.pdf			西部病院
第6355号	僧帽弁閉鎖不全症患者における運動負荷心エコーの有用性	2024年2月26日	2025年12月31日	循環器内科学 佐藤 如雄		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6355.pdf			大学・大学病院
第6356号	重篤小児患者における人工呼吸診療の国際多施設観察研究(PRoVENT-PED)	2024年2月20日	2035年3月31日	小児科学 三浦 慎也		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6356.pdf			大学・大学病院
第6357号	食道癌における化学療法・化学放射線療法の有効性と安全性の後方視的研究	2024年3月18日	2024年12月31日	臨床腫瘍学 永田 祐介		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6357.pdf			大学・大学病院
第6358号	急性胆嚢炎に対する内視鏡治療成績の検証	2024年2月26日	2026年12月31日	消化器内科学 中原 一有		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6358.pdf			大学・大学病院
第6359号	高齢者に対する人工股関節全置換術の後方視的な術後調査	2024年2月26日	2025年3月31日	整形外科 山本 豪明		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6359.pdf			大学・大学病院
第6361号	非結核性抗酸菌の院内感染制御基盤構築に向けた全国規模調査	2024年2月21日	2029年3月31日	呼吸器内科学 西根 広樹		URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6361.pdf			大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6369号	脊椎インストゥルメンテーション手術におけるインプラント設置の正確性と合併症に関する研究	2024年3月6日	2027年1月31日	整形外科学 赤澤 努			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6369.pdf		大学・大学病院
第6371号	聖マリアンナ医科大学病院で診療を行った川崎市胃がん検診発見がん・腺腫の診療成績の検討	2024年3月29日	2024年12月31日	消化器内科学 安田 宏			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6371.pdf		大学・大学病院
第6372号	効果的なポリファーマシー介入の開発を目的とした検討：処方実態調査およびMPEG試験 post hoc解析	2024年3月12日	2026年3月31日	総合診療内科学 家 研也			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6372.pdf		多摩病院
第6375号	聖マリアンナ医科大学病院産婦人科におけるプラチナ再発卵巣癌患者に対するオラパリブの安全性と有効性の検証	2024年3月6日	2027年12月31日	婦人科 鈴木 直			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6375.pdf		大学・大学病院
第6376号	Artificial Intelligenceを用いた右室形態及び機能解析の臨床的意義とその精度：3次元心エコーを用いた検討	2024年3月12日	2025年12月31日	循環器内科学 出雲 昌樹			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6376.pdf		大学病院
第6378号	乳房再建術後乳癌患者における乳房全切除術後放射線療法の有効性と安全性に関する観察研究(多機関共同研究)-日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会班研究-	2024年3月6日	2025年12月31日	乳腺・内分泌外科学 志茂 彩華			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6378.pdf		大学・大学病院
第6379号	慢性活動性EBウイルス病とその関連疾患の病態解明に関する研究	2024年3月18日	2034年3月31日	血液・腫瘍内科学 新井 文子			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6379.pdf		大学・大学病院
第6380号	膵腫瘍に対する超音波内視鏡下穿刺吸引生検(EUS-FNA)後の穿刺経路腫瘍細胞播種(Needle tract seeding)の前向き全国調査	2024年3月6日	2028年8月31日	消化器内科学 中原 一有			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6380.pdf		大学・大学病院

通常診療により得られた診療情報を用いる観察研究（2024年4月1日現在）

	課題名	実施開始日	実施終了日	所属 実施責任者	対象疾患 (調査対象期間)	研究概要	抽出項目	予定症例数	実施施設
第6383号	オスラー病(HHT)に伴う内臓AVMIについての全国調査(多施設共同後ろ向き研究による実態調査)	2024年3月6日	2024年6月30日	放射線診断・IVR学 三村 秀文			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6383.pdf		大学・大学病院
第6387号	機械学習モデルの早期警告スコアを用いた診療看護師(NP)ラウンドの院内心停止に対する有効性の検討	2024年3月18日	2024年7月31日	看護部 渡部 弥生			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6387.pdf		大学・大学病院
第6391号	□ KRASG12C変異陽性肺がんの分子生物学的特性による治療効果への影響を明らかにする後方視的観察研究(2)	2024年3月18日	2024年8月31日	呼吸器内科学 峯下 昌道			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6391.pdf		大学・大学病院
第6392号	心疾患患者における心肺運動負荷試験新指標と予後との関連に関する探索的研究	2024年3月22日	2029年3月31日	リハビリテーション室 渡邊 紗都			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6392.pdf		東横病院
第6394号	肺MALTリンパ腫の初診時および治療前病態、治療選択と予後に関する多機関共同調査研究	2024年3月12日	2026年3月31日	血液・腫瘍内科学 新井 文子			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6394.pdf		大学病院
第6397号	当院で卵巣上体嚢胞に腹腔鏡手術を行った症例の検討	2024年3月29日	2024年10月31日	産科 田村 みどり			URL参照 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure/clinical-research/marianna/file/optout/6397.pdf		西部病院